

## Unica Journey V12.1.8 ユーザーズ・ガイド



# Contents

<b>Chapter 1. Unica Journey の概要</b> .....	4	ジャーニー・レコードの検証.....	70
Unica Journey の特長.....	4	Journey 目標.....	71
の利点.....	4	Journey統計.....	74
<b>Chapter 2. Unica Journey 入門</b> .....	6	Journey ステータス.....	76
<b>Chapter 3. エントリー・ソース</b> .....	10	公開されたジャーニーを見る.....	76
エントリーソースを作成する.....	10	Draft Journeysの表示されます.....	77
オーディエンス取り込みのヒント.....	13	Paused Journeysを表示する.....	77
エントリーソース一覧画面での操作する.....	15	完了したジャーニーの表示します.....	78
エントリーソース にリストされた列を追加または削除する.....	16	レポート.....	78
エントリーソースの変更する.....	16	<b>Chapter 6. Journey チューニング</b> .....	84
エントリーソースを別のフォルダに移動する.....	17	<b>Chapter 7. ジャーニーテンプレート</b> .....	85
エントリーソースの削除.....	17	<b>Chapter 8. オーディエンスの停止の作成</b> .....	86
Mailchimp 構成.....	18	「オーディエンス停止」を使用して数人のユーザーの Journey を一時停止する.....	86
<b>Chapter 4. データ定義</b> .....	21	<b>Chapter 9. ジャーニー オーディエンスのクリーンアップ</b> .....	88
データ定義の作成.....	21	<b>Chapter 10. ジャーニーとの統合を提案</b> .....	89
データ定義一覧ページの操作.....	22	Deliver・オファー・インテグレーション.....	89
リストされた列をデータ定義に追加または削除する.....	23	リンク・オファー統合.....	93
データ定義の変更.....	24	インターアクト・ネクスト・ベスト・オファー (NBO) .....	94
別のフォルダーへのデータ定義の移動.....	24	コンタクト履歴/レスポンス履歴のトラッキング.....	95
データ定義の削除.....	25	<b>Chapter 11. 設定</b> .....	97
データ定義の複製.....	25	デフォルトの電子メール接続の設定する.....	97
<b>Chapter 5. Journeys</b> .....	26	デフォルトの SMS 接続の設定.....	97
ジャーニーを作成する.....	26	デフォルトの CRM 接続の設定.....	98
キャンバスのデザイン.....	28	デフォルトの ADTECH 接続の設定.....	98
タッチポイント.....	29	LinkedInのデフォルト接続を設定する.....	99
電子メールタッチポイントの構成.....	31	デフォルトのデータベース接続の設定.....	99
SMS タッチポイントの構成.....	33	デフォルトの PUSH 接続の設定.....	99
Salesforce タッチポイントの構成.....	35	接続を管理する.....	100
WhatsApp タッチポイントの構成.....	35	REST 統合.....	103
モバイルプッシュ タッチポイントの構成.....	36	新しい REST 統合の作成.....	104
Journey コントロール.....	39	REST 統合リストを表示します.....	105
オーケストレーション.....	52	既存の REST 統合の変更.....	105
追加操作のキャンバス.....	58	REST 統合の削除.....	106
出品ページの操作.....	62	Developer Tools.....	106
リストページのフィールド.....	63	API 文書.....	106
ジャーニーでリストされた列を追加または削除します.....	65	<b>Chapter 12. 基本的な機能</b> .....	107
Journey をインポート.....	66	検索.....	107
Journeyの詳細の変更.....	67	ヘルプ.....	108
ジャーニーを別のフォルダーに移動する.....	67	プロフィールの情報.....	108
Journey をエクスポート.....	68	<b>Chapter 13. 共通機能</b> .....	109
ジャーニーの削除.....	68	フォルダー.....	109
Journey の複製.....	69	フォルダーの作成.....	109
Journeyの設定または重複排除.....	69	フォルダーの検索.....	110

フォルダーの編集.....	110
フォルダを表示する.....	110
フォルダー内のアーティファクトが表示されま す.....	111
1つまたは複数のフォルダーの移動します.....	112
1つまたは複数のフォルダーを削除する.....	113

# Chapter 1. Unica Journey の概要

Unica Journey は、コンテキスト主導のパーソナライズされたマルチステップのオムニチャネル カスタマー エクスペリエンスを作成、実行、視覚化するための目標ベースのオーケストレーション ソリューションです。

にマーケターが使用できる：

- カスタマー エクスペリエンスの目標を定義する
- ジャーニーをリアルタイムで簡単に調整して達成する
- 顧客全体を作成して視覚化するスマートで直感的なキャンバス

カスタマー ジャーニーは完全に自動化され、顧客のブランド エンゲージメントのすべてのステップと同期されます。内でリアルタイムのインサイトを使用する顧客の行動を理解する。

## Unica Journey の特長

の特徴以下の通り：

- **目標主導のエクスペリエンス**： カスタマー・エクスペリエンスの目標を定義し、ジャーニーをリアルタイムで簡単に調整して達成します。
- **オーケストレーション・キャンバス**： 洗練された直感的な Journey キャンバスを使用して、チャネル/タッチポイントおよびイベントのカスタマー・ジャーニー全体を作成および視覚化します。
- **Always on Engagement**： 顧客のブランド・エンゲージメントのすべてのステップと同期する、完全に自動化された実行です。
- **リアルタイムのインサイト**： ジャーニーでの出来事を反映したインサイトを使用して、顧客の行動を理解します。
- **タッチポイントの選択**： デジタル・チャネル用のすぐに使用できるネイティブ・タッチポイントを活用するか、カスタム・タッチポイントを作成して、エコ・システム全体のジャーニーをシームレスに調整します。
- **動的データ・フレームワーク**： 柔軟なデータ定義とエントリー・ソースにより、複数のタッチポイントからのさまざまな形式 (ファイル、API など) のコンテキスト・データとイベントでカスタマー・ジャーニーを強化します。

## の利点

の利点が以下の通り：

- **ブランド ロイヤルティの向上**： ターゲットを絞り自動化されたジャーニーで顧客を獲得、育成、変換、維持することにより、ブランド フォローを強化します。
- **オムニチャネル エンゲージメントの強化**： アウトバウンド (Unica Campaign) およびインバウンド エンゲージメント (Unica Interact、Unica Deliver、および Unica Discover) のネイティブ統合により、チャネル全体で一貫したカスタマー エクスペリエンスを提供します。
- **顧客コンバージョン サイクルの短縮**： 一歩先を行き、タイムリーなネクスト ベスト アクションで顧客を目標に導きます。

- **瞬間的な反応:** 顧客がジャーニーのどこにいるかを知る機会を逃さず、適切な体験で顧客を喜ばせます。
- **マーケティングの TCO の削減:** Unica Link を備えたオープンで柔軟性あるフレームワークを通して、自動化されたフローとプラグ アンド プレイにより MarTech エコシステムへ統合することにより、マーケティングの TCO を削減します。

## Chapter 2. Unica Journey 入門

以下のセクションでは、Journeyの設計におけるイベントの基本的な流れについて説明します。JourneyはUnica UIの一部であり、キャンペーンやその他の製品と同じウィンドウ内で起動および管理されます。別の画面では起動されなくなりました。

### Journeyに入るデータのエントリースソースの定義

最初のステップでは、JourneyがJourneyのエントリースソースを定義および作成していることを設計するためのものです。Unica Journeyは、さまざまなエントリースソースから入力データを受信できます。これらのソースは、のアプリケーションにデータを入力します。オーディエンスデータのJourneyへの入力をサポートするため、Journeyでは2種類のエントリースソースを使用できます。

1. **ファイルベースのエントリースソース** - 対応するファイル形式はCSV、TSV、JSONです。静的なデータの入力をで取得する必要がある場合、このタイプのエントリースソースを作成することができます。
2. **リアルタイムエントリースソース** - 以下のタイプのエントリースソースをサポートします。
  - **REST APIエントリースソース** - このタイプのエントリースソースは、実行時にJourneyでデータの入力をサポートします。RESTエンドポイントを使用して、外部システムからにデータを入力することができます。
  - **Kafkaエントリースソース** - このタイプのエントリースソースは、実行時に、データの入力をサポートします。Kafkaエントリースソースを使用して、外部システムからJourneyにデータを入力できます。Unica CampaignおよびUnica Interactは、Kafkaを使用してオーディエンスデータをUnica Journeyに送信します。Journeyは、このデータ入力専用のKafkaトピックを提供します。
  - **Unica Campaign** - このタイプの入力ソースは、実行時にでデータの入力をサポートします。Unica campaignの入力ソースを使用して、からまでデータを入力することができます。
    - Unica campaign入力ソースを選択すると、選択したキャンペーン入力ソースにデータを送信しているすべてのキャンペーンフローチャートの詳細が表示されます。キャンペーン名、キャンペーンID、フローチャート名、フローチャートID、および最終実行日時の情報が含まれます。



#### Note:

キャンペーンは、エントリースソースのJourneyにデータを送信します。プロセスボックスに指定されているデータ定義は、マーケティング担当者が使用するためのものであり、DD形式に従ってデータマッピングを簡単に構成できます。

キャンペーンは、データ定義で指定されたデータ形式でデータをエントリースソースに送信します。現在は、データがエントリースソースにプッシュされると、どのJourneyでもこのエン



リソースを使用していればこのデータの使用を開始し、すべてのJourneyからデータが流れます。

エントリースource+データ定義に基づいて送信されるデータの分離はありません。あくまでエントリースourceのデータを送信します。データを分離しておく必要がある場合は、Journeyごとに別々のエントリースourceを作成する必要があります。

- Unica Interact- このタイプのエントリースourceは、エントリースourceを作成するための入力が必要とします。エントリースourceを作成すると、そのユニークなコードを使ってInteractからJourneyにデータが送信されます。
- Unica Discover- このタイプのエントリースourceは、エントリースourceを作成するための入力はありません。エントリースourceを作成すると、そのユニークなコードを使ってDiscoverからJourneyにデータが送信されます。



**Note:** V12.1 Fixpack3から、Unica InteractとUnica Discoverのオプションが利用できるようになりました。

## Journeyに入るデータ形式の定義

Unica Journeyは、さまざまなソースからのデータを受け入れます。様々なソースからデータを受け入れるため、エントリースourceに入るデータの形式を知っておく必要があります。データの形式を定義するために、でデータ定義を作成する必要があります。データ定義を作成するときは、フィールド名、データ型、日付形式(日付タイプフィールドの場合)、および入力フィールドの長さを指定します。Journeyを使用して、入るデータの形式を識別します。

## データ定義とエントリースourceでジャーニーを作成する

複数のエントリースourceを使用してJourneyを作成できます。Journeyは、ファイル、Kafka、Unica Campaign、Unica Interact、Unica Discover、RESTなどの入力のための複数のソースを使用する柔軟性を提供します。Journeyの作成中またはJourneyの変更中に、エントリースourceを追加したり、削除したりすることができます。さらに、にデータ定義を割り当てる必要があります。データ定義は、Journeyが入ってくるデータの形式を特定するのに役立つ。に追加できるデータ定義は1つだけです。データ定義が割り当てられ、が公開されると、データ定義を変更することはできません。データ定義の変更はドラフト状態の時のみ可能ですが、の設定タッチポイントを削除することができます。

## Journeyの設計

のコントロールとパレットで利用できるタッチポイントを使って、をデザインすることができます。パレットは2つのカテゴリーに分かれています。

- タッチポイント- 配信チャンネルとの統合を可能にします。
- コントロール- の実行ロジックを設計するのに役立ちます。

## Journeyタッチポイント

次の表は、タッチポイントとそれに関する簡単な説明の一覧です。

アイコン	タッチ・ポイント	説明
	Eメール	Unica DeliverまたはUnica Linkを使用して電子メール通信を送信します
	SMS	Unica Linkを使用してSMS通信を送信します。
	Salesforce	を使用して、連絡先やリードの追加や更新などの CRM オペレーションを実行します。
	WhatsApp	Unica Deliverを使用してWhatsAppメッセージを送信します。
	アドテック	AdTechは、JourneyやキャンペーンからLinkedIn FacebookやTwitterなどのAdTechプラットフォームにオーディエンスを同期させるのに役立ちます。
	モバイル・プッシュ	Unica Deliverを使用してモバイル・プッシュを送信します。

## Journey 制御

次の表は、制御とそれに関する簡単な説明の一覧です。

アイコン	Journeyコントロール名	説明
	決定	デザイナーは、オーディエンスデータ上の設定された条件に基づいてフローを分割できるようにします。
	エンゲージメント	デザイナーは、タッチポイントのアクションに対するオーディエンスの反応に基づいて、フローを分割することが可能です。
	結合	デザイナーが、2つのブランチからデータフローを結合できるようにします。
	遅延	デザイナーは、定義されたステージで、観客のために実行の遅延を導入することを可能にします。

## オーケストレーションコントロール

以下の表は、オーケストレーションコントロールとそれに関する簡単な説明の一覧です。

アイコン	オーケストレーションコントロール名	説明
	公開	設計された、データをフラットファイル、Kafkaトピック、またはKafkaタイプのエントリースourceに出力できるようにします。

アイコン	オーケストレーションコントロール名	説明
	Database	データベース行の挿入/更新や生SQLの更新により、他のシステムとのオーケストレーションを可能にする。これは、Journeyのすべてのレコードに対して実行されます。
	REST API	使用可能なREST APIをJourneyと統合するのに役立ちます。

## Chapter 3. エントリー・ソース

エントリーソースは、あなたがデータを提供しているソースです。1つまたは複数のエントリーソースを持つことができます。

### エントリーソースを作成する

#### About this task

エントリーソースを作成するには、次の手順を実行します。

1. 「エントリーソース」メニューで、「+エントリーソース」をクリックします。

#### Result

エントリーソースの作成ページが表示されます。

2. 以下のフィールドに適切な値を入力してください。
  - **名前** - 必須
  - **説明文** - 任意
3. エントリーソースをルート (/) フォルダ以外の場所に保存する場合は、**[参照]** をクリックして必要なフォルダを選択します。
4. Import data fromセクションで、以下のオプションから1つを選択します。
  - a. **ファイルのアップロード** - CSV、TSV、JSON。
  - b. **リアルタイム** - REST API、KAFKA、Unica Campaign、Unica Interact、Unica Discover



#### Note:

- 顧客の静的データがある場合は、**CSV**、**TSV**、**JSON**を使用します。トランザクションモードでは、**[REST API]**、**[Kafka]**、**[Unica Campaign]**、**[Unica Interact]**、および**[Unica Discover]**を使用します。
- **CSV**、**TSV**、**JSON**の場合、複数のファイルを追加することができます。Journeyが重複したデータに遭遇した場合、で行った設定に基づき、データを更新するか、データを破棄します。重複排除の設定をしていない場合でも、Journeyは新しいデータを受け入れ、新しく追加されたファイルを処理します。
- **CSV** - このオプションを選択した場合、適切なCSVデータファイルをアップロードします。
- **TSV** - このオプションを選択した場合、適切なTSVデータファイルをアップロードします。
- **JSON** - このオプションを選択した場合、適切なJSONデータファイルをアップロードします。
- **REST API** - このオプションを選択すると、データを動的にプッシュすることができる静的なURLを受け取ることができます。
  - a. REST API キーを生成します。詳しくは、「[新しい REST 統合の作成 on page 104](#)」を参照してください。
  - b. `http://<localhost>:<port-number>/journey/api/thirdpartylogin`のURLを使用して認証トークンを生成します。
  - c. このURLを認証するために、ステップ(a)で生成したREST APIキーを使用します。

- d. Journeyにデータを送信するには、上記のRest APIを使用し、認証トークンとentrySourceCodeを使用してデータを送信してください。
- e. REST エントリーソースでデータを送信する場合は、entrySourceCodeは必須です。

### REST API エントリーソースの例

```
{
  "entrySourceCode": "ES-00000006",
  "data": [
    { "FirstName": "First_Name",
      "LastName": "Last_Name",
      "Email": "rahul@abc.com",
      "City": "Pune",
      "PhoneNumber": "+9196XXXXX60",
      "Country": "IND",
      "DOB": "13/11/2001",
      "Product": "Buyone",
      "AccountNo": "10068"
    }
  ]
}
```

- Kafka- このオプションを選択すると、データを投稿するための専用のKafkaトピック名が表示されます。デフォルトでは、STREAMING\_IMPORTはKafkaトピック名として選択されています。ボタンをクリックすると、新しいKafkaトピック名を追加できます。指定された名前の新しいトピックがKafkaに作成されます。何らかの理由で(サーバーのダウンなど)そのトピックがKafka上に作成されない場合、「KAFKAトピックを作成できません。ES作成に失敗しました」というエラーメッセージが表示されます。ユーザーは別の名前を選択するか、しばらくしてから再試行する必要があります。



**Note:** ユーザーが複数のKafkaブローカーを使用したいと考え、単一のKafkaブローカーでエンジンを開始すると、デフォルトでこの単一のブローカーにトピックが作成されます。その後、ユーザーがブローカーリストを更新しても、Kafkaは他のブローカーのトピックを複製しません。これは、インストール時にレプリケーション値が1に設定されていたためです。したがって、インストール時のみ、複数のブローカーでKafkaを使用するか、単一のブローカーで使用するかを指定する必要があります。

クラスターKafka:

Kafka ブローカー・リスト:

<BROKER\_HOST1>:<PORT>、<BROKER\_HOST2>:<PORT>、<BROKER\_HOST3>:<PORT>

ブローカーリスト形式の情報メッセージ。

以下のことを行います。



- a. 下記のパラメーターを使用して、エンジンおよびWebアプリケーションのプロパティを更新します

```
spring.kafka.bootstrap-
```

```
servers=<BROKER_HOST1>:<PORT>、<BROKER_HOST2>:<PORT>、<BROKER_HOST3>:<PORT>
```

- b. JourneyEngine:

Journeyエンジンのjourney\_master\_config.propertiesファイルに下記のプロパティを追加しました。ブローカーの数に応じてインストーラーから更新する必要があります。

```
journey.kafka.replications = <ブローカー数>
```

- c. JourneyWeb:

Journey WebのJourneyWeb/application.propertiesファイルに下記のプロパティを追加しました。ブローカーの数に応じてインストーラーから更新する必要があります。

```
journey.kafka.customtopic.replications = <ブローカー数>
```



**Note:** Kafkaの内部トピック名は、カスタムKafkaトピックESの作成には使用できません。いったんトピック名を設定して保存すると、トピック名は編集できません。エントリーソースを削除しても、基になるKafkaトピックは削除されません。

ユーザーはUnicaの機能強化を要求することなく、選択した外部ソースを統合できます。CIFにプラグインを追加することで、Journeyとの統合を構築できます。詳細については、『*Unica Content Integration Developer Guide*』を参照してください。

また、出荷時にmailchimpとの統合を提供しています。この統合の構成方法の詳細については、『*Unica Content Integration Installation and Configuration Guide*』を参照してください

Kafkaトピック名の横にある「外部ソースを同期」ボタンを使用して、外部エントリーソースを追加することもできます。

- a. 「外部エントリーソースの同期」をクリックします

「ソースの追加」ページが表示されます。

- b. 以下のフィールドに適切な値を入力してください。

- ・ **ソースリポジトリの選択** - フィールドのドロップダウンからリポジトリを選択します。
- ・ **オーディエンスまたはイベントタイプの選択** - フィールドのドロップダウンからオーディエンスまたはイベントタイプを選択します。
- ・ **ジャーニーデータ定義の選択** - 「参照」をクリックして、必要なデータ定義を選択します。

- c. [フィールドマッピング]ダイアログが表示されます。



**Note:** V12.1.7以降では、エントリーソース名とともにエントリーソースコードも使用可能で、クリック可能です。

- d. Journeyデータ定義フィールドを、適切なソースリポジトリフィールドにマッピングします。
- e. 「保存して閉じる」をクリックします。

選択した外部ソースと日時が、「エントリーソースの作成」ページに表示されます。外部ソースの詳細を表示するにはアイコンを選択します。外部ソースの詳細を編集するにはアイコンを選択します。選択されたエントリーソースを削除するにはアイコンを選択します。

- Unica Campaign- このオプションを選択した場合、Unica CampaignからJourneyにデータを送信することができます。プラットフォームのトークン有効期限はデフォルトで15秒なので、手動で10800秒（3時間）に延長する必要があります。このため、Campaign応募元画面で「Campaignのログインに失敗しました」または「セッションが終了しました」というエラーメッセージが表示されます。アプリケーションに再ログインしてみてください。

パス

「プラットフォーム」→「設定」→「一般」→「その他」→「トークン寿命」



**Note:** 有効期限を延長した後、Campaignアプリケーションを再起動します。

- Unica Interact- このオプションを選択すると、Unica InteractからJourneyにデータを送信することができます。
- Unica Discover- このオプションを選択すると、Unica DiscoverからJourneyにデータを送信することができます。

- 5. エントリーソースの作成」をクリックします。



**Note:** CSV、TSV形式のファイルエントリーソースの場合、ファイルタイプのエントリーソースの最初の行は、データ定義のフィールド名（対応するデータ定義に記載されているのと同じ大文字と小文字を含む）でなければなりません。Jsonタイプのファイル入力ソースには適用されません。



**Note:** 日付フィールドの場合、入力ソースに渡されるデータ（ジャーニーズで使用するデータ定義のデータ型が日付の場合）は、データ処理の矛盾を避けるため、データ定義で入力された日付形式と一致させる必要があります。

## オーディエンス取り込みのヒント

次のセクションでは、オーディエンス重複排除設定が構成されたJourneyへのオーディエンス エントリを最適化するためのオーディエンス取り込みヒントの使用について説明します。Journey がオーディエンス重複排除用に構成されている場合、Journey エンジン、受信するすべてのオーディエンス レコードを検索して、それが新しいオーディエンスであるか既存のオーディエンスであるかを判断する必要があります。検索結果に応じて、新しいオーディエンス レコードを挿入す

るか、既存のレコードの重複排除を実行します。このアプローチでは、受信メッセージごとにオーディエンス データベースを参照するというオーバーヘッドが発生します。その結果、オーディエンスの取り込みプロセスが遅くなり、Journeyの処理が遅れることとなります。オーディエンス重複排除プロセスを最適化するために、Journey エンジン はオーディエンスメッセージとともに提供できる特定のヒントをサポートしています。



**Note:** 重複排除設定が構成されていないJourneyでは、次のヒントは無視されます。さらに、これらのヒントは Kafka および REST エントリ ソースに対してのみサポートされます。

通常、REST および Kafka エントリ ソースのオーディエンス メッセージは、以下の JSON のようになります。

```
{ "entrySourceCode": "ES-00000001", "entrySourceType": "KAFKA", "data": [ { "email": "email1@domain.com", "mobile": "1122334455", "birthdate": "09 01 1985", }, { "email": "email2@domain.com", "mobile": "5544332211", "birthdate": "01 09 1995", }, { "email": "email3@domain.com", "mobile": "5566778899", "birthdate": "05 11 2000", } ] }
```

この JSON は、特定のオーディエンスの存在を伝えるための追加のヒントを伝達できるようになりました。ヒントに基づいて、Journey エンジン はオーディエンスの存在チェックをスキップし、新しいオーディエンスの挿入または重複排除の更新を直接実行できます。したがって、上記のメッセージは、メッセージに含まれるすべてのオーディエンス(3)に共通する単一のヒントを伝えることができます。

例えば、次のようになります。

```
{ "entrySourceCode": "ES-00000001", "entrySourceType": "KAFKA", "__hints":{ "action": "U" // I -> Insert, U -> Update }, "データ": [ { "email": "email1@domain.com", "mobile": "1122334455", "birthdate": "09 01 1985", }, { "email": "email2@domain.com", "mobile": "5544332211", "birthdate": "01 09 1995", }, { "email": "email3@domain.com", "mobile": "5566778899", "birthdate": "05 11 2000", } ] }
```

**hints** オブジェクト内の **action** プロパティは、対象者に期待されるアクションを伝えます。**アクション** プロパティは次のいずれかの値を取ることができ、その影響は次のとおりです。

アクションプロパティ値	視聴者の取り込みへの影響
I	オーディエンスは完全に新規とみなされ、オーディエンスデータベースに盲目的に挿入されます。  <b>注意-</b> システムは、視聴者が本当に新規であるかどうかをチェックしません。したがって、誤ったヒントが「I」ヒントとともに複数回送信されると、同じオーディエンスの重複レコードが発生する可能性があります。
U	対象者は既存のものとみなされ、システムは新たに受信した変更内容で既存のレコードを更新します。  <b>注意-</b> システムは重複排除フィールドに基づいて実際に既存のオーディエンスが存在するかどうかを確認しません。そのような対象者が存在しない場合、更新は影響を与えま

アクションプロパティ値	視聴者の取り込みへの影響
	せん。システムは更新を新しいオーディエンス挿入に変換しません。
null または欠落	プロパティ値が null に設定されている場合、またはヒント自体が欠落している場合、Journey エンジン はオーディエンス データベースを参照して、受信オーディエンスが既に存在するかどうかを確認します。それに応じて、オーディエンスの挿入または変更のいずれかを実行します。一言で言えば、それは通常通りの経過を続けるだろう。

共通オーディエンスのヒントと同様に、上記の JSON メッセージは、各オーディエンスに対して個別のヒントを伝えることもできます。例:

```
{ "entrySourceCode": "ES-00000001", "entrySourceType": "KAFKA", "data": [ { "__hints":{ "action": "U" // I -> Insert, U -> Update }, "メール": "email1@domain.com", "携帯": "1122334455", "生年月日": "09 01 1985", }, { "__hints":{ "action": "I" // I -> Insert, U -> Update }, "メール": "email2@domain.com", "携帯": "5544332211", "生年月日": "01 09 1995", }, { "email": "email3@domain.com", "mobile": "5566778899", "birthdate": "05 11 2000", } ] }
```

このアプローチの影響は、前に説明した共通ヒントアプローチとまったく同じです。上記の例では、最初のオーディエンスは新しい詳細で変更され、2 番目のオーディエンスは新しいオーディエンスとして挿入されますが、3 番目のオーディエンスについては、Journey エンジンが最初にその存在を確認し、それに応じて動作します。

さらに、共通のヒントと個別のヒントの組み合わせもサポートされています。例えば、次のようになります。

```
{ "entrySourceCode": "ES-00000001", "entrySourceType": "KAFKA", "__hints":{ "action": "I" // I -> Insert, U -> Update }, "データ": [ { "__hints":{ "action": "U" // I -> Insert, U -> Update }, "メール": "email1@domain.com", "携帯": "1122334455", "生年月日": "09 01 1985", }, { "email": "email2@domain.com", "mobile": "5544332211", "birthdate": "01 09 1995", }, { "email": "email3@domain.com", "mobile": "5566778899", "birthdate": "05 11 2000", } ] }
```

上記の例では、共通のヒント (I) は 2 番目と 3 番目のオーディエンス レコードに適用されます。これにより、2 番目と 3 番目のオーディエンスは新しいオーディエンスとして扱われ、データベースに挿入されます。ただし、最初のオーディエンスにはオーバーライドされたヒントが含まれており、それに応じて Journey エンジンが重複排除更新を実行します。

## エントリーソース一覧画面での操作する

エントリーソース リスト ページには、作成したすべてのエントリー ソースが一覧表示されます。ビューをカスタマイズしたり、一覧表示されたエントリー ソースを変更したりできます。

エントリーソース リスト ページでは、次の操作を実行できます。

- [エントリー ソース にリストされた列を追加または削除する on page 16](#)
- [エントリー ソースの変更する on page 16](#)
- [エントリー ソースを別のフォルダに移動する on page 17](#)
- [エントリーソースの削除 on page 17](#)

## エントリスソース にリストされた列を追加または削除する

エントリスソース リスト ページには、指定したフォルダのエントリスソース が一覧表示されます。デフォルトの列は、要件に従ってカスタマイズできます。

### About this task

デフォルト フィールドはデフォルトで表示され、ビューからデフォルト フィールドを削除することはできません。

次の表に、使用可能なすべての列フィールドを示します。

**Table 1. エントリスソースの リストで使用可能な列フィールド**

フィールド名	デフォルト フィールド?
コード	あり
作成者	なし
作成日	なし
説明	なし
エントリー・ソース名	あり
最終修正者	なし
最終修正日	あり
ソース	あり
ステータス	あり

エントリスソース リスト ビューをカスタマイズするには、次の手順を実行します。

1. [列の追加/削除] を選択します。
2. 追加または削除するフィールドを選択または選択解除します。デフォルトのフィールドを表示するには、[デフォルトにリセット]をクリックします。
3. [適用]をクリックして選択を保存します。

## エントリスソースの変更する

作成したエントリスソース を変更できます。変更は、エントリスソースのステータスに依存します。エントリスソース のステータスはIn Useです。Journey任意の状態(下書き、完了、一時停止、または公開)。エントリスソース のステータスは、関連付けられていない場合、Idleです。エントリスソース のステータスがIdleの場合、すべてのフィールドを変更できます。エントリスソースのステータスが[使用中]の場合は、[名前]、[説明]、および[フォルダ]フィールドを変更し、エントリスソース にファイルを追加することもできます。

### About this task

[データのインポート元] フィールドの値は変更できません。たとえば、エントリーソース タイプを CSV から TSV などのオプションに変更することはできません。

エントリーソースの変更中に、名前、説明、およびフォルダを変更できます。

エントリーソースを変更するには、次の手順を実行します。

1. 必要なエントリーソースにカーソルを合わせます。
2. > を選択します。または、エントリーソース名をクリックします。
3. 必要な変更を行う。詳しくは、[[エントリーソースを作成する on page 10](#)] を参照してください。
4. 変更を保存するには、[エントリーソースの更新] をクリックします。

## エントリーソースを別のフォルダに移動する

1つのエントリーソース または複数の エントリーソース をあるフォルダから別のフォルダに移動できます。

### About this task

エントリーソースまたは複数のエントリーソースを移動するには、次の手順を実行します。

1. 以下のいずれかの方法を使用します。
  - a. 単一のエントリーソースを移動するには、必要なエントリーソースの上にカーソルを置いて、> を選択するか、必要なエントリーソースの前にあるチェックボックスを選択して、[フォルダに移動] をクリックします。
  - b. 複数のエントリーソースを移動するには、必要なエントリーソースの前にあるチェックボックスを選択し、[フォルダに移動] をクリックします。
2. 必要な宛先フォルダーを選択し、[ここに移動] をクリックします。

## エントリーソースの削除

エントリーソースを削除するには、エントリーソースの一覧ページにアクセスする必要があります。ステータスがIdleのエントリーソースのみを削除できます。

### About this task

によって使用されているエントリーソースは削除できません。または複数Journey秒。

エントリーソースまたは複数のエントリーソースを削除するには、次の手順を実行します。

以下のいずれかの方法を使用します。

- a. エントリーソースを削除するには、必要なエントリーソースの上にカーソルを置いて、> を選択するか、必要なエントリーソースの前にあるチェックボックスを選択して、[削除] をクリックします。
- b. 複数のエントリーソースを削除するには、必要なエントリーソースの前にあるチェックボックスを選択し、[削除] をクリックします。

## Mailchimp 構成

Mailchimp を外部ソースとして Journey で構成します。

### About this task

「Unica Platform」 > 「設定」 > 「構成」に移動します

「構成カテゴリー」ページから、「Journey」 > 「統合」 > 「データ・ソース」に移動します

### Journey データ・ソースを追加する場合

1. 「systemconfigurationTemplates」をクリックします

#### Result

「systemConfigurationTemplates」ページが表示されます。

2. 以下の情報を提供します。
  - 新規カテゴリー名: <Journey>
  - systemIdentifier: ジャーニー
  - userCredentials: デフォルトのユーザー
  - defaultUserCredentials: asm\_Admin
  - dataSourceNameForCredentials: <JOURNEY\_DS\_1>
  - AdditionalParameters:
  - event-publisher-service.kafka.topics: CIFINTEGRATION
  - event-publisher-service.kafka.topics.CIFINTEGRATION.value.format: Json

3. 「保存」をクリックします。
4. 「Journey」ノードを展開し、「httpGateway」をクリックします

#### Result

「'httpGateway' の設定」ページが表示されます。

5. 以下の情報を提供します。

baseUrl : http:<hostname>:<port>/journey

6. 「Kafka 構成」リンクをクリックして、以下の情報を追加します

ブートストラップ・サーバー (ホストのカンマ区切りリスト): <Kafkahost>:<port>

例: <IP またはホスト名>:9092

### Mailchimp データ・ソースを追加する場合

1. 「systemconfigurationTemplates」をクリックします

#### Result

「systemConfigurationTemplates」ページが表示されます。

2. 以下の情報を提供します。
  - 新規カテゴリー名: <Mailchimp>
  - systemIdentifier: Mailchimp

- **userCredentials**: デフォルトのユーザー
- **defaultUserCredentials**: asm\_Admin
- **dataSourceNameForCredentials**: <Mailchimp\_DS>

3. **「保存」** をクリックします。

4. 「Mailchimp」ノードを展開し、**「httpGateway」** をクリックします

#### Result

**「'httpGateway' の設定」** ページが表示されます。

5. 以下の情報を提供します

baseUrl : https://<MailchimpHostname>/<Version>/

ユーザーはこれらのデータ・ソースを Journey に追加する必要があります。ユーザーは以下の情報を収集する必要があります。

- Journey データ・ソースのユーザー ID とパスワード。**「Journey アプリケーション」** > **「設定」** > **「REST」** に移動し、新しい REST 統合を作成するか、既存の REST 統合を使用します。clientid と Client Secret をコピーします。
- Mailchimp データ・ソースのユーザー ID とパスワード。Mailchimp アプリケーションにログインし、**「プロフィール」** > **「追加」** > **「API キー」** に移動します。API キーを取得し、ユーザー列名は user になります  
  
mailchimp a/c で、**「Webhook の追加」** URL は次の通りです。

https://<AssetpickerHostname>:<Port>/asset-viewer/api/AssetPicker/webhook/Mailchimp/events/webhook\_listener

**「プラットフォーム設定」** > **「ユーザー」** に移動します

**「必須ユーザー」** (asm\_Admin など) をクリックします

**「dataSources リンクの編集」** をクリックし、以下のデータ・ソースを追加します

**Mailchimp\_DS - ユーザー**: <user> およびパスワード <API キー>

**JOURNEY\_DS\_1 - ユーザー**: <clientid> およびパスワード <Client Secret>

**「Unica Platform」** > **「設定」** > **「構成」** > **「Unica Platform」** > **「セキュリティ」** > **「API 管理」** > **「Unica Content Integration」** に移動します

**「API 構成テンプレート」** をクリックし、以下の情報を追加します

- **新しいカテゴリー名**: <Mailchimp>
- **API URI**: /webhook/Mailchimp/events/\*
- **API アクセスに認証を要求する** - 未選択

**保存**] をクリックします。

これらの手順を実行すると、Mailchimp が外部ソースとして Journey に追加されます。



**Note:**



- ユーザーが Journey で外部ソースを設定した場合は、以下のプロパティを `False` のままにします。これにより、ユーザーは、Journey データの重複解消設定で構成された重要なフィールドごとに、外部ソースからデータを取得できます。
  - ```
<rule-enabled>>false</rule-enabled>\<JourneyEngine>\conf\data-validation-rules.xml
```
  - プラットフォームで「設定」 > 「構成」 > 「Journey」 > 「Journey の構成」に移動し、**Validation\_On\_Journey\_Records** プロパティの値を `False` に設定します。
- 外部ソース・ユーザーを構成するには、Unica Platform をインストールまたはアップグレードする際に、Unica Content Integration コンポーネントを前提条件としてインストールする必要があります。

# Chapter 4. データ定義

データ定義は、データのスキーマです。

## データ処理

データ処理では、有効なデータまたは無効なデータを処理し、受け入れるか拒否します。

Significant/Email- Eメールの形式は正しい必要があります。無効な電子メール形式は拒否されます。エントリソースから渡される場合、このフィールドを空白または NULL にすることはできません

Significant/Number - 数値のみが許可されます。数値以外の値、および NULL 値または空白値は拒否されます。

**必須なフィールド- 重要なフィールドまたは重要でないフィールドが必須としてマークされている場合、エントリソースでその値を NULL または空白にすることはできません。** 指定された文字制限は、フィールドの最大制限になります。上記の長さを超える値は拒否されます。

これらの必須フィールドの検証は、フィールドが必須と重要の両方にマークされている場合に、重要なフィールドの検証に追加されます。

## データ定義の作成

### About this task

データ定義を作成するには、以下の手順を実行します。

1. データ定義メニューで、「+データ定義」をクリックします。

#### Result

データ定義の作成ページが表示されます。

2. 以下のフィールドに適切な値を入力してください。

- 名前
- 説明

3. データ定義をルート(/)フォルダー以外の場所に保存する場合は、**[参照]** をクリックして必要なフォルダーを選択します。



**Note:** V12.1.7以降では、データ定義名とともに、クリック可能なデータ定義コードも使用できます。

4. フィールドの詳細」セクションには、自動化された方法で顧客に連絡するためのフィールドの詳細を追加します。

各フィールドの詳細には、以下の値の組み合わせが含まれる。

- フィールド名 - データと一致させる必要があります。
- Significant field- がユーザーとの通信に使用するフィールド。
- データタイプフィールドのデータ型。例えば、`date` です。Date データ型を選択すると、新しいフィールドが表示されます。日付の形式を入力すると、候補がドロップダウンボックスに表示されます。ドロップダウン・ボックスから選択された値のみが有効な値です。無効な形式を入力した場合、データ定義は作成されませんが、処理エラーになります。

- **マスクされたデータ** - フィールド情報をマスクするかどうかを示します。このチェックボックスをオンにすると、各フィールドの詳細がマスクされます。チェックボックスを明示的にオンにする必要があります。デフォルトでは、どのフィールドもチェックされません。古い DD の場合、フィールドはマスキングのチェックが解除されます。



**Note:** フルマスキングの新機能が導入されました。以前は、マスクされている Unica Journey のオーディエンスフィールドは、任意のランダムな文字に対して \* として表示されていました。現在は、マスクされているオーディエンスフィールドにはフィールド値が \* 形式で表示されますが、これは部分的に行われ、フィールド値全体では行われません。

この機能では、プロパティ **isFullmask** が true に設定されている場合は、web と engine の両方の `application.properties` ファイルが `journey.isFullMask=true` に設定されます。表示されるデータ全体の完全なマスキングは、\* として表示されます。例 - rahul@abc.com と表示されている電子メールアドレスは、マスクの後に -\*\*\*\*\* と表示されます。

isFullmask が false に設定されている場合、以前と同様に部分的にマスキングが実行されます。

- **Required** - エントリーソースに渡されるフィールドが必須であるかどうかを示します。詳しくは、「[データ定義 on page 21](#)」を参照してください。
- 文字数制限- **必須項目**としてマークされている場合、値として許容される最大文字数。

単一または複数のフィールドの詳細を作成します。さらにフィールドの詳細を追加するには、「+フィールド」をクリックします。既存のフィールドの詳細を削除するには、のアイコンをクリックします。

5. データ定義の作成をクリックします。



**Note:** Journeyは、利用可能なオプションとは別に、フリーテキストフィールドとしてデータ定義のすべてのJavaの日付形式をサポートしていますドロップダウンです。



**Note:** スペースを区切り文字として使用できる既存の日付形式です。ジャーニーのデータ定義では、区切り文字「/」、「.」、「-」付きの日付形式もサポートされています。

## データ定義一覧ページの操作

データ定義一覧ページには、作成したすべてのデータ定義が一覧表示されます。ビューをカスタマイズしたり、リストされたデータ定義を変更したりできます。

データ定義一覧ページでは、次の操作を実行できます。

- [リストされた列をデータ定義に追加または削除する on page 23](#)
- [データ定義の変更 on page 24](#)
- [別のフォルダへのデータ定義の移動 on page 24](#)
- [データ定義の削除 on page 25](#)

## リストされた列をデータ定義に追加または削除する

データ定義一覧ページには、指定したフォルダのデータ定義が一覧表示されます。デフォルトの列は、要件に従ってカスタマイズできます。

### About this task

次の表に、使用可能なすべての列フィールドを示します。

Table 2. データ定義リストで使用可能な列フィールド

| フィールド名         | デフォルトフィールド? |
|----------------|-------------|
| コード            | あり          |
| 作成者            | なし          |
| 作成日            | なし          |
| 定義名            | あり          |
| 説明             | なし          |
| 関連付けられているジャーニー | なし          |
| 最終修正者          | なし          |
| 最終修正日          | あり          |
| ステータス          | あり          |

データ定義リストビューをカスタマイズするには、次の手順を実行します。

1. [列の追加/削除] を選択します。
2. 追加または削除するフィールドを選択または選択解除します。デフォルトのフィールドを表示するには、[デフォルトにリセット]をクリックします。
3. [適用]をクリックして選択を保存します。



### Note:

- ユーザーは、使用中であっても、データ定義に新しいフィールドを追加できます。また、ジャーニーでは、データ定義が使用されている場合でも、データ定義に新しいフィールドを追加できます。
- データ定義がジャーニーで使用中で、データ定義に追加フィールドを追加した場合、公開された Kafka トピック、公開された CSV ファイル、および公開された Kafka エントリーソースの新しいデータを表示するには、データ定義に関連付けられたジャーニーを一時停止して再公開します。
- Kafka エントリーソースでは、外部ソースにデータ定義が構成されており、ユーザーが外部ソースを使用して新しいデータ定義を構成する場合、一部のマッピングが構成済みとして表示されます。



ユーザーは、これらのジャーニーおよび CIF ソース マッピング フィールドを再構成する必要があります。

- 一度オーディエンス タイプを構成に使用すると、他の構成には再度使用できません。CIF を構成しているときに1つのオーディエンス タイプを使用すると、同じオーディエンス タイプを同じエンターソースで再度使用することはできません。

## データ定義の変更

作成したデータ定義を変更できます。

### About this task

任意の状態(ドラフト、完了、一時停止、または公開)のジャーニーに関連付けられている場合、データ定義ステータスは使用中です。ジャーニーに関連付けられていない場合、データ定義ステータスはアイドルです。ステータスが **In Use** のデータ定義の変更規則は次のとおりです。

| ジャーニーの状態 | 編集 (N/D/F) | 重要なフィールドを変更する | 重要なフィールドを追加する | 新しいデータフィールドを追加する | 既存のデータフィールドを変更する | 既存のデータフィールドを削除する | ジャーニーとの関連付けを変更する |
|----------|------------|---------------|---------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| ドラフト     | はい         | はい            | はい            | はい               | はい               | はい               | はい               |
| 公開済み     | はい         | いいえ           | いいえ           | いいえ              | いいえ              | いいえ              | いいえ              |
| 一時停止     | はい         | いいえ           | いいえ           | はい               | いいえ              | いいえ              | いいえ              |
| 完了       | はい         | いいえ           | いいえ           | いいえ              | いいえ              | いいえ              | いいえ              |

データ定義を変更するには、次の手順を実行します。

- 必要なデータ定義の上にカーソルを置きます。
- > アイコンを選択します。または、定義名をクリックします。
- 必要な変更を行う。詳しくは、「[データ定義の作成 on page 21](#)」を参照してください。
- 変更を保存するには、[データ定義の更新] をクリックします。

## 別のフォルダーへのデータ定義の移動

1つのデータ定義または複数のデータ定義を1つのフォルダーから別のフォルダーに移動できます。

### About this task

1つまたは複数のデータ定義を削除するには、次の手順を実行します。

- 以下のいずれかの方法を使用します。
  - 単一のデータ定義を移動するには、必要なデータ定義の上にカーソルを置き、> を選択するか、必要なデータ定義の前にあるチェックボックスを選択して「**フォルダに移動**」をクリックします。
  - 複数のデータ定義を移動するには、必要なデータ定義の前にあるチェックボックスを選択し、[フォルダに移動] をクリックします。
- 必要な宛先フォルダーを選択し、[ここに移動] をクリックします。

## データ定義の削除

データ定義を削除するには、データ定義リスト ページにアクセスする必要があります。ステータスがIdleのデータ定義のみを削除できます。

### About this task

ステータスがIn Useのデータ定義は削除できません。

1 つまたは複数のデータ定義を削除するには、次の手順を実行します。

以下のいずれかの方法を使用します。

- データ定義を削除するには、必要なデータ定義の上にカーソルを置いて、> をクリックするか、必要なデータ定義の前にあるチェックボックスを選択して **[削除]** をクリックします。
- 複数のデータ定義を削除するには、必要なデータ定義の前にあるチェックボックスを選択し、**[削除]** をクリックします。

## データ定義の複製

「データ定義」リストページまたは「データ定義の編集」ページのいずれかから、データ定義を複製できます。

### About this task

データ定義の複製を作成するには、以下の手順を実行します。

- データ定義のリストページで、必要なデータ定義の上にカーソルを置き、> を選択します。

#### Result

「**データ定義の複製**」ダイアログが表示されます。

- 適切な名前を付けて、**[コピー]** をクリックします。
- 画面の右上にある **[複製]** ボタンをクリックすると、データ定義の編集ページからデータ定義を複製できます。

# Chapter 5. Journeys

Unica Journey は、コンテキスト主導のパーソナライズされたマルチステップのオムニチャネル カスタマー エクスペリエンスを作成、実行、視覚化するための目標ベースのオーケストレーション ソリューションです。

にマーケターが使用できる:

- カスタマー エクスペリエンスの目標を定義する
- をリアルタイムで簡単に調整して達成する
- 顧客全体を作成して視覚化するスマートで直感的なキャンバス

カスタマー ジャーニーは完全に自動化され、顧客のブランド エンゲージメントのすべてのステップと同期されます。内でリアルタイムのインサイトを使用する顧客の行動を理解する。

Unica Link との統合により、Journey はサードパーティ ベンダーとの統合が可能になります。Unica Journey は、柔軟なデータ定義とエントリー ソースを備え、複数のタッチポイントからのさまざまな形式 (ファイル、API など) のコンテキスト データとイベントでカスタマー ジャーニーを強化します。

設計と実行次の手順で行います。

1. ジャーニーの作成 - ジャーニーの作成に必要なエントリー ソースを選択し、使用するデータ定義を指定することにより、 .
2. デザインジャーニー- ユーザーコントロールとタッチポイントを設計する.
3. ジャーニーの目標を定義する - 定義するマーケティング目標を評価し、目標を達成するのに役立ちます。 .
4. ジャーニー設定の定義 - 定義入力する重複データを処理するための設定.
5. ジャーニーの公開 - 公開の実行を開始します。デフォルトでは、実行は停止しません。実行は常に ON です。定義できますを完了するための目標自動的に、または手動でマークを完全なように付けます。
6. ジャーニーの一時停止 - 公開済みのジャーニーを一時停止できますそしてそれを編集します。
7. ジャーニーの編集 - 一時停止したジャーニーを編集できますそして再発行します。
8. ジャーニーを完了としてマークする - ジャーニーを完了としてマークできます完全に停止します実行。

## ジャーニーを作成する

### About this task

ジャーニーを作成するには、次の手順を実行します。

1. ジャーニー メニューで、+Journey をクリックします。

#### Result

新しいジャーニーの作成ページが表示されます。

2. 以下のフィールドに適切な値を入力してください。
  - 名前- 必須項目です。
  - 説明- オプションフィールド

3. 参照をクリックして、を保存する**フォルダー**を選択します。を新しいフォルダに保存したい場合は、フォルダを作成します。詳しくは、「[フォルダーの作成 on page 109](#)」を参照してください。



**Note:** V12.1.7以降では、エントリーソースとデータ定義名とともに、そのコードも使用可能で、クリック可能です。

4. 地域のコンタクト先設定を追加するには、「**地域のコンタクト先設定を使用**」チェックボックスをオンにします。チェックボックスをオンにすると、「**タイムゾーン**」が「**地域の選択 (コンタクト先の設定)**」になります。「地域の選択 (コンタクト先の設定)」ドロップダウンから、タイムゾーンの設定を選択します。コンタクトセンターから設定されたタイムゾーン設定は、このドロップダウンで使用できます。通信を送信しながら、ジャーニーは定義された時間設定をチェックし、送信時間が選択した時間枠内に収まった場合にのみ続行します。送信時間が選択した時間枠内に収まらない場合、ジャーニーは待機状態になり、次に希望する時間まで待機します。
5. 必要なタイムゾーンを選択します。ユーザーがコンタクト先設定なしでジャーニータイムゾーンを使用する場合、ユーザーは「**地域のコンタクト先設定を使用**」オプションのチェックを外すことができます。異なる時間帯のジャーニーを作成し、その時間帯に実行させることができます。例えば、インドのユーザーで、US PSTのお客様向けに、12月25日00:00に実行するようスケジュールすることができます。



**Note:** ジャーニーは、HIPおよびDeliverから受信したすべての応答をUTCタイムゾーンで処理します。ジャーニーがUTC以外のタイムゾーンでレスポンスを受信しても、UTCのタイムゾーンのみで処理されます。このような場合、時間の不一致が発生し、ゴール履歴とゴール分析ページで応答回数が不一致になることがあります。

6. 適切なマーケティングステージを選択する。使用可能な値を以下に示します:

**Choose from:**

- 参照
- 保持
- 移行
- **Activation**
- 取得
- 意識改革

7. マイルストーンをジャーニーに追加するには、「**マイルストーンを追加する**」チェックボックスを選択します。チェックボックスをオンにした後、キャンバスページで「**連絡先の重複を許可しない**」と「**既存の連絡先を更新する**」ラジオボタンを選択し、連絡先を更新するための重複排除の設定を行います。設定を保存する場合は、「**保存して閉じる**」をクリックします。マイルストーンでデザインされたジャーニーは、この重複排除の設定を行わないと公開されません。
8. エントリーソースを選択するには、「**参照**」をクリックします。

エントリーソースは最大10個まで選択可能です。エントリーソースの詳細については、を参照してください。

エントリーソースを作成するには、を参照してください。



**Note:** マイルストーンを追加したい」にチェックを入れると、「入力ソース選択」セクションが利用できなくなります。次のページでは、入力ソースを選択することができます。

9. データ定義を選択するには、[参照]をクリックします。

ジャーニーに追加できるData Definitionは1つだけです。データ定義の詳細については、を参照してください。

データ定義を作成するには、を参照してください。

10. マイルストーンを追加するには、マイルストーン名を入力し、「追加」をクリックします。

ジャーニーには最大7つのマイルストーンを追加することができます。

11. 「次へ」をクリックします。

#### Result

マイルストーンの詳細ページが表示されます。



**Note:** オプション「次へ」は、マイルストーンがジャーニーに追加されたときのみ利用できます。

12. マイルストーンの詳細ページでは、追加したマイルストーンにエントリーソースを追加することができます。エントリーソースを選択する場合は、「参照」をクリックします。

マイルストーンには最大10個のエントリーソースを追加することができます。マイルストーンの条件は、ジャーニーに関連するデータ定義フィールドに設定することができます。フィールドのデータ型に基づき、演算子が表示されます。

13. 保存して続行をクリックします。

#### Result

の作成が成功し、**Canvas**ページが表示されます。

### What to do next

キャンバス機能を使って、の動作を設計します。詳しくは、「[キャンバスのデザイン on page 28](#)」を参照してください。

## キャンバスのデザイン

の動作を設計する目標、タッチポイント、コントロールを追加します。

### About this task

デフォルトでは、始点と終点があります。キャンバスをデザインするには、次の手順を実行します。

1. タッチポイントを構成します。詳しくは、「[タッチポイント on page 29](#)」を参照してください。
2. 構成するコントロール。詳しくは、「[Journey コントロール on page 39](#)」を参照してください。
3. 構成するゴール。詳しくは、「[Journey 目標 on page 71](#)」を参照してください。

## タッチポイント

タッチポイントを使用して、顧客とのコミュニケーション モードを確立します。

### About this task

で、お客様とのコミュニケーション方法を設定する必要があります。メールまたは SMS で通信することを選択できます。特定のタッチポイントの重要なフィールドがデータ定義で構成されていない場合、タッチポイントは無効になります。たとえば、電子メール タッチポイントを使用する必要があり、追加したデータ定義に名、姓、および携帯電話番号フィールドがあり、重要なフィールドとして携帯電話番号がある場合、電子メール タッチポイントは無効になりますが、SMS タッチポイントが有効になります。

詳しくは、「[データ定義の作成 on page 21](#)」を参照してください。

タッチポイントを追加するには、次の手順を実行します。

1. パレットからタッチポイントをドラッグし、始点と終点。

利用可能なタッチポイントは次のとおりです。

- Eメール
- SMS
- Salesforce
- WhatsApp
- Facebook
- LinkedIn
- Twitter
- モバイル・プッシュ

ユーザーは、リンク経由で Twitter コネクタを追加できます。広告掲載のために Twitter でオーディエンスをアップロードするには、既存のリストを使用するか、新規リストを作成します。これは、他の ADTECH 統合と非常に似ています。これには新しいタッチポイントは必要ありません。新しい Twitter コネクタを持つ既存の ADTECH タイプもリストされます。

オーディエンスのステータス - Building、Updating、Ready、Archivedなどの可能性があります。

2. 追加したタッチポイントをダブルクリックして構成します。

a. 適切な名前を入力します。名前の追加は必須です。

b. 適切な説明を入力します。詳細の追加はオプションです。

c. 次のいずれかのオプションから選択します。

- Deliver-

- Link- [設定] メニューで構成されたデフォルトの接続に接続します。詳しくは、こちらを参照してください: [デフォルトの電子メール接続の設定する on page 97](#)

d. タッチポイントでグローバル設定を追加するには、タッチポイントを構成しているときに、「営業時間とチャンネルの設定 (Platform で定義) に従う」チェックボックスをオンにします。チェックボックスをオンにすると、ジャーニーは定義された時間設定をチェックし、送信時間が選択した時間枠内に収まった場合に

のみ続行します。送信時間が選択した時間枠内に収まらない場合、ジャーニーは待機状態になり、次に希望する時間まで待機します。「ジャーニー待機中」状態の場合、「ジャーニー キャンバス」画面のタッチポイントにカーソルを置くと、ポップアップに「待機中」オプションが表示されます。「待機中」オプションをクリックすると、「待機中」ページが表示されます。このページには、以下の情報が表示されます。「日時」、「理由」、「エントリーソース名」、および「データ定義」フィールド。

「理由」列には、ジャーニーが「待機状態」になる以下の理由のいずれかが表示されます。

- **INVALID\_COMMUNICATION\_TIME** - この待機理由は、ユーザーがコンタクト セントラルで定義された非通信時間内に通信を送信しようとしたときに表示されます。
- **CAPACITY\_NOT\_AVAILABLE** - この待機理由は、ユーザーが通信を送信しようとしたときに表示されますが、コンタクト セントラルの曜日/週に定義されたすべての容量が消費されます。
- **GLOBAL\_ID\_NOT\_MAPPED\_WITH\_CHANNEL** - この待機理由は、チャンネルの1つ (E メール、SMS、WhatsApp、プッシュ) から通信を送信しようとしたときに表示されますが、その特定のチャンネルのグローバル設定は設定されません。
- **NA** - この待機理由は、ジャーニーがコンタクト セントラルからの応答を待っているときに表示されます。ジャーニーが応答を受信すると、上記の理由のいずれかが応答に現れ、その応答に更新されません。

ユーザーが通信を送信するための容量を設定していても時間設定がない場合、通信を送信中に、ジャーニーは利用可能な容量があるかどうかを確認します。容量が利用可能な場合は通信が送信されます。それ以外の場合は、ジャーニーは次の空き容量まで待機します。



**Note:**

- E メール、SMS、WhatsApp、およびモバイル プッシュ タッチポイントには、タイムゾーンとチャンネル設定を設定できます。
- ジャーニー バージョン 12.1.3 から、通信が無効または容量が不足しているためにオーディエンスが待機状態に移行した場合、次の有効な通信時間または次の容量設定がコンタクト セントラルで使用可能になるまで、オーディエンスは待機状態のままになります。**例:**
  - 容量が枯渇した場合、オーディエンスは待機状態のままになります。ユーザーが容量を増やすと、新しいオーディエンスは続行されますが、古いオーディエンスは待機状態のままになります。これらのオーディエンスは、翌日/翌週の容量が利用可能になった時点で待機状態から続行します。
  - 通信時間が無効なためにオーディエンスが待機状態のままになっている場合、次の有効な通信時間が利用可能になるとオーディエンスは続行します。



**Note:** ジャーニーとコントロール センター間で API 通信が失敗した場合、オーディエンスはジャーニーの特定のタッチポイントで待機状態のままになり、待機理由は API\_NOT\_AVAILABLE と表示されます。

e. 「次へ」をクリックします。

f. 作成するには電子メール タッチポイントについては、[電子メールタッチポイントの構成 on page 31](#)を参照してください。

- g. 作成するにはSMS タッチポイントを使用する場合は、[SMS タッチポイントの構成 on page 33](#)を参照してください。
- h. 作成するにはSalesforce タッチポイントについては、[Salesforce タッチポイントの構成 on page 35](#)を参照してください。
- i. WhatsApp タッチポイントで Journey を作成するには、[を参照してください WhatsApp タッチポイントの構成 on page 35](#)

### タッチポイントの削除

- 構成されたタッチポイントをジャーニーから削除すると、関連するリンク アクション ID も削除されます。
- 1つのジャーニーに複数の構成済みタッチポイントがあり、ジャーニーを削除すると、関連するすべてのリンク アクション ID が削除されます。
- ジャーニーを保存せずに構成済みのタッチポイントを削除しても、関連するリンク アクション ID は削除されません。



**Note:** 必要に応じて、タッチポイントを削除できます。

### What to do next

使い方を理解してコントロールします。詳しくは、[「Journey コントロール on page 39」](#)を参照してください。

## 電子メールタッチポイントの構成

電子メール通信を使用して顧客に接続する場合は、電子メールタッチポイントを選択します。両方を統合した場合と、オプションが表示されますと**Deliver**電子メールタッチポイントの配信オプションとして。

### Before you begin

この手順を開始する前に、[を参照してください](#)。

### About this task

電子メールタッチポイントを構成するには、次のいずれかのステップを実行します。

でデフォルトのメール接続を設定している場合、デフォルトの接続設定が**Mailchimp**の場合は、ステップ(4)に進みます。デフォルトの接続先が**Mandrill**の場合、ステップ(5)に進みます。デフォルトの電子メール接続を設定していない場合は、[\[既存の接続\]](#)ダイアログが開きます。

1. Mailchimpまたは**Mandrill**のいずれかを選択し、[\[次へ\]](#)をクリックします。

#### Result

[\[新しいアクションの作成\]](#)ダイアログが表示されます。このダイアログでは、[\[既存の接続\]](#)を選択して別のコネクタに切り替えることもできます。

2. デフォルトの接続がMailchimpの場合は、次のステップを実行します。

a. 以下のフィールドに値を指定します。

- 連絡先アクション-必須。連絡先に対して実行されるアクション。
- 対象者-必須。オーディエンスを保存するリスト。
- 新しいメールキャンペーン-必須。新しいメールキャンペーンの名前。
- メールテンプレート-必須。メールに使用されるテンプレート。
- メールの件名-必須。ユーザーに送信される電子メールの件名。
- プレビューテキスト-オプション。メールの本文の一部となるテキスト。
- 送信者の名前-必須。顧客に電子メールを送信した送信者。
- メールへの返信-必須。顧客が返信するために使用される電子メールアドレス。
- タグで連絡先をグループ化-オプション。
- 結果の取得終了日-オプション。

b. 「次へ」をクリックします。

#### Result

[フィールドマッピング]ダイアログが表示されます。

c. メールコネクタフィールドを適切なものにマッピングしますフィールド（に関連付けられたデータ定義から取得その間作成）。マッピングによって実行時に値が変更されるため、これは不可欠です。



**Note:** ジャーニーでは、各ユーザーにオーディエンス ID と呼ばれる固有の ID が与えられます。この ID は、特定のオーディエンスのさまざまな進行中のイベントを追跡するのに役立ちます。リンクはオーディエンス ID フィールドの重要性を理解し、さまざまなオーディエンスについてオーディエンスの価値を送信するため、リンク画面で「ジャーニーオーディエンス ID」フィールドをマッピングすることは必須ではありません。

マッピングにより、電子メールのパーソナライズが実現します。mailchimpで、mailchimpのfirst\_nameをのfnameにマップするとまた、last\_nameをlnameにすると、電子メールの敬礼はフィールドの値に合わせてパーソナライズされます。

d. 「保存」をクリックします。

3. デフォルトの接続がMandrillの場合は、次のステップを実行します。

a. 以下のフィールドに値を指定します。

- メールテンプレート-必須。[フェッチ]をクリックして、使用可能なテンプレートを表示します。
- 送信者の電子メール-オプション。通信を送信するユーザーの電子メールアドレス。
- メールの件名-オプション。ユーザーに送信される電子メールの件名。
- メールへの返信-オプション。顧客が返信するために使用される電子メールアドレス。

- ・結果の取得終了日-オプション。顧客の応答を受け入れる日付を構成します。



**Note:** Mandrillを構成するときに、オプションのフィールドに値を指定しない場合、Mandrillは選択したMandrillテンプレートから値をフェッチします。Mandrillでテンプレートを作成するときに、必ずすべての値を指定してください。

- 「次へ」をクリックします。

#### Result

[フィールドマッピング]ダイアログが表示されます。

- メールコネクタフィールドを適切なものにマッピングしますフィールド（に関連付けられたデータ定義から取得その間作成）。マッピングによって実行時に値が変更されるため、これは不可欠です。マッピングにより、電子メールのパーソナライズが実現します。マンドリルでは、マンドリルのFIRSTNAMEをのFirst\_NameにマップするとLASTNAMEからLast\_Nameの場合、電子メールの敬礼はフィールドの値に合わせてパーソナライズされます。



**Note:** Mandrillは、[フィールドマッピング]ダイアログで最大5つのパーソナライズフィールドをサポートします。

- 「保存」をクリックします。



**Note:** 電子メールタッチポイントは、配信やリンクなどの配信チャンネルで構成できます。ジャーニーがドラフトモード（以前は公開されていません）の場合、ユーザーは配信チャンネルを配信からリンクに、またはその逆に変更することはできません。1つの配信チャンネルを設定したら、それを別の配信チャンネルに変更しないでください。必要に応じて、ユーザーは電子メールタッチポイントを削除し、新しい配信チャンネルで構成できます。

### ジャーニーサポート登録解除イベント

ジャーニーサポート配信を通じてジャーニーのイベントの購読を解除します。ユーザーがジャーニーの電子メールの購読を解除したい場合は、購読解除を通じて追跡します。ユーザーの電子メールIDはテーブルEmailUnsubscribedListに保存され、Journeyは今後これらのユーザーにメールを送信しません。

## SMS タッチポイントの構成

モバイルメッセージを使用して顧客に接続する場合は、SMS タッチポイントを選択します。両方を統合した場合と、オプションが表示されますとDeliverSMS タッチポイントの配信オプションとして。

### Before you begin

この手順を開始する前に、を参照してください。

### About this task

SMS タッチポイントを構成するには、次の手順を実行します。



**Note:** 現在、Unica は LINK (Twilio) および SMS 接続用の配信をサポートしています。

### 1. を選択する.

SMS のデフォルト接続を設定します。詳しくは、「[デフォルトの SMS 接続の設定 on page 97](#)」を参照してください。

#### Result

新しいアクションの作成ページが表示されます。

- a. 以下のフィールドに値を指定します。
    - メッセージ-必須。これは、パーソナライズフィールドを追加できるフリー テキスト テキスト ボックスです。例:こんにちは <名> へようこそ。ここで <First Name> はパーソナライズされたフィールドであり、次のステップで Journey フィールドとマップできます。1 つの SMS に最大 5 つのパーソナライズフィールドを追加できます。
  - b. **「次へ」** をクリックします。
    - [フィールドマッピング]ダイアログが表示されます。
  - c. SMS コネクタ フィールドを適切なフィールド (に関連付けられたデータ定義から取得)の間作成)。マッピングによって実行時に値が変更されるため、これは不可欠です。
  - d. **「保存」** をクリックします。
2. SMS を送信するための次の手順を選択と完了して構成します  
 選択した場合、あなたには接続されていますSMS を送信するための実行エンジン。

- a. 以下の前提条件に適合していることを確認します。
  - 作成の SMS テンプレート.
  - を使用して構成する SMS タッチポイントごとに SMS テンプレートを作成します。 .テンプレートの作成の詳細については、ユーザー ガイドを見てください。
- b. [SMS 構成] ダイアログで、次を選択します。 **「次へ」** をクリックします。

#### Result

[テンプレートの選択] ダイアログが表示されます。

- c. 必要なテンプレートを選択します。複数のテンプレートがある場合は、検索バーを使用して必要なテンプレートを見つけます。 **「次へ」** をクリックします。



**Note:** の、SMS タッチポイントを構成するためにテンプレートが選択されると、他の SMS タッチポイントを構成するために使用できなくなります。この条件は、構成直後にジャーニーを公開する場合にのみ適用されます。ジャーニーを公開しない場合、その間に別のユーザーが同じテンプレートを使用したい場合、他のユーザーは SMS タッチポイントを構成するために使用できます。他のユーザーが公開した場合、別のテンプレートを使用して再構成する必要があります。

#### Result

[マッピング] ダイアログが表示されます。

- d. 適切なマップフィールドフィールド (関連付けられたデータ定義から取得)の間作成)。マッピングによって実行時に値が変更されるため、これは不可欠です。  
マッピングにより、SMS へのパーソナライゼーションが実現されます。のの`FirstName`をマッピングする場合の名前に`LastName`を`lname`にすると、SMS の挨拶文はフィールドの値に合わせてパーソナライズされます。
- e. **【保存】** をクリックします。

## Salesforce タッチポイントの構成

Salesforce で顧客とつながりたい場合は、Salesforce タッチポイントを選択します。Salesforce タッチポイントを構成する場合、使用されるコネクタは Salesforce コネクタになります。

### Before you begin

この手順を開始する前に、を参照してください。

### About this task

Salesforce タッチポイントを構成するには、次の手順を実行します。

1. Salesforce コネクタでデフォルトの Salesforce コネクタとして設定します。 .

#### Result

新しいアクションの作成ページが表示されます。

2. 以下のフィールドに値を指定します。
  - オブジェクト アクション- 必須。新しいオブジェクトを作成するか、既存のオブジェクトを更新するかを指定します。
  - オブジェクト タイプ- 必須。新しい見込み客または連絡先を作成するかどうかを指定します。
3. **【次へ】** をクリックします。

#### Result

[フィールドマッピング]ダイアログが表示されます。

4. Salesforce フィールドを適切なフィールド (ジャーニーの作成中にジャーニーに関連付けられたデータ定義から取得)。マッピングによって実行時に値が変更されるため、これは不可欠です。
5. **【保存】** をクリックします。

## WhatsApp タッチポイントの構成

WhatsApp メッセージを介して顧客に接続する場合は、WhatsApp タッチポイントを選択します。WhatsApp は Unica Deliver と統合されているため、Unica Deliver 実行エンジンに接続して WhatsApp メッセージを送信できます。

### Before you begin

この手順を開始する前に、を参照してください。

### About this task

WhatsApp タッチポイントを構成するには、以下の手順を実行します。

1. WhatsApp タッチポイントをダブルクリックします。

**Result**

「WhatsApp メッセージング」ページが表示されます。

2. 以下のフィールドに値を指定します。

- 名前- 必須。
- 説明- 必須ではありません。

3. 「次へ」をクリックします。

**Result**

[通信の選択]ページが表示されます。

4. 必要なテンプレートを選択します。複数のテンプレートがある場合は、検索バーを使用して必要なテンプレートを見つけます。

5. 「次へ」をクリックします。

**Result**

マッピングページが表示されます。

6. マップ適切なフィールド (関連付けられたデータ定義から取得)の間作成)。マッピングによって実行時に値が変更されるため、これは不可欠です。

マッピングは、WhatsApp へのパーソナライゼーションを実現します。Deliver で、Deliver の `firstName` を Journey の `fname` に、また `lastName` を `lname` にマッピングする場合、WhatsApp のあいさつ文がフィールドの値に合わせてパーソナライズされます。

7. 「保存」をクリックします。

## モバイル プッシュ タッチポイントの構成

モバイル プッシュ メッセージを使用して顧客に接続する場合は、モバイル プッシュ タッチポイントを選択します。モバイル プッシュは Unica Deliver と統合され、12.1.7 以降は Unica Link と統合されているため、Unica Deliver 実行エンジンまたは Unica Link コネクタに接続してモバイル プッシュを送信します。

### About this task

この手順を開始する前に、を参照してください。

モバイル プッシュ タッチポイントを構成するには、以下の手順を実行します。

1. モバイル プッシュ タッチポイントをダブルクリックします。

**Result**

「プッシュ構成」ページが表示されます。

2. 以下のフィールドに値を指定します。

- 名前- 必須。
- 説明- 必須ではありません。

3. 「\*を使用してモバイル プッシュを送信」セクションで、「配信」または「リンク」を選択します。

4. 「次へ」をクリックします。

**Result**

「アプリケーションの選択」ページが表示されます。

5. 「配信」接続を選択した場合のみ、以下の手順を実行します。

- a. 必要なアプリケーションを選択します。検索バーを使用して、必要なアプリケーションを見つけることができます。



**Note:** プッシュ テンプレートの作成中にアプリケーションの選択が配信によって処理されるため、アプリケーションの選択に機能面での影響はありません。通知の送信中は、配信テンプレートの作成中に配信が選択されていると、通信用のアプリの選択が考慮されます。

- b. 「次へ」 をクリックします。

**Result**

「テンプレートの選択」 ページが表示されます。

- c. 必要なテンプレートを選択します。複数のテンプレートがある場合は、検索バーを使用して必要なテンプレートを見つけます。

- d. 「次へ」 をクリックします。

**Result**

マッピングページが表示されます。

- e. (Journey 作成時に Journey に関連付けられたデータ定義から得られる) 適切な Journey フィールドにフィールドをマッピングします。マッピングによって実行時に値が変更されるため、これは不可欠です。



**Note:** XID param は、モバイル プッシュの Journey 関連データ定義の「プッシュ ID タイプ」フィールドをマップするための必須フィールドです。

- f. 「保存」 をクリックします。

6. 「リンク」 接続を選択した場合のみ、以下の手順を実行します。

- a. 「すべての接続 (n)」 パネルで、利用可能な接続 (Android または iOS 向け) のいずれかを選択します。デフォルトの接続を設定したり、デフォルトの接続を削除することもできます。詳しくは、[デフォルトの PUSH 接続の設定 on page 99](#)を参照してください。「次へ」 をクリックします。

**Result**

「プロパティ ステップ1」 セクションがアクティブなパネルが表示されます。

- b. 以下のフィールドに値を指定します。

|                        |                                                                                    |
|------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>Create Audience</b> | 必須。使用可能なオプションは New および Existing です                                                 |
| <b>Audience Name</b>   | 必須。Create Audience の New を選択した場合は、適切な名前を入力します。Existing を選択した場合は、使用可能な値の 1 つを選択します。 |

|                               |                                    |
|-------------------------------|------------------------------------|
| <b>Push Title</b>             | オプション。PUSH<br>の目的を識別する適切な名前を入力します。 |
| <b>Push Body</b>              | オプション。PUSH<br>プロパティの目的について説明します。   |
| <b>Fetch Duration in Days</b> | ステータスを定期的に取り得る必要がある日数を指定します。       |

- c. 必要に応じて、「詳細プロパティ」を切り替えてアクティブ化します。アクティブな場合、以下のフィールドに値を指定します。

|                                |                                                        |
|--------------------------------|--------------------------------------------------------|
| <b>Push icon URL</b>           | iOS (バージョン 10 以降)<br>のみに対応しています。HTTPS URL<br>のみを承認します。 |
| <b>Push Picture URL</b>        | HTTPS URL のみを承認します。JPEG<br>形式のみがサポートされています。            |
| <b>Push audio URL</b>          | iOS (バージョン 10 以降)<br>のみに対応しています。HTTPS URL<br>のみを承認します。 |
| <b>Push video URL</b>          | iOS (バージョン 10 以降)<br>のみに対応しています。HTTPS URL<br>のみを承認します。 |
| <b>Fetch Existing Template</b> | 事前定義されたキャンペーン テンプレートを選択<br>します。                        |
| <b>Time To Live</b>            | バッチが PUSH<br>をデバイスに送信しようとする時間です。                       |
| <b>Deep Link URL</b>           | PUSH<br>送信中のアプリ内の特定の場所に、短縮されたリ<br>ダイレクト URL を指定します。    |

- d. 「次へ」をクリックします。

**Result**

「入力フィールド マッピング ステップ 2」セクションがアクティブなパネルが表示されます。

- e. (Journey 作成時に Journey に関連付けられたデータ定義から得られる) 適切な「**Journey フィールド**」に「**バッチフィールド**」をマッピングします。
- f. 「**保存**」をクリックします。

## Journey コントロール

Journey コントロールは、顧客へ連絡する前または顧客へ応答した後に条件を構成して実行するアクションを扱います。

### About this task

タッチポイントを設定した後、タッチポイントまたはタッチポイントの応答に条件を適用できます。Journey コントロールには、以下のアクションが含まれます。

- 決定の分割
- 契約の分割
- 結合
- ループ開始
- 遅延
- 公開
- データベース

たすには次の手順を実行します。

1. 決定分岐コントロールを追加するには、[を参照してください](#)。
2. Engagement Split コントロールを追加するには、[以下を参照してください](#)。
3. 結合コントロールを追加するには、[を参照してください](#)。
4. 後方ループ コントロールを追加するには、[Journey でのループ on page 45](#) を参照してください。
5. 遅延コントロールを追加するには、[を参照してください](#)。
6. パブリッシュコントロールを追加するには、[次を参照してください](#)。

## 遅延制御の構成

遅延を追加することは、タッチポイントを特定の日にスケジュールすることに似ています。

### About this task

遅延は、ジャーニーの作成中に設定されたタイムゾーンによって異なります。詳しくは、「[ジャーニーを作成する on page 26](#)」を参照してください。

遅延を構成するには、次の手順を実行します。

1. パレット内のコントロールパネルからJourney、追加されたタッチポイントの前後に**遅延**コントロールをドラッグとドロップします。タッチポイントの追加については、[を参照してください](#)。
2. 遅延コントロールをダブルクリックします。

#### Result

[遅延の設定]ダイアログが表示されます。

3. 次の値を指定します。
  - a. 適切な名前を入力します。名前は必須です。
  - b. 適切な説明を入力します。説明はオプションです。

- c. [期間]を選択するか、[待機日]を選択するか、[待機日] ([データ定義]フィールド別) を選択して、適切な値を入力します。



**Note:** [データ定義]フィールドで、必須フィールドとして日付がある場合、遅延制御を日付に設定できます。

- d. [式を使用]チェックボックスがオフの場合、ドロップダウンのある[フィールドを選択]のみが使用可能です。[式を使用する]チェックボックスがオンになっている場合は、[選択]フィールドとともに、[演算子]と[日数]を選択して遅延を構成することもできます。

- e. [完了] をクリックします。



**Note:** ジャーニーが遅延していて、遅延期間を更新すると、「遅延の変更により、既存のすべてのオーディエンスが新しい設定日まで待機する可能性があります。続行してもよろしいですか?」という警告メッセージが表示されます。

## Joinコントロールの構成

Join コントロールを使用して、キャンバスの1つのブランチを別のブランチに結合または結合します。

### About this task

**例:** メールを送信し、ユーザーを次のように分割するエンゲージメントコントロールを追加しました。

- **YES** - リンクをクリックしたユーザーの場合。
- **NO** - リンクをクリックしなかったユーザーの場合。

同じ Journey キャンバスで SMS エンゲージメントコントロールを既に作成している場合、Join コントロールを使用して **NO** フローを SMS エンゲージメントコントロールへのエントリポイントとして接続し、SMS を介してそれらの顧客と通信できるようにします。



### Note:

- Join が循環ループに陥った場合、ポップアップが表示され、警告が表示されます。
- フローの間に結合をドラッグアンドドロップすると、結合の下のフローが削除されることを示す確認ポップアップが表示されます。

Join コントロールを構成するには、次の手順を実行します。

1. Journey パレットから、**[Join]** コントロールをドラッグし、コントロールの必要な **YES** または **NO** にドロップします。タッチポイントの追加については、を参照してください。
2. 追加したJoinコントロールをソースから、フローをマージする宛先にドラッグします。

## Engagement Splitコントロールの構成

Engagement Splitコントロールを使用して、応答した顧客とエンゲージメントします。また、応答していないユーザーの次の行動方針を決定することもできます。Engagement Splitで選択されたイベントに従って応答した顧客はYESパスに進み、残りの顧客は評価期間が終了した後にNOパスに進みます。

### About this task

Engagement Splitコントロールを構成するには、次の手順を実行します。

1. パレットからJourney、追加されたタッチポイントの後に**Engagement Split**コントロールをドラッグします。タッチポイントの追加については、[こちら](#)を参照してください。
2. 追加したEngagement Split要素をダブルクリックします。

#### Result

Engagement Splitダイアログが開きます。

3. 以下のフィールドに値を指定します。
  - 名前-必須
  - 説明-オプション
4. Engagement Splitコントロールを追加するタッチポイントを選択します。選択できるのは、Engagementコントロールの上のタッチポイントのみです。オプションは以下のとおりです。
  - **email - Engagement Split**コントロールの上のすべてのEメールタッチポイント。
  - **SMS - Engagement split**コントロールの上のすべてのSMSタッチポイント。
  - **push - Engagement Split**コントロールの上のすべてのプッシュタッチポイント。
  - **whatsapp - Engagement Split**コントロールの上のすべてのWhatsAppタッチポイント。
5. 以下のいずれかの手順を実行します。
  - a. Eメールタッチポイントの場合、次のいずれかのイベントを選択します。
    - バウンス-バウンスしたEメール IDの場合。バウンスイベントは、ハードバウンスイベントまたはソフトバウンスイベントの場合があります。
    - 開くメールを開いた顧客向け。
    - リンクをクリックしましたか? -メール内のリンクをクリックしたお客様向け。



#### Note:

- デフォルトのメール接続としてMailchimpを選択した場合、Mailchimpはバウンスイベントを送信しないため、バウンスオプションを選択しないでください。バウンスオプションを使用する場合は、デフォルトのメール接続としてマンドリルを設定します。Mandrillコネクタの場合、Journeyはハードバウンスイベントとソフトバウンスイベントをサポートします。デフォルトのメール接続の設定については、[こちら](#)を参照してください。

- b. SMSタッチポイントの場合、次のいずれかのイベントを選択します。
  - **送信済み**
  - **配信済み**
- c. pushタッチポイントの場合、以下のいずれかのイベントを選択します。

- PUSH\_SENT
- PUSH\_DELIVERED
- PUSH\_READ

d. WhatsApp タッチポイントの場合、以下のいずれかのイベントを選択します。

- **送信済み**
- **配信済み**
- **既読**
- **応答**

【**応答**】 イベントの場合、**[+パス]ボタン**をクリックして、ジャーニーキャンバスでブランチとして機能する新しい**Path name**および**Path values**を追加します。

6. [Track Link] -[クリックされたリンク]オプションを選択すると、[配信]の場合、入力されたタッチポイントに関連付けられたテンプレートに存在するすべてのリンクが[Track Link]ファイルのドロップダウンに表示されます。Linkの場合、このフィールドはテキストフィールドとして表示されます。
7. 顧客が通信メッセージにアクセスできるように、次の評価期間のいずれかを設定します。
  - 期間-期間を日、時間、または分で設定します。デフォルトでは、Engagement Splitの評価期間の最小期間は30分です。
  - 日付まで待つ-期間を特定の将来の日付に設定します。デフォルトでは、翌日の日付が選択されています。

デジジョンスプリット、エンゲージメントスプリット、および遅延コントロールの場合、[遅延評価期間の最大日数]プロパティに入力された値は、[期間]フィールドと[待機日]フィールドの両方に適用されます。このプロパティは、Journey tab、**[Journey] > [Journey\_Configurations] > [Journey\_Waittime\_Configurations]** 下の「Platform」構成で使用可能です。待機日数は1日未満にすることはできません。期間および待機日フィールドでサポートされる値は、遅延/評価期間のプロパティ最大日数で設定された値を超えることはできません。たとえば、最大待機日数として50日が設定されていて、ユーザーが50日と20時間を入力すると、エラーメッセージが表示されます。期間または**待機日**が経過すると、Journeyは、選択したタッチポイントに対してイベントが生成されていないと見なします。

8. **[完了]** をクリックします。

## Decision Splitコントロールの構成

デジジョンコントロール（デジジョンスプリット）を使用して、エントリソースデータに条件を追加します。条件を満たすレコードは**YES**パスを流れ、残りのレコードは**NO**パスを流れます。

### About this task

条件を使用して、いくつかのビジネス要件条件でタッチポイントの動作を自動化します。ビジネス要件には、年齢、給与などに基いて顧客のリストをフィルタリングすることが含まれます。

Decision Splitコントロールを構成するには、次の手順を実行します。

1. Journeyパレットから、**Decision Split**コントロールをドラッグとドロップします。

### Result



**Note:** キャンバス上の既存の要素間でDecision Splitをドラッグアンドドロップすると、確認ダイアログが表示されます。残りのフローをYESフローまたはNOフローのどちらに追加するかを確認します。

2. Decision Splitコントロールを構成するには、キャンバス上のコントロールをダブルクリックします。

#### Result

Decision Splitページが表示されます。

3. Decision Splitコントロールを構成するには、次の手順を実行します。
  - a. 適切な名前を入力します。名前は必須です。
  - b. 適切な説明を入力します。説明はオプションです。
  - c. トグルボタンを使用して、条件をORまたはANDとして設定します。デフォルトでは、条件はANDに設定されています。選択は、グループ内のすべてのルールに適用されます。選択した条件は、グループに複数のルールを追加した場合にのみ適用されます。
  - d.  **Note:** グループには1つ以上のルールが含まれます。ルールには、検証する条件のフィールド、条件、および値があります。少なくとも1つのグループを構成する必要があり、グループには少なくとも1つのルールが含まれている必要があります。

最初のドロップダウンボックスでデータフィールド（[データ定義]フィールドと同じ）を選択し、2番目のドロップダウンボックスで条件を選択し、3番目のテキストボックスに値を入力して、ルールを作成します。

Decision Splitを構成する場合、使用可能な演算子は、データタイプフィールドのデータ定義に基づいて表示されます。文字列、数値、および日付フィールドには異なる演算子があります。

Decision Splitで日付を構成するには、日付フィールドの形式がデータ定義の日付形式と一致している必要があります。日付形式が一致しない場合、DecisionSplit構成は失敗します。

- e. グループにルールを追加するには、[+ルールの追加]を選択します。ルールを削除するには、ルールに続くXを選択します。



**Note:** 「データ定義」フィールドのデータ型を変更した後、ユーザーは「条件」フィールドのドロップダウンに関連するオプションを反映するようにデータ型を再選択する必要があります。

- f. グループを追加するには、[+グループの追加]を選択し、ステップcからステップeを実行します。親グループでは、サブグループに5つのレベルのネストが許可されます。ただし、同じレベルで任意の数のグループを追加できます。
- g. グループを削除するには、[グループの削除]を選択します。



**Note:**



- ・グループを削除できるのは、グループが複数ある場合のみです。デフォルトでは、意思 Decision Splitコントロールには、少なくとも1つのルールを持つ少なくとも1つのグループが含まれている必要があります。
- ・グループにネストされたサブグループがあり、削除する親グループを選択すると、サブグループも削除されることを警告する確認ボックスが表示されます。

h. 顧客が条件が満たされるのを待つために、次の評価期間のいずれかを設定します。

- ・期間-期間を日、時間、または分で設定します。デフォルトでは、意思決定評価期間の最小期間は5分です。
- ・日付まで待つ-期間を特定の将来の日付に設定します。デフォルトでは、翌日の日付が選択されています。

期間または待機日が経過すると、Journeyは、選択された決定が分割された構成済みの条件を満たすデータがないと想定し、JourneyのオーディエンスはNOパスに移動します。

条件を満たすオーディエンスは、すぐに「はい」パスに移動されます。

i. Decision Splitを保存するには、**[完了]**を選択します。



**Note:** ユーザーがJourneyエントリーソースに日付を入力し、日付-年が2桁で記載されている場合、Journeyは、現在の世紀の今年を考慮します。例えば、日付をDD/MM/YY - 10/12/22の形式で送信すると、年は2022と見なされます。前世紀からのJourneyを処理するための日付(例: 04/031982)を送信する必要がある場合は、YYYY形式で明示的に指定する必要があります。



**Note:** Journeyは、必須ではないフィールドのデータ値を解釈しておらず、常に任意の値の文字列と見なされます。したがって、nullはデータベースでnullと見なされ、nullのマイルストーン条件は、そのフィールドが入力がない場合にのみ評価されます。同じことがマイルストーンとマイルストーン分析にも当てはまりません。

## 決定の分割は式ビルダーを使用したカスタムマクロの構築をサポート

複雑な式ビルダーを使用すると、ユーザーは単純な式と関数を組み合わせて複雑な式を作成できます。拡張式ビルダーは、複雑なカスタム式を簡単に作成できるように設計されています。式ビルダーでは、ユーザーは決定の分割の一致基準を設計できます。単純なものから複雑なものまで、ネストされた条件のセットを作成するために使用できます。式ビルダーを使用すると、次のような利点が素早く得られます。

- ・データの計算: 複雑な式を使用してデータセットをフィルターし、特定の列の値が特定の値より大きい場合のみ含めるようにします。
- ・数値、日付データの計算: 複雑な式を使用して、列の値より大きい値を計算するか、列内の異なる年齢値を識別します。
- ・ブールデータと文字列データの計算: 複雑な式を使用して、JOEのような特定のキーワードを含む列の名前が使用可能な場合にのみ、Journeyパスを検索して実行します。

式ビルダーに対応している式とデータ型は次のとおりです。

| 数値               | 日付               | ストリング             | ブール  |
|------------------|------------------|-------------------|------|
| ◦ GREATER_THAN   | ◦ GREATER_THAN   | ◦ IN              | ◦ IF |
| ◦ LESS_THAN      | ◦ LESS_THAN      | ◦ NOT_IN          |      |
| ◦ IN             | ◦ IN             | ◦ EQUALS          |      |
| ◦ NOT_IN         | ◦ EQUALS         | ◦ NOT_EQUALS      |      |
| ◦ EQUALS         | ◦ NOT_EQUALS     | ◦ IS_NULL         |      |
| ◦ NOT_EQUALS     | ◦ IS_NULL        | ◦ IS_NOT_NULL     |      |
| ◦ IS_NULL        | ◦ IS_NOT_NULL    | ◦ TO_NUMBER       |      |
| ◦ IS_NOT_NULL    | ◦ GREATER_THAN_E | ◦ STRING_UPPER    |      |
| ◦ GREATER_THAN_E | QUALS            | ◦ STARTS_WITH     |      |
| QUALS            | ◦ LESS_THAN_EQU  | ◦ ENDS_WITH       |      |
| ◦ LESS_THAN_EQU  | ALS              | ◦ STRING_CONTAINS |      |
| ALS              | ◦ TO_DATE        | ◦ TO_STRING       |      |
| ◦ TO_NUMBER      | ◦ DATEDD         | ◦ STRING_LENGTH   |      |
| ◦ TO_STRING      | ◦ CURRENT_DATE   | ◦ STRING_CONCAT   |      |
| ◦ NOT_BETWEEN    | ◦ DATE_FORMAT    | ◦ STRING_LOCATE   |      |
| ◦ BETWEEN        | ◦ DATE_PARSE     | ◦ STRING_SUBSTR   |      |
| ◦ MULT           | ◦ DATE_DAYDIFF   | ◦ STRING_LOWER    |      |
| ◦ SUBSTRACT      | ◦ CURRENT_DAY    | ◦ STRING_REPLACE  |      |
| ◦ DIVIDE         | ◦ CURRENT_MONTH  |                   |      |
| ◦ SUM            | ◦ CURRENT_YEAR   |                   |      |
|                  | ◦ CURRENT_WEEK   |                   |      |
|                  | ◦ CURRENT_DAYOFT |                   |      |
|                  | HEWEEK           |                   |      |

「決定の分割」画面で、式ビルダーを検索したり、アクセスすることができます。「フィールド」ドロップダウンから「式ビルダー」オプションを選択します。

「式ビルダー」ページが表示されます。それぞれのフィールドに必要な値を設定し、「保存」をクリックします。

## Journey でのループ

ループは、Unica Journey 12.1.5 で導入された新機能です。これは Journey コントロールの一部であり、指定した回数のユーザー Journey の一部をループさせるために使用できます。

以前のバージョンでは、Journey 開始ノードから Journey 終了ノードへの単方向フローのみを持つことができる Journey を作成できました。フローを以前のオペレーションに戻して繰り返す可能性のある Journey フローを作成できませんでした。

例えば、電子メール・タッチポイントと SMS タッチポイントを設定していて、同じオーディエンスに電子メールと SMS でリマインダーを送信する場合は、リマインダー用にタッチポイントを追加する必要があります。

ループでは、Journey に追加されたタッチポイントまたはオーケストレーションを指定した回数だけループする柔軟性が得られます。



**Note:** 現在は、9 回以下の繰り返しのループを作成できます。

## ループ開始コントロールの構成

ループ開始コントロールを Journey のフローに追加して構成するには、以下の手順を実行します

### About this task

ループ開始コントロールの使用に関連する条件には、次のようなものがあります。

- タッチポイントまたはオーケストレーションの場合、ループ開始コントロールは Deliver タッチポイントで機能しません。
- ループはどのリンク タッチポイントでも機能しません。
- 繰り返し回数が最大 9 つのループを作成できます。「ループ カウント」フィールドには、1 ~ 9 の数字を追加できます。値 0 は受け入れられません。Journey はループなしでも少なくとも 1 つのパスを処理するため、「ループ カウント」に 1 を追加すると、パスは冗長になります。2 から 9 までの数値を追加することをお勧めします。
- ループ終了ノードは循環している必要があります。宙に浮いたままにしてはなりません。懸垂ループ終了ノードを持つ Journey を保存することはできません。
- ループに遅延コントロールを追加し、これらのコントロールにカーソルを置くと、反復計算カウントは表示されません。
- ループに公開コントロールを追加し、これらのコントロールにカーソルを置くと、反復計算カウントは表示されません。このコントロールがループに追加されると、ループが 1 人のオーディエンスに対して 5 回繰り返し実行される場合、CSV ファイルまたは Kafka トピックの公開または Kafka エントリー ソースの公開に 5 つのエントリーが追加されます。
- Journey に複数のループを追加できますが、異なるループが同じタッチポイントまたはオーケストレーションを共有しないようにします。
- ループ カウントに決定の分割または契約の分割が含まれている場合、「はい」と「いいえ」のブランチを追加した後のカウント値は、オーディエンス数よりも多くなります。詳しくは、[決定の分割またはエンゲージメントの分割統計 on page 51](#)を参照してください。

#### 1. 以下のいずれかの手順を実装します。

- a. 適切なエントリー ソースとデータ定義を使用して、新しい Journey を作成します。必要なタッチポイント、オーケストレーション、目標などを使用して Journey を設計します。
- b. 公開済みまたはドラフト状態の既存の Journey にアクセスします

#### 2. 新しく作成した Journey または既存の Journey で、Journey キャンバスを開きます。

#### 3. パレットから「ループ開始コントロール」をドラッグし、「Journey コントロール」セクションから、ループを終了するタッチポイントまたはオーケストレーションの下にドロップします。

**例:**

- 単一のタッチポイントまたはオーケストレーションをループする場合は、ループ開始コントロールをループするタッチポイントまたはオーケストレーションの下に配置します。このポイントをループ開始と呼びます。
- 複数のタッチポイントまたはオーケストレーションをループする場合は、ループ開始コントロールをループするタッチポイントまたはオーケストレーションの下に配置します。このポイントをループ開始と呼びます。

4.  **Note:** これは必須のステップであり、ドラフト モードで Journey を保存する場合でも必要です。

Journey キャンバスで、ループ終了ノードをドラッグし、ループを開始する場所に接続します。

**例:**

- 単一のタッチポイントまたはオーケストレーションをループする場合、ループ終了ノードをループするタッチポイントまたはオーケストレーションの上にドラッグして、接続します。このポイントをループ終了と呼びます。
- 複数のタッチポイントまたはオーケストレーションをループする場合は、ループ終了コントロールをループするタッチポイントまたはオーケストレーションの上にドラッグして、接続します。このポイントをループ終了と呼びます。

5. ループ開始ノードをダブルクリックします。

**Result**

「ループパラメーター」パネルが開きます。

6. 「ループパラメーター」パネルで、以下の値を指定します。
- Name** - ループ コントロールを識別する名前。
  - Description** - オプション。ループ コントロールの説明。
  - Loop Count** - ループの繰り返しを実行する必要がある回数。このフィールドには、1 未満または 9 を超える値は入力できません。
  - 「**保存**」をクリックします。
7. Journey を保存して公開します。
8. Journey の公開が成功した後、ループ内のタッチポイントまたはオーケストレーションの上にカーソルを置くと、いくつかの統計情報が表示されます。「**ループの詳細**」をクリックすると、詳細が表示されます。[ループによって生成される統計 on page 47](#) を参照してください。
9. 繰り返し/ループ開始ノードにカーソルを置くと、オーディエンスに関する統計が表示されます。[ループによって生成される統計 on page 47](#) を参照してください。
10. 「**パフォーマンス**」タブに要約された統計を表示することもできます。Journey キャンバスから、「**パフォーマンス**」タブにアクセスします。

**Result**

「パフォーマンス」ページが表示されます。ループのパフォーマンスを例で理解するには、[ループ・パフォーマンス統計 on page 50](#) を参照してください。

## ループによって生成される統計

ループ統計はジャーニー統計と似ていますが、繰り返しに関連する追加情報が含まれています。ループ統計は、タッチポイントやオーケストレーションだけでなく、ジャーニー・キャンバスのループ/繰り返しノードにも追加されます。

## タッチポイントまたはオーケストレーション統計

この例では、5 件の繰り返しを持つ電子メール・タッチポイントを使用します。

ループ内の電子メール・タッチポイントの上にカーソルを置きます。ジャーニー統計を含むコールアウトが表示されます。

### Important:

- タッチポイントまたはオーケストレーションがループ内に存在していても、表示される統計情報は最初の繰り返しに対してのみであり、すべての繰り返し後の組み合わせ値ではありません。統計の値を選択するとパネルが開き、すべてのパラメータの値と各繰り返しの値が表示されます。例えば、電子メール・タッチポイントがループにある場合、タッチポイントの上にカーソルを置くと、次のような値が表示されることがあります。Sent: 5 です。値 5 は、繰り返し 1 で送信された 5 通の電子メールを表します。値 5 を選択すると、他の繰り返しの値が表示されます。
- ジャーニーを編集する場合、ループ・コントロールを削除し、ループ・コントロールがすでに一部のループを実行している場合、タッチポイントまたはオーケストレーションの統計には、すべての繰り返しの統合統計カウントが表示されます。

コールアウト内で、「**ループの詳細**」を選択します。「ループ・データ」パネルが表示されます。パネルのデータは次のように表示されます。

| ループ         | I1 | I2 | I3 | I4 | I5 |
|-------------|----|----|----|----|----|
| 開く          | 30 | 25 | 35 | 20 | 15 |
| リンク・クリック    | 25 | 20 | 10 | 5  | 9  |
| バウンス・ソフト    | 7  | 5  | 5  | 5  | 5  |
| バウンス・ハード    | 7  | 5  | 2  | 5  | 5  |
| 送信済み        | 50 | 50 | 50 | 50 | 50 |
| エラー         | 7  | 5  | 3  | 5  | 5  |
| 購読解除        | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  |
| ISP フィードバック | 7  | 5  | 5  | 5  | 5  |
| ランディング・ページ  | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 |



**Note:** ジャーニー設計を編集してループ・カウントを減らすと、統計パネルに使用可能な最大繰り返し回数が表示されます。**例:**一部のオーディエンスを処理する 6 回の繰り返しに対してループを最初に構成し、しばらくしてジャー



ニーを一時停止してループ・カウントを3回に変更すると、統計パネルには6回の繰り返し(最大)が表示されますが、新しく入ったオーディエンスは、3に設定された新しい繰り返しごとに繰り返されます。

いくつかのシナリオと例を見てみましょう。

シナリオ 1:

| ループ  | I1 | I2 | I3 | I4 | I5 |
|------|----|----|----|----|----|
| 送信済み | 50 | 50 | 50 | 50 | 50 |

この場合、繰り返しごとに50人のオーディエンスが存在します。番号50は、メーラーが50人すべてのオーディエンスに送信されたことを示します。

シナリオ 2:

| ループ | I1 | I2 | I3 | I4 | I5 |
|-----|----|----|----|----|----|
| 開く  | 30 | 25 | 35 | 20 | 15 |

このシナリオでは、その特定の繰り返しでメーラーを開いた30、25、35、20、15人のオーディエンスがいます。

各繰り返しの値をクリックすると、その繰り返しのオーディエンス詳細を示すパネルが表示されます。このパネルはジャーニーに設定されたデータ定義に依存するため、パネルではフィールドは固定されていません。ある繰り返しのオーディエンスも、他の繰り返しまたはすべての繰り返しに存在する可能性があります。また、このパネルでは、**Accepted On** という名前のフィールドがあります。このフィールドの値は、オーディエンスがジャーニーに入ったタイムスタンプになります。このタイムスタンプ値は固定されたままになり、繰り返しごとに変更されません。

**例:** 電子メール ID `jane.doe@example.com` 持つオーディエンスが 25/12/2022 09:00 AM にジャーニーに入り、このオーディエンスがループの一部である場合、このオーディエンスの **Accepted On** 値は繰り返しごとに同じままになります。

シナリオ 3:

| ループ      | I1 | I2 | I3 | I4 | I5 |
|----------|----|----|----|----|----|
| リンク・クリック | 25 | 20 | 10 | 5  | 9  |

このシナリオでは、その特定の繰り返しでメーラーのリンクをクリックした25、20、10、5、9人のオーディエンスがいます。

### オーディエンスのループ統計

以下の例では、ジャーニーが10人のオーディエンスを処理し、繰り返しの数が5と仮定しています。

繰り返し/ループ開始ノードにカーソルを置くと、オーディエンスに関する統計が表示されます。「ループの詳細」をクリックするとパネルが開き、以下の詳細が表示されます。

| ループ                | I2 | I3 | I4 | I5 |
|--------------------|----|----|----|----|
| オーディエンス・パス・スルー・ループ | 0  | 5  | 3  | 2  |

デフォルトでは、ジャーニーはループなしで少なくとも1回の繰り返しを実行するため、オーディエンス・ループ・パネルには繰り返し1が表示されません。前述の例では、以下が表示されます

- 10人のオーディエンス全員が2回の繰り返しを完了したため、繰り返し2の値は0です。
- 10人中5人のオーディエンスが3回の繰り返しを完了したため、繰り返し3の値は5です。
- 10人中3人のオーディエンスが4回の繰り返しを完了したため、繰り返し4の値は3です。
- 10人中2人のオーディエンスが5回の繰り返しを完了したため、繰り返し5の値は2です。

### ループ・パフォーマンス統計

ループ・コントロールを使用したジャーニーの「パフォーマンス」タブにアクセスすると、追加されたタッチポイントまたはオーケストレーションの統計が表示されます。

シナリオ:

例えば、ジャーニーでは5人のオーディエンスを処理し、ループには3回の繰り返しを含む電子メール・タッチポイントが含まれていると仮定します。「電子メール・パフォーマンス」セクションには、以下のパフォーマンス統計が表示されます。

- 配信
- 開く
- クリック数
- 平均対話時間

|    |               |             |                                                                                                    |
|----|---------------|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 配信 | 配信済みの合計: 15   | 送信済みの合計: 15 | これは、ジャーニーが15通の電子メールを送信し、15通すべてが配信されたことを示しています (5人のオーディエンスで3回の繰り返しの場合)                              |
| 開く | ユニーク・オープン数: 7 | 送信済みの合計: 15 | これは、ジャーニーが15通の電子メールを送信し、15通の電子メールのうち5通がオーディエンスによって開封されたことを示しています (5人のオーディエンスで3回の繰り返しの場合)。オーディエンスが同 |

|       |                    |             |                                                                                                                                                                                 |
|-------|--------------------|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|       |                    |             | じ電子メールを2<br>回開くと、その電子メールはカウントされ<br>ません。                                                                                                                                         |
| クリック数 | ユニーク・クリック<br>数: 10 | 送信済みの合計: 15 | ジャーニーが 15 通の電子メールを送信<br>し、各電子メールに 2 つのリンクがある場<br>合、合計リンク数は 30 件でした。前の行<br>で 5 通の電子メールを開いた (ユニーク・<br>オープン数: 5) オーディエンスが電子メー<br>ルにある両方のリンクをクリックした場<br>合、ユニーク・クリック数は 10 になりま<br>す。 |

これらの数値は、ジャーニーの目標を設定するときにも適用されます。ループを含むジャーニーについては、必要に応じて、オーディエンスに基づいて目標を設定する代わりに、パフォーマンスで生成された数値に基づいて目標を設定できます。

### 決定の分割またはエンゲージメントの分割統計

ジャーニーでは、決定の分割またはエンゲージメントの分割がループ・コントロールの一部である場合、ループがないジャーニーとは異なる特定の統計があります。例を挙げて説明しましょう。

#### 例:

エンゲージメントの分割を含むジャーニーで、オーディエンスが電子メールを開いた場合、あるフローに移動させ、電子メールを開かない人は別のフローに移動させるという条件が定義されています。この場合、10 人のオーディエンスがいて、そのうち 5 人がメーラーを開き、5 人がそうでない場合、コールアウトにエンゲージメントの分割の場合は 10、各ブランチの場合は 5 と表示されます。

ただし、同じシナリオで、ループ・コントロールと遅延を導入する場合、ここでオーディエンスが電子メールを開かない場合は、48 時間の遅延を追加し、ループ・カウント 3 を追加する場合、数字は次のようになります。

- 1 回目の繰り返し → Engagement Split = 10 | Open Email branch = 5 | Not Opened Email branch = 5.
- Not Opened Email ブランチの場合、2 回目の繰り返しメーラーを送信する前に 48 時間待ちます。メーラー送信後、3 人のオーディエンスが電子メールを開封します。
- 2 回目の繰り返し → Engagement Split = 10 | Open Email branch = 8 | Not Opened Email branch = 5.
- 最初の繰り返しで 5 人のオーディエンスがメーラーを開き、2 回目の反復でさらに 3 人がメーラーを開き、合計 8 人になるため、2 回目の繰り返しでは Open Email ブランチは 8 です。Not Opened Email ブランチの場合、ブランチに入るオーディエンスは同じオーディエンスであるため、値は 5 のままです。
- 2 回目の繰り返し後、Not Opened Email ブランチは、3 回目の繰り返しメーラーを送信する前に 48 時間待ちます。メーラー送信後、残りの 2 人のオーディエンスが電子メールを開封します。
- 3 回目の繰り返し → Engagement Split = 10 | Open Email branch = 10 | Not Opened Email branch = 5.

## オーケストレーション

Journey オーケストレーションは、Journey のデータを他のアプリケーションと共有するために実行されるアクションを扱います。をクリックします。

### About this task

Journey オーケストレーションには、以下のアクションが含まれます。

- **公開**
- **データベース**
- **REST API**

オーケストレーション を設定するには、次の手順を実行します。

1. Publishを設定するには、[を参照してください](#)。
2. Databaseを設定するには、[を参照してください](#)。
3. Rest APIを設定するには、[以下を参照してください](#)。 [Rest APIの設定 on page 55](#)

## 公開の構成

公開オーケストレーションを使用して、特定の段階で連絡先の詳細を保存します。これらの連絡先の詳細を分析に使用したり、CSVファイルとKafkaエントリソースを他のジャーニーで再利用したり、その他のアクションに使用したりできます。

### About this task

公開コントロールを構成するには、次の手順を実行します。

公開コントロールは、特定の段階でオーディエンス情報を収集し、この情報をCSVファイル、Kafkaエントリソース、またはKafkaトピックに投稿します。ファイルはに保存されますサーバー（エンジン）。ファイルパスは、JourneyエンジンおよびJourneyWebのapplication.propertiesファイル内のspring.entity.files.upload.defaultPathプロパティに構成され、パスはJourneyエンジンとJourney Webで同じでなければなりません。Journeyファイルのデフォルトの出力場所は<JOURNEY\_ENGINE\_HOME>/Filesです。

1. からパレット内のコントロールパネルで、**公開**コントロールをCanvasの必要な部分にドラッグアンドドロップします。  
**Result**  
[公開]ダイアログが表示されます。
2. 以下のフィールドに値を指定します。
  - 名前-必須
  - 説明-オプション
3. 連絡先を保存するには、次のいずれかのオプションを選択します。

- **CSV** - データ定義で構成されたフィールドはcsvにエクスポートされます。新しいCSVファイル名を指定するか、既存のCSVファイルの名前を入力することができます。既存のファイルを選択すると、データが既存のファイルに追加されます。
- **Kafka > エントリソース** - 単一の公開コントロールを使用して、最大10個のKafkaエントリソースを構成できます。ジャーニーに関連付けられているKafkaエントリソースは、パブリッシングジャーニーコントロールでKafkaエントリソースを構成している間はリストされません。のために、Kafkaエントリソースが公開で構成されている場合制御し、同じKafkaエントリソースが他のジャーニーに関連付けられている場合、データは、構成されたデータ定義に従って、選択されたジャーニーに対して処理されます。
- **Kafka > トピック** - サードパーティアプリケーションで使用するために、Kafkaトピックに関するオーディエンス情報を投稿します。トピックに適切な名前を付けてください。トピックはKafkaサーバーに保存されません。Kafkaトピック名の長さは最大50文字で、A-Z, a-z, 0-9、ピリオド(.), アンダーバー (\_), および ハイフン (-) 必要があります。



**Note:** ユーザーが複数のKafkaブローカーを使用したいと考え、単一のKafkaブローカーでエンジンを開始すると、デフォルトでこの単一のブローカーにトピックが作成されます。その後、ユーザーがブローカーリストを更新しても、Kafkaは他のブローカーのトピックを複製しません。これは、インストール時にレプリケーション値が1に設定されていたためです。

したがって、インストール時にのみ、複数のブローカーでKafkaを使用するか、単一のブローカーで使用するかを指定する必要があります。

#### 4. オファーの追加 - 「このタッチポイントにオファーを関連付ける」 チェックボックスをオンにします

##### Result

1. 「オファーの選択」 ボタンが有効になります。
2. 「オファーの選択」 をクリックします。
3. Centralized Offer Management からのオファー画面が表示されます。ユーザーは、表示されたオファーリストから1つまたは複数のオファーを選択するか、オファーをダブルクリックしてオファーバリエーションから選択することができます。
4. 「通信チャネルの選択」 ドロップダウンから、必要な通信チャネルを選択します。

8. 完了をクリックします。

 **Note:** レコードが出力され、同じ属性で処理コードが生成されるとすぐに、オーケストレーションポイントのCHが更新されます。

 **Note:** 公開タッチポイントでは、「オファーの選択」ボタンは、ユーザーがJourneyのパーティションを設定した場合にのみ有効になります。

 **Note:** ユーザーは、CSVおよびKafkaトピックを使用した公開タッチポイントでオファーを構成することのみ許可されます。ユーザーはKafkaエントリソースを使用して公開タッチポイントを構成できません。

## データベースの設定

データベース行の挿入/更新/削除や生シーケルの更新により、他のシステムとのオーケストレーションを可能にする。これは、Journeyのすべてのレコードに対して実行されます。

### About this task

データベースを設定するには、次の手順を実行します。

1. パレット内のコントロールパネルから、**データベースコントロール**をキャンバス上の必要な部分にドラッグ&ドロップします。

#### Result

[データベース設定]ダイアログが表示されます。

2. 以下のフィールドに値を指定します。
  - 名前-必須
  - 説明-オプション
3. **オファーの追加** - 「このタッチポイントにオファーを関連付ける」チェックボックスをオンにします

#### Result

「オファーの選択」ボタンが有効になります。

4. 「オファーの選択」をクリックします。
5. Centralized Offer Management からのオファー画面が表示されます。ユーザーは、表示されたオファーリストから1つまたは複数のオファーを選択するか、オファーをダブルクリックしてオファーバリエーションから選択することができます。

 **Note:** データベース タッチポイントでは、「オファーの選択」ボタンは、ユーザーが Journey のパーティション設定を設定した場合にのみ有効になります

6. 「通信チャネルの選択」ドロップダウンから、必要な通信チャネルを選択します。
7. 「次へ」をクリックします。

#### Result

新しいアクションの作成ページが表示されます。

8. デフォルトのデータベース接続は、「既存の接続」フィールドに反映されます。また、データベースの定義されたプロパティは、それぞれのプロパティフィールドに反映される。利用可能な接続から必要な接続を選択します。
9. 「次へ」をクリックします。

#### Result

[フィールドマッピング] ページが表示されます。

10. データベースフィールドと **Journey フィールド**を対応させる。
11. 「保存」をクリックします。

## Rest APIの設定

### About this task

Rest API オーケストレーションを使用して、Journey フィールドをペイロードとして他のアプリケーションに送信します。

Rest APIを設定するには、次の手順を実行します。

1. パレット内のコントロールパネルから、**Rest API**コントロールをCanvas上の必要な部分にドラッグとドロップします。

#### Result

Rest API Configurationダイアログが表示されます。

2. 以下のフィールドに値を指定します。
  - 名前-必須
  - 説明-オプション
  - Rest URL- データを受け取りたいAPIを指定します。
  - **API 詳細**- API メソッドと認証機構を選択します。APIメソッドは3つあります。
    - GET- 残りのURLで設定された宛先エンドポイントからデータを取得するために使用されます。
    - POST- データを公開するために使用されます。
    - PUT- レコードを公開/更新するために使用されます。

認証の仕組みは、Basic、API Key、Oauth、**None**の4種類です。

#### Result

選択されたAPIメソッドと認証メカニズムに基づき、以下のフィールドが表示されます。

基本認証の仕組みを選択した場合、「**認証するための情報を入力してください**」セクションが表示され、「ユーザー名」と「パスワード」のフィールドが表示されます。

APIキー認証の仕組みを選択した場合、「**Enter Credentials to authenticate**」セクションに、「Key Name」と「Key Value」フィールドが表示されます。

Oauth認証の仕組みを選択した場合、「**認証する資格情報を入力する**」セクションに、ユーザー名、パスワード、クライアントID、クライアントシークレット、トークンのURLのフィールドが表示されます。

NoneAuthentication mechanismを選択した場合、認証の詳細は必要ありません。

3. 「次へ」をクリックします。

#### Result

リクエストペイロード] ページが表示されます。

- Rest APIの種類をJSONまたはXMLから選択し、ペイロードを追加します。参考のため、Sample Payloadをクリックしてください。



**Note:** Request Payload画面は、POSTおよびPUT APIメソッドで利用可能です。GETの場合、フィールドは無効のままです。

- 「次へ」をクリックします。

#### Result

応答フィールドのマッピング] ページが表示されます。

- ドロップダウンからJourneyFieldsを選択し、**Response Fields**に目的地システムから受け取った応答を記載します。



**Note:** GET APIメソッドではResponse Mappingが必須ですが、POST APIメソッドおよびPUT APIメソッドでは必須ではありません。

回答は5つのクラスに分類されています。

- 情報提供の回答 (100–199)
- 成功した回答 (200–299)
- リダイレクト (300–399)
- クライアントエラー (400–499)
- サーバーエラー(500–599)

- オファアの追加 - 「このタッチポイントにオファアを関連付ける」 チェックボックスをオンにします

#### Result

「オファアの選択」 ボタンが有効になります。

- 「オファアの選択」 をクリックします。
- Centralized Offer Management からのオファア画面が表示されます。ユーザーは、表示されたオファアリストから1つまたは複数のオファアを選択するか、オファアをダブルクリックしてオファアバリエントから選択することができます。
- 「通信チャネルの選択」 ドロップダウンから、必要な通信チャネルを選択します。
- 保存] をクリックします。

#### Result

Rest APIはJourneyに設定され保存されます。

Rest API では、「オファアの選択」 ボタンは、ユーザーが Journey のパーティションを設定した場合にのみ有効になります。レコードが出力され、同じ属性で処理コードが生成されるとすぐに、Rest ポイントの CH が更新されません。

V12.1.7 以降では、Rest タッチポイント機能で以下の拡張機能が使用できます。

- 1つまたは複数のカスタム ヘッダーを指定するためのプロビジョニング。
- 1つまたは複数の要求パラメーターを指定するためのプロビジョニング。
- HTTPS を使用するなど、Rest タッチポイント経由でセキュアな Web サイトに接続しながら、トラスト・ストアと鍵ストアのカスタム・ロケーションを指定するためのプロビジョニング。

## カスタム・ヘッダー

特定の REST API では、API の使用中に、クライアント・アプリケーションがアプリケーション固有のヘッダーを渡すことが必要な場合があります。このセクションでは、アプリケーション固有のカスタム・ヘッダーをいくつか追加できます。ヘッダーは、静的または動的な値にすることができます。動的値の場合、ユーザーは、<<name>>、<<mobile>> など、フィールド「値」の形式 <<fieldname>> でデータ定義フィールド名を指定する必要があります。プレースホルダーは、実行時に対応するオーディエンス・データで置き換えられます。

複数の値を持つヘッダーの場合、異なる値で複数回指定することをお勧めします。

例

ヘッダー名、ヘッダー値

city Mumbai

city Pune

ただし、上記の推奨事項は、サード・パーティー Rest API ではヘッダー値を解析するロジックによって異なる場合があります。特定の Rest API で例えば city=Mumbai|Pune のように複数の値を渡す必要がある場合、Journey デザイナーは、それに応じて同じ値を指定する必要があります。

ヘッダー名、ヘッダー値

city Mumbai|Pune

このような場合、Journey アプリケーションでは単一値のヘッダーと見なされ、同じ値を Rest API に渡します。このため、Journey デザイナーは、Rest タッチポイントで使用する Rest API の資料を参照する必要があります。

## パラメーター

特定の Rest API では、API の使用中に、クライアント・アプリケーションがアプリケーション固有の要求パラメーターを渡さなければならない場合があります。このセクションでは、アプリケーション固有の要求パラメーターをいくつか追加できます。要求パラメーターは、静的または動的な値にすることができます。

動的値の場合、ユーザーは、<<name>>、<<mobile>> など、フィールド「値」の形式 <<fieldname>> でデータ定義フィールド名を指定する必要があります。プレースホルダーは、実行時に対応するオーディエンス・データで置き換えられます。

複数の値を持つパラメーターの場合、異なる値で複数回指定することをお勧めします。例:

パラメーター名、パラメーター値

city Mumbai

city Pune

ただし、上記の推奨事項は、サード・パーティー Rest API ではパラメーター値を解析するロジックによって異なる場合があります。特定の Rest API で例えば city=Mumbai|Pune のように複数の値を渡す必要がある場合、Journey デザイナーは、それに応じて同じ値を指定する必要があります。

パラメーター名、パラメーター値

city Mumbai|Pune

このような場合、Journey アプリケーションは単一値のパラメーターと見なされ、同じ値を Rest API に渡します。このため、Journey デザイナーは、Rest タッチポイントで使用する Rest API の資料を参照する必要があります。



**Note:** URL 文字列を直接変更して、パラメーターを追加/変更できます。



**Note:** 公開または Rest TP リンクを使用して CH に入力するには、それぞれのパーティションで構成する必要があります。

### URL の動的変数/データ定義フィールド

URL には、http://employeemanagementsystem.com//<<EmployeeName>>/details などのデータ定義フィールドのプレースホルダーを含めることもできます

ここで、EmployeeName はデータ定義のフィールドです。実行時に、Journey エンジンはこのプレースホルダーを各オーディエンスの実際の EmployeeName に置き換えます

## 追加操作のキャンバス

にいるときに次のアクションを実行できますキャンバス画面:

## Journeyの表示または編集

### About this task

を表示または編集するには、次の手順を実行します。

1. Journeyの場合、Journeyキャンバス画面で、「**その他のアクション**」 > 「**詳細の表示/編集**」をクリックします。
  - ドラフト状態のジャーニーのエントリソースとデータ定義を追加または削除できます。
  - データ定義を削除すると、キャンバスが消去されます。
  - 公開されたジャーニーの場合、変更できるのは名前、説明、およびフォルダーのみです。
  - 一時停止したジャーニーの場合、エントリソースを追加または削除できます。

### Result

詳細ページが表示されます。

2. 必要な変更を加え、[保存して続行]をクリックします。詳しくは、『[ジャーニーを作成する on page 26](#)』を参照してください。
3. 必要に応じて、ドラフトのタッチポイントとコントロールの構成を編集または削除できますまたは一時停止[保存]をクリックして保存しますドラフト状態。[公開]をクリックして、。

## テンプレートとして保存

ユーザーは、ジャーニーをテンプレートとして保存し、保存したテンプレートから新しいジャーニーを作成できます。テンプレートを保存するには、次の手順を実行します。

1. Journeyの場合、Journeyキャンバス画面で、「**その他のアクション**」 > 「**テンプレートとして保存**」をクリックします。

### Result

このJourneyをテンプレートとして保存しますか？ ダイアログが表示されます。

2. 新しいテンプレートに名前を付けます。
3. [保存]をクリックします

保存したテンプレートは、[テンプレート]ページで利用できます。詳しくは、こちらを参照してください: [ジャーニーテンプレート on page 85](#)

## Journeyの複製

### About this task

ユーザーは、Journeyリストページからジャーニーを複製することもできます。詳しくは、「[Journeyの複製 on page 69](#)」を参照してください。

ユーザーは複製することができます任意の状態（公開済み、ドラフト、一時停止、または完了）。新しく作成された、複製後、ドラフト状態になります。新しく作成されたのでドラフト状態で、公開済みを複製しています顧客への通信を自動的に再送信しません。

既存のコピーを作成するには、次の手順を実行します。

1. Journeyの場合、Journeyキャンバス画面で、「**その他のアクション**」 > 「**複製**」をクリックします。

### Result

DuplicateJourneyダイアログが表示されます。

2. [コピー]をクリックしてコピーを作成します。

既存のすべての詳細、エントリソース、データ定義、およびジャーニーキャンバスとその構成が含まれています。



**Note:** 目標が設定されている場合、それらはコピーされません。

必要に応じて、エントリソースまたはデータ定義を変更できます。コピーされたデータ定義の変更、コピーされたものを消去しますキャンバス。キャンバスを削除する前に確認ダイアログが表示されます。

### Result

新しく複製されたキャンバスモードで開きます。

## Journeyのエクスポート

この機能は、あるインスタンスから別のインスタンスにJourneyをデプロイするのに役立ちます。ユーザーは、任意の状態（公開済み、ドラフト、一時停止、または完了）でJourneyをエクスポートできます。

Journeyをエクスポートするには、次の手順を実行します。

Journeyの場合、Journeyキャンバス画面で、「**その他のアクション**」 > 「**Journeyのエクスポート**」をクリックします。

### Result

crcファイルとzipファイルがダウンロードされます。



**Note:** ユーザーがCRMタッチポイントを使用したジャーニーを構成し、目標を構成している場合。ジャーニーがターゲットシステムにエクスポートされる場合、エラーなしで編集目標ページにアクセスするには、ターゲットシステムでCRMタッチポイントを再度構成する必要があります。

Journeyリストページからジャーニーをエクスポートすることもできます。詳しくは、こちらを参照してください: [Journeyをエクスポート on page 68](#)

## Journeyの削除

### About this task

削除することもできますからリストページ。詳しくは、「[ジャーニーの削除 on page 68](#)」を参照してください。

削除できるのはそれは**ドラフト**状態です。

を削除するには、次の手順を実行します。

1. のために、キャンバス画面で、**[削除]**をクリックしてジャーニーを削除します。

### Result

確認のダイアログ・ボックスが表示されます。

2. **[はい]**をクリックして削除します。

エントリソース、データ定義、および構成を含むジャーニーキャンバスを含む、既存のジャーニーのすべての詳細が削除されます。

## Journeyの終了

### About this task

を終了するにはキャンバスページで、次の手順を実行します。

のために、キャンバス画面で、**[終了]**をクリックして終了しますキャンバススクリーン。

## Journeyの保存

### About this task

保存するには、次の手順を実行します。

のために、キャンバス画面で、**[保存]**をクリックして、の追加または更新された詳細を保存します。

## Journeyの公開

### About this task

Journeyを公開すると、Journeyの実行が開始されます。Journeyの実行には、テスト実行や実稼働実行などのオプションはありません。公開本番実行を直接実行します。公開することはできませんタッチポイントまたはコントロールが構成されていません。公開または一時停止するには、適切な権限が必要です。。詳しくは、「#unique\_64」を参照してください。

テストするには、サンプルデータを含むエントリースをに割り当てます。公開します。これは、サンプルオーディエンスまたはテストオーディエンスをから実行するのに役立ちますと検証します設計。サンプルデータでジャーニーを確認したら、一時停止しますエントリースを変更して、本番エントリースを指すようにします。この後、再公開できます生産データ付き。

公開するには、次の手順を実行します。

のために、キャンバス画面で、**[公開]**をクリックして公開します。

## Journeyの一時停止と編集

### About this task

公開済みを一時停止して編集できます。

編集のルール一時停止状態の状態は次のとおりです。

- [名前]フィールド、[説明]フィールド、および[公開済み]状態のジャーニーのフォルダーの場所のみを変更できます。
- あなたは変更することができますジャーニーが一時停止状態のときのキャンバス。
- ドラフトおよび一時停止状態のジャーニーのエントリースを追加できます。

一時停止を編集した後、Journeyを再公開して、実行を開始します。

一時停止して編集するには、次の手順を実行します。

1. > **[公開済み]** を選択します。
2. を選択変更のため。詳しくは、「[Journeyの詳細の変更 on page 67](#)」を参照してください。

#### Result

The選択したキャンバスが表示されます。

3. **[一時停止して編集]** をクリックします。

#### Result

確認のダイアログ・ボックスが表示されます。

4. **[一時停止]** をクリックします。

#### Result

ザ一時停止され、エントリースは一時停止されたジャーニーのリストページに移動されます。

## オーディエンス向けジャーニーの停止/一時停止

### About this task

ジャーニーキャンバスでは、ユーザーがルールに一致する特定のオーディエンスを停止するための新しいルールを作成できるようにする、新しいコントロールの「オーディエンスを停止」が導入されています。ユーザーは、ページ設定されたグリッドに既存のルールを表示できます。ルールリストページの各行には、以下の詳細が含まれています。

- ルール名
- ルールの説明
- コンタクト数
- 実際に一時停止したコンタクト
- 作成者
- 作成日
- 実行者
- 実行日
- ルールを変更、削除、および実行するコントロール

## マーキング完全なものとして

### About this task

手動でマークを付けることができます完全なものとして、または目標を設定することで自動化できます。完了の自動化については、を参照してください。。公開済みとしてマークできるのは完全なものとして。

手動でマークを付けるには完了したら、次の手順を実行します。

1. > **「公開済み」** を選択します。
2. を選択完了としてマークします。詳しくは、[「Journeyの詳細の変更 on page 67」](#) を参照してください。

#### Result

The選択したキャンバスが表示されます。

3. **「その他のアクション」** > **「Journeyを完了とマーク」** を選択します。

#### Result

The完了としてマークされます。

## 出品ページの操作

一覧ページは4つのタブに分かれています。

- 公開済み
- ドラフト
- 一時停止
- 完了

## リストページのフィールド

Journeyの一覧ページは4つのタブに分割されており、各タブはそれぞれのステータスを表しています。各タブには、独自のフィールドリストがあります。一部のフィールドはデフォルトフィールドです。

### [公開済み] タブのフィールド

次の表に、公開されたジャーニーの一覧ページで使用できるすべてのフィールドとカスタマイズ可能なフィールドを示します。

Table 3. [公開済み] タブのフィールド

| フィールド名           | デフォルトフィールド? |
|------------------|-------------|
| コード              | あり          |
| 作成者              | なし          |
| 関連付けられたデータ定義     | なし          |
| 説明               | なし          |
| 関連付けられたエントリー・ソース | なし          |
| 目標の進行状況          | あり          |
| 最終修正者            | なし          |
| 最終修正日            | あり          |
| マーケティング・ステージ     | あり          |
| 名前               | あり          |
| 次で公開済み           | あり          |



**Note:** V12.1.7以降では、列「関連付けられたデータ定義」および「関連付けられたエントリー・ソース」には、それぞれのデータ定義およびエントリー・ソースのコードと名前も表示されます。

### 下書きタブのフィールド

次の表に、ドラフトジャーニーリストページで使用できるすべてのフィールドとカスタマイズ可能なフィールドを示します。

Table 4. 下書きタブのフィールド

| フィールド名 | デフォルトフィールド? |
|--------|-------------|
| 作成者    | なし          |

Table 4. 下書きタブのフィールド (continued)

| フィールド名           | デフォルト<br>フィールド? |
|------------------|-----------------|
| 作成日              | なし              |
| コード              | あり              |
| 関連付けられたデータ定義     | あり              |
| 説明               | なし              |
| 関連付けられたエントリー・ソース | あり              |
| 最終修正日            | あり              |
| 最終修正者            | なし              |
| マーケティング・ステージ     | あり              |
| 名前               | あり              |

### 一時停止タブのフィールド

次の表は、一時停止したジャーニーの一覧ページで使用できるすべてのフィールドとカスタマイズ可能なフィールドを示しています。

Table 5. 一時停止タブのフィールド

| フィールド名           | デフォルト<br>フィールド? |
|------------------|-----------------|
| コード              | あり              |
| 作成者              | なし              |
| 関連付けられたデータ定義     | なし              |
| 関連付けられたエントリー・ソース | なし              |
| 説明               | なし              |
| 目標の進行状況          | なし              |
| 最終修正者            | なし              |
| 最終修正日            | あり              |
| マーケティング・ステージ     | あり              |
| 名前               | あり              |
| 次で一時停止           | あり              |
| 次で公開済み           | なし              |

## [完了] タブのフィールド

次の表は、一時停止したジャーニーの一覧ページで使用できるすべてのフィールドとカスタマイズ可能なフィールドを示しています。

Table 6. [完了] タブのフィールド

| フィールド名           | デフォルトフィールド? |
|------------------|-------------|
| コード              | あり          |
| 次で完了             | あり          |
| 作成日              | なし          |
| 関連付けられたデータ定義     | なし          |
| 説明               | なし          |
| 関連付けられたエントリー・ソース | なし          |
| 目標達成             | あり          |
| 最終修正者            | なし          |
| マーケティング・ステージ     | あり          |
| 名前               | あり          |
| 次で公開済み           | なし          |

## ジャーニーでリストされた列を追加または削除します

公開されたジャーニー、ドラフトジャーニー、一時停止されたジャーニー、および完了したジャーニーのリストページから列を追加または削除できます。

### Before you begin

- [公開されたジャーニー] タブのフィールドの詳細については、次を参照してください。 .
- [ドラフト ジャーニー] タブのフィールドの詳細については、次を参照してください。 .
- [一時停止したジャーニー] タブのフィールドの詳細については、次を参照してください。 .
- [完了したジャーニー] タブのフィールドの詳細については、次を参照してください。 .

### About this task

フィールド ビューをカスタマイズするには一覧ページで、次の手順を完了します。

1. [列の追加/削除] を選択します。
2. 追加または削除するフィールドを選択または選択解除します。デフォルトのフィールドを表示するには、[デフォルトにリセット]をクリックします。

3. [適用]をクリックして選択を保存します。



**Note:** V12.1.7以降では、「関連付けられたデータ定義」および「関連付けられたエントリーソース」オプションにチェックを付けると、それらのコードの名前も使用可能になり、クリック可能になります。

## Journey をインポート

Journey 覧ページから、ジャーニーをインポートすることができます。

### About this task

ジャーニーをインポートするには、次の手順を実行します。

1. インポート・ジャーニーをクリックする

#### Result

検索窓が表示されます。

2. システムからインポートする必要がある **crc** および **zip** ファイルを選択します。



**Note:** zipファイルのみ、またはcrcファイルのみを選択した場合、「開く」時に「少なくとも2つのファイルを選択してください」というエラーメッセージが表示され、続行できません。

3. 「開く」をクリックする

#### Result

Journey ファイルが正常にインポートされました。

ジャーニーがインポートされると、「**ジャーニーは正常にインポートされました**」というポップアップが呼び出されます。ポップアップに「**ジャーニー名**」と「**場所**」が表示されます。「**ジャーニーの表示**」ボタンをクリックして、インポートされたジャーニーを表示します。インポートされたジャーニーは、Journey 覧ページの [ドラフトジャーニー] に表示されます。

4. インポートするたびに、以下の詳細がソースのJourneyからターゲットのJourneyにコピーされます。
  - ソースシステムと同じエントリーソースが、新しいエントリーソースコードで作成されます。
  - ソースシステムと同じデータ定義が、新しいデータ定義コードで作成されます。
  - Journey - フォルダー構造、ジャーニーの詳細（名前、説明など）がコピーされます。すべてのリンクおよび配信タッチポイントについて - 名前と説明はコピーされますが、リンクインスタンスがターゲット環境で異なる可能性があるため、タッチポイントは未設定のままです。メールテンプレートは、それぞれDeliverに割り当てられません。
  - エンゲージメント・スプリット - インポート後、テンプレートが配信タッチポイントに割り当てられないため、配信の場合のリンククリックのドロップダウンを除き、すべての詳細がコピーされます。
  - ジャーニーマイルストーンがコピーされます。各マイルストーンに関連するエントリーソースは、マイルストーン条件と一緒にコピーされます。
  - すべてのJourney Goalがコピーされます。Deliverの場合、リンククリックのドロップダウンはコピーされません。

- ジャーニー・デ・デュプリケーションの設定がそのままコピーされます。



**Note:** オファー統合の設定やパーティションの設定はコピーされません。

- 一度にエクスポートできるのは1つのJourneyのみです。ただし、同じエクスポートされたファイルを使用して、ターゲットシステムで複数回ジャーニーをインポートできます。(これにより、ジャーニーがインポートされるたびにエン트리ソースとデータ定義が作成されます)



**Note:** ユーザーがCRMタッチポイントを使用したジャーニーを構成し、目標を構成している場合。ジャーニーがターゲットシステムにインポートされると、ターゲットシステムでCRMタッチポイントを再度設定し、エラーなしでゴール編集ページにアクセスできるようにする必要があります。



**Note:** ジャーニーをインポートするには、ジャーニーを作成する権限が必要です。

## Journeyの詳細の変更

Journeyからリストページの詳細を変更できます。

### About this task

編集規則は次のとおりです。

- すべてのフィールドとドラフト状態のジャーニーのキャンバス。
- [公開済み] 状態、[一時停止] 状態、または [完了] 状態のジャーニーの [名前] フィールド、[説明] フィールド、およびフォルダーの場所のみを変更できます。
- Journeyキャンバスは、ドラフトおよび一時停止状態のジャーニーに対して編集可能になります。
- Journeyキャンバスは、完了済みおよび公開済みの状態のジャーニーでは編集できません。
- ドラフトおよび一時停止状態のジャーニーのエントリソースを追加できます。

詳細は中からキャンバスを変更することもできます。詳しくは、[「Journeyの表示または編集 on page 58」](#)を参照してください。

を変更するには、次の手順を完了します。

1. カーソルを必要な。
2. > アイコンを選択します。または、名前をクリックします。
3. 必要な変更を行う。詳しくは、[「ジャーニーを作成する on page 26」](#)を参照してください。
4. 変更を保存するには、ジャーニーの更新をクリックします。

## ジャーニーを別のフォルダーに移動する

一覧ページからのみジャーニーを移動できます。ジャーニーは [フォルダー] ページでのみ表示できます。

### About this task

1 つまたは複数のジャーニーを移動するには、次の手順を実行します。

1. 以下のいずれかの方法を使用します。
  - a. 単一の Journey を移動するには、必要なジャーニーの上にカーソルを置いて、> を選択するか、必要な Journey の前にあるチェックボックスを選択して「**フォルダーに移動**」をクリックします。
  - b. 複数のジャーニーを移動するには、必要なジャーニーの前にあるチェックボックスを選択し、[フォルダーに移動] をクリックします。
2. 必要な宛先フォルダーを選択し、[ここに移動] をクリックします。

## Journey をエクスポート

Journeyの一覧ページから、Journeyをエクスポートすることができます。ユーザーは、任意の状態（公開済み、ドラフト、一時停止、または完了）でJourneyをエクスポートできます。

### About this task

Journeyをエクスポートするには、次の手順を実行します。

必要なJourneyにカーソルを合わせて >

#### Result

crcファイルとzipファイルがダウンロードされます。

Journeyキャンバス画面からJourneyをエクスポートすることもできます。詳しくは、こちらを参照してください:

[#unique\\_52\\_Connect\\_42\\_ul\\_sdk\\_jcq\\_2mb on page 58](#)[Journeyのエクスポート on page 59](#)

## ジャーニーの削除

Journeyを削除するには、または複数のジャーニーにリストページのアクセスする必要があります。

### About this task

V12.1.7以降では、ドラフトジャーニーに加えて、完了したジャーニーを削除できます。一時停止または公開されたジャーニーを削除するには、ユーザーは最初にジャーニーに完了のマークを付ける必要があります。ユーザーがこのオプションをクリックして、ジャーニー状態を完了に変更すると、確認アラートが表示されます。アラートメッセージは、ジャーニーを完了としてマークしても、ジャーニーやデータの処理は実行されず、ジャーニーのステータスのみを変更されることを示しています。ジャーニーが完了としてマークされると、ユーザーはそのジャーニーを選択して削除できます。

ユーザーがUIで操作を削除することに同意した場合、システムは直ちにジャーニーアプリケーションからジャーニーを完全に削除し、エンジン application.properties ファイルの cleanup.audience.enable=true/false 設定に基づいて、他の関連データがジャーニーシステムデータベースから削除されます。詳細については、『ジャーニー管理者ガイド』の「**ジャーニーオーディエンスのクリーンアップ**」の章を参照してください。

ジャーニーを削除することもできますキャンバス。詳しくは、「[Journeyの削除 on page 60](#)」を参照してください。

を削除するには、または複数のジャーニーの場合、次の手順を完了します。

以下のいずれかの方法を使用します。

- a. Journey を削除するには、カーソルを必要な Journey の上に置き、 > を選択するか、必要な Journey の前にあるチェックボックスを選択して [削除] をクリックします。
- b. 複数のジャーニーを削除するには、必要なジャーニーの前にあるチェックボックスを選択し、[削除] をクリックします。

## Journey の複製

ジャーニー一覧ページまたはキャンバスページからでも次のいずれかを複製できます。を複製できます任意の状態(下書き、公開、一時停止、または完了)。複製されたジャーニーのステータスは、最初はドラフト状態になります。

### About this task

の複製を作成するには、次の手順を完了します。

1. リストページには次のいずれかのタブを選択します。:
  - 公開済み
  - ドラフト
  - 一時停止
  - 完了
2. 必要な Journey にカーソルを置き、 > を選択します。

#### Result

DuplicateJourneyダイアログが表示されます。

3. 適切な名前を付けて、[保存] をクリックします。

## Journeyの設定または重複排除

### About this task

Unica Journeyでは、ファイル、REST、Kafka、Unica Campaign、Unica Interact、Unica Discoverなど複数のエントリー・ソースの入力が必要です。既存のオーディエンス・レコードが同じJourneyに複数回プッシュされる場合があります。例えば、Kafkaを使用するタイプのエントリーソースは、フローチャートの各実行から同じオーディエンス情報を、同様に、RESTまたはファイルベースのエントリーソースも同じオーディエンスレコードを、設定使用できて重複レコードを識別し、重複レコードに対して実行するアクションを指定するための。利用可能なアクションは、重複を削除するか、既存のレコードを新しいデータで更新することです。

重複排除は、データ定義の必須フィールドで機能します。この設定は、ドラフト状態のジャーニーにのみ追加できます。

連絡先の重複排除を設定するには、次の手順を実行します。

1. Journeyの場合、Journeyキャンバス画面で、**【その他のアクション】 > 【設定】** をクリックします。

#### Result

[ジャーニー設定]ページが表示されます。

2.  **CAUTION:** 一度選択したオプションを変更することはできません。が公開されています。

以下のいずれかのオプションを選択します。

**Choose from:**

- 連絡先の重複を許可 - 連絡先の重複を許可する場合は、このオプションを選択します。これはデフォルト設定です。

**例:** 電子メールID `john.doe@example.com`が既に存在する場合、同じ電子メールIDを持つ別のエントリは新しいレコードと見なされます。

- 連絡先の重複を許可しない - 連絡先の重複を許可しない場合は、このオプションを選択します。
  - [フィールドの選択] オプションで、前述の必須フィールドを選択します。[データ定義 on page 21](#) 重複する連絡先を認識するための ID を指定します。をクリックして余分なフィールドを追加します。をクリックして追加されたフィールドを削除します。フィールドの選択の詳細については、[データ定義 on page 21](#)を参照してください。
  - 重複する連絡先に対する次のアクションのいずれかを選択します。
    - 連絡先を破棄 - 新しい重複が見つかった場合は破棄します。たとえば、電子メール ID `john.doe@example.com`が既に存在する場合、エントリに同じ電子メール ID が含まれている場合、新しいエントリは破棄されます。
    - 既存の連絡先を更新 - 既存の連絡先を新しく見つかった重複で更新します。たとえば、レコードに名前、住所、電子メール ID、および性別があり、電子メール ID が重要なフィールドで、性別がオプション フィールドである場合、性別に値を追加してレコードを更新すると、システムは電子メールが ID は同じですが、性別フィールドの値が以前に存在しなかったため、システムは既存の連絡先を更新します。
  - [保存して閉じる]をクリックします。

## ジャーニー・レコードの検証

レコードがジャーニーに入ると、ユーザーはレコードに検証を設定できます。

**Validations\_On\_Journey\_Records** プロパティが `Yes` に設定されると、電子メール形式、必須フィールドのデータ型、および必須フィールドのデータ定義の最小長と最大長についての検証が実行されます。

デフォルトで、**Validations\_On\_Journey\_Records** プロパティは `Yes` に設定されています。

このプロパティは、Platform 側の Platform 構成から操作できます。Platform 構成設定の下で次のように移動できます: `Affinium|Journey|Journey_Configurations` の設定。

**Validations\_On\_Journey\_Records:** このフラグには、ジャーニー・レコードで検証を実行するかどうかを定義します。

使用可能な値: `Yes` / `No`.



**Note:**



- **Validations\_On\_Journey\_Records** プロパティが `No` に設定されていて、ユーザーがデータ重複解消設定にいくつかのフィールドを追加した場合、空白および `NULL` データは重複排除フィールドでは受け入れられません。
- フラグを設定したら、変更を反映させるために、Platform と Journey からログアウトし、両方のアプリケーションに再度ログインします。
- どのような理由であれ、Platform から Journey 内の **Validations\_On\_Journey\_Records** プロパティにアクセスできない場合は、代替として Journey Web から `application.properties` ファイルの `journey.journeyrecords.validationrules` プロパティを設定できます。

## Journey 目標

### About this task

Journeyアプリケーションは、で目標/Goalを設定する機能を提供します。目標は、日付ベース、コンタクト/レスポンスベース、売上ベースがあります。以下の Journey ステージに対して、日付ベース、コンタクト/レスポンスベース、売上ベースのうちいずれかの目標を設定できます。ドラフト、一時停止、または公開。目標の追加/編集ページでは、「タッチポイントの選択」ドロップダウンリストに、キャンバスに設定されたすべてのメールとSMSのタッチポイントのリストが表示されます。

- メール用 - メール送信、メール開封、リンククリックのイベントをサポートします。
- SMS用 - SMS送信、SMS配信のイベントに対応。
- プッシュ用 - プッシュ送信、プッシュ配信、プッシュ読み取りのイベントをサポートします



**Note:** 1つのジャーニーに複数の目標 (最大 15 目標) を追加することができます。また、売上に応じた目標を設定することも可能です。

|                 |                                                                                                                                                                                                                                                |
|-----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>日付ベースの目標</p> | <p>日付ベースの目標では、目標日が達成されると、<b>が完了</b>と表示されます。日付ベースの目標を設定するために、で設定した最大遅延を計算するための特定の検証が提供され、マーケティング担当者は設定した最大遅延より大きい目標日を設定することができます。一度目標として目標日が設定されると、ユーザーは目標日を減らすことはできません。ユーザーは目標日を増やすことしかできません。ユーザーは、任意の時点で日付ベースの目標をリセットし、新しい目標を追加することができます。</p> |
|-----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|-------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                         |  <b>Note:</b><br>1つのJourneyには、日付ベースの目標を1つだけ追加することができます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| <p>コンタクト / 回答ベースの目標</p> | <p>コンタクト/レスポンスベースの目標を追加するには、タッチポイントを設定し、ジャーニーに保存する必要があります。頻度がオフの場合、「Mark目標が達成されたときに完了した場合」チェックボックスが使用できます。チェックボックスをオンにすると、タッチポイントとそのイベントでコンタクト/レスポンスベースに基づく目標が達成されると、「Complete (完了)」とマークされます。</p> <p>頻度がオフの場合、Mark<br/> 目標が達成されたときに完了した場合チェックボックスは使用できず、タッチポイントのコンタクトベースのターゲットが達成された後も、ジャーニーは公開状態で実行され、すべてのイベントを捕捉し続けます。デフォルトでは週単位のオプションが選択されていますが、日単位、月単位、四半期単位に変更することができます。</p>                                                                                                                            |
| <p>売上ベースの目標</p>         | <p>売上ベースの目標を追加するには、CRM/Salesforceのタッチポイントを設定し、Journeyに保存しておく必要があります。売上ベースの目標は、リードの目標を設定することで作成されます。頻度がオフの場合は、「Mark<br/> 目標が達成されたときに完了した場合」チェックボックスが利用できます。チェックボックスをオンにすると、タッチポイントとそのイベントの売上目標が達成されると、「Complete (完了)」とマークされます。売上ベースの目標のトラッキングパラメータは、選択オブジェクトがリードまたはコンタクト、アクションが作成または更新のいずれかになる以外は、日付ベースおよびコンタクト/レスポンスベースの目標と同じです。</p> <p>頻度がオンの場合、Mark<br/> 目標が達成されたときに完了した場合チェックボックスは使用できず、タッチポイントの売上目標が達成された後も、ジャーニーは公開状態で継続され、すべてのイベントがキャプチャされます。デフォルトでは週単位のオプションが選択されていますが、日単位、月単位、四半期単位に変更することができます。</p> |



**Note:** 日次、週次、月次、四半期別の目標頻度は、標準カレンダーに準ずるものとします。すべての計算は、Journey Timezoneの設定に従って行われます。

が下書きの段階であれば、ユーザーは目標を日付ベースからコンタクト/レスポンスベースや売上ベースに切り替えることができ、その逆も可能です。

目標を追加したり、Journey 目標を編集したりするには、次の手順を実行します。



**Note:** ゴールを追加する前に、キャンバスにタッチポイントが設定されていることを確認します。

1. の場合、キャンバス画面で、「**Add/Edit Goal**」をクリックします。

#### Result

Add/Edit Goalダイアログが表示されます。

2. 日付を基準に目標を設定するには、「日付」を選択し、次の手順を実行します。
  - a. Goal Target Dateフィールドには、将来の日時を設定します。  
日付ベースのゴールは、作成時に設定されたタイムゾーンに依存します。デフォルトでは、翌日の日付と時刻を表示します。
3. 回答した連絡先の数に基づいて目標を設定するには、「連絡先の数」を選択し、次の手順を実行します。
  - a.  **Note:** タッチポイントの選択] フィールドと [イベントの選択] フィールドに値を表示するには、タッチポイントを追加する必要があります。タッチポイントを追加しない場合、ドロップダウンには何も値がありません。

タッチポイントを選択し、対応する**イベント**を選択します。

- b. Deliverの場合、Link Clickedオプションを選択すると、入力したタッチポイントに関連するテンプレートに存在するすべてのリンクが、Select Linkフィールドのドロップダウンに表示されます。Linkの場合、このフィールドはテキストフィールドとして表示されます。電子メールタッチポイントでは、イベントフィールドドロップダウンでEmails\_OpenとEmail\_Sentのオプションが利用可能です。SMSタッチポイントでは、イベントフィールドドロップダウンにSMS\_DeliverとSMS\_Sentのオプションが用意されています。
- c. ターゲットフィールドに正の数値を追加する。の目標が入力された値を満たすと、が目標を達成したことを示す表示になります。、継続することも、閉鎖することも可能です。
- d. 目標が達成された時点で、を完了としてマークしたい場合は、チェックボックス**Mark 目標が達成されたとき**に完了した場合を選択します。

#### 複数の目標を見る

新しい目標を追加すると、ジャーニーの既存の目標のリストが表示されます。各目標には、画面左側に目標名が表示され、目標の種類、頻度、目標、達成度などの詳細が表示されます。画面右側には、ゴールトラッキングの詳細が表示されます。目標名をクリックすると、ドーナツグラフで目標達成状況を表示します。目標の進捗状況（目標達成度）に応じて、ドーナツチャートの色を変えて表示します。

- 100%-フルダークグリーン
- 75%以上-ライトグリーン

- 50%以上 - 黄
- 25%以上 - オレンジ
- 25%以下 - 赤

### 目標の編集

ジャーニーのドラフト段階では、ゴール全体（ゴール名、ゴールタイプ、頻度、ゴールターゲット）を編集することができます。ジャーニーが [公開] または [一時停止] の状態では、[目標名] と [目標ターゲット] のみ編集できます。編集モードでは、日付ベースの目標について、ユーザーは既存の日付より大きい日付のみを選択できます。非頻度ベースの目標を編集する際、目標達成数が目標値以下の場合、目標達成時にジャーニーを完了としてマークするチェックボックスをオンにすると、目標達成数と目標値を同じにできないというエラーが表示される。目標値を上げる。



**Note:** 編集、一時停止、公開モードでは、頻度目標の場合は目標値の値を増減できますが、非頻度目標の場合は目標値の値を増加させることしかできません。



**Note:** 目標の過去のパフォーマンスを表示したり、目標を編集することができます。データはジャーニー・タイムゾーン（TZ文字列）で記録されます。

## Journey統計

がPublishまたはCompletedになると、統計情報を見ることができます。

### コンタクトのJourney統計

スタート地点にカーソルを合わせると、様々なエントリーソースからエントリーしたコンタクトの統計情報を見ることができます。

| フィールド  | 説明                                                |
|--------|---------------------------------------------------|
| コンタクト先 | エントリーソースごとの、承認または <b>拒否</b> されたコンタクトの数。 .         |
| 合計     | によって承認または <b>拒否</b> されたすべてのエントリーソースからのコンタクトの総数。 . |

### タッチポイントのJourney統計

一度が発行済みまたは完了済みの場合、キャンバスに移動し、次のタッチポイントにカーソルを合わせて、統計学

| タッチ・ポイント | 提供される統計                                                                                                            |
|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Eメール     | Journeyは、電子メール・タッチポイントに関する以下の統計を提供します <ul style="list-style-type: none"> <li>• 送信済み</li> <li>• バウンス・ソフト</li> </ul> |

| タッチ・ポイント          | 提供される統計                                                                                                                                                                            |
|-------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>• バウンス・ハード</li> <li>• 開く</li> <li>• リンク・クリック</li> <li>• エラー</li> <li>• 待機中</li> <li>• 停止</li> </ul>                                         |
| <b>SMS</b>        | <p>Journeyは、SMSタッチポイントに関する以下の統計を提供します</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 送信済み</li> <li>• 配信済み</li> <li>• リンク・クリック</li> <li>• エラー</li> <li>• 待機中</li> <li>• 停止</li> </ul> |
| <b>Salesforce</b> | <p>Journeyは、SMSタッチポイントに関する以下の統計を提供します</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 正常に完了</li> <li>• 失敗</li> <li>• 待機中</li> <li>• 停止</li> </ul>                                     |
| <b>WhatsApp</b>   | <p>Journeyは、WhatsAppタッチポイントに関する以下の統計を提供します</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 送信済み</li> <li>• 配信済み</li> <li>• エラー</li> <li>• 既読</li> <li>• 待機中</li> <li>• 停止</li> </ul>  |
| <b>プッシュ</b>       | <p>Journeyは、に関する以下の統計を提供します</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 送信済み</li> <li>• 配信済み</li> <li>• 既読</li> </ul>                                                             |

| タッチ・ポイント | 提供される統計                                                                             |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------|
|          | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 失敗</li> <li>• 待機中</li> <li>• 停止</li> </ul> |

## ジャーニー・コントロールのJourney統計

ジャーニーの開始点をクリックすると、視聴者の総数が表示されます。オーディエンスは、承認済み（アクションが実行される有効なデータ）と拒否済み（無効/不正確なデータ）の両方のセクションに分かれています。承認済みのコンタクト先の詳細を表示するには、承認済みの数をクリックします。画面には、「承認日」、「CustomerID」、「FirstName」、「LastName」、「電子メール」などの情報が表示されます。「拒否済みカウント」をクリックすると、拒否済みコンタクト先の詳細が表示されます。画面には、「拒否日」、「理由」、「FirstName」、「LastName」、「電子メール」などの情報が表示されます。

タッチポイントをクリックすると、オーディエンス エントリ ソースのリストと合計リストが表示されます。さらに、個々のステータス番号をクリックすると、ポップアップが表示され、異なるブランチに移動するレコードのデータ定義フィールドの詳細が表示されます。

メール アイコンをクリックすると、さまざまなチャンネル (Mailchimp と Mandrill) を介して送信されたメールの数が表示されます。



**Note:** カウントが 0 の場合、このリンクは無効にする必要があります。このページにはカスタムの並べ替えはありません。デフォルトでは、降順、応答の日時で並べ替えられます。ポップアップにはページネーションがありません。

公開コントロールの場合、コントロールの上にカーソルを置くと、保存されている連絡先の総数が表示されます。

Decision Split コントロールまたは Engagement Split コントロールの場合、次の数値が表示されます。

- コントロールに入る連絡先の数を含むコールアウト。
- YESフローの連絡先の数を含むコールアウト。
- NOフローの連絡先の数を含むコールアウト。

## Journey ステータス

Journey は、以下の 4 つのステータスのいずれかになります。ドラフト、公開済み、一時停止、完了。

### 公開されたジャーニーを見る

公開ジャーニー一覧ページには、選択したフォルダーにあるすべての公開ジャーニーがリストアップされます。

#### About this task

掲載ジャーニー一覧ページでは、一連の操作を行うことができます。

1. 特定のフォルダーから公開されたジャーニーを表示するには、[を参照してください](#)。
2. 一覧ページに列を追加または削除するには、[次を参照してください](#)。
3. 公開されている [を修正するには、Journeyの詳細の変更 on page 67](#) を参照してください。
4. 公開されたジャーニーをあるフォルダから別のフォルダに移動するには、[を参照してください](#)。

V12.1.4以降、公開ビュー機能が導入され、公開されたジャーニーと完了したジャーニーの構成を表示できるようになりました。「ジャーニーキャンバス」画面で目的のタッチポイントをダブルクリックして、表示専用モードで構成を表示します（構成は編集できません）。「保存」ボタンは、変更が行われなように無効のままになります。

Linkタッチポイントでは、すべての構成の詳細を含む要約ページが呼び出されます。



**Note:** このコネクタ設定のラベルは正確でない可能性があります。正確なラベルのジャーニーを一時停止して編集してください。

Deliverタッチポイントでは、すべてのオプションを無効にした状態で、ジャーニーの構成に使用する構成画面が表示されます。



**Note:** Journeyが公開され、オーディエンスがJourneyに入り始めると、Journeyの各タッチポイントで、これらのオーディエンスの統計が表示されます。その間に、ユーザーが一時停止してジャーニーを更新し、ジャーニーの開始地点に新しいタッチポイントを追加して、再度パブリッシュする場合。そして、統計ビューのJourneyでは、新しく追加されたタッチポイントのカウントが追加された時点から表示され、ユーザーはこの最初のタッチポイント（スタートではない）と既存のタッチポイントを流れる異なるカウントを確認することができるのです。開始時および最初に追加されたタッチポイントのカウントは同じに表示されます。

## Draft Journeysの表示されます

Draft Journeys リスト ページには、選択したフォルダーから公開されたすべてのジャーニーが一覧表示されます。

### About this task

Draft Journeys リスト ページで一連の操作を実行できます。

1. 特定のフォルダーからDraft Journeysを表示するには、[次を参照してください](#)。
2. 一覧ページに列を追加または削除するには、[次を参照してください](#)。
3. 下書きを修正するには、[Journeyの詳細の変更 on page 67](#)を見てください。
4. Draft Journeysをあるフォルダーから別のフォルダーに移動するには、[以下を参照してください](#)。
5. Draft Journeysを削除するには、[以下を参照してください](#)。

## Paused Journeysを表示する

Paused Journeysの一覧ページには、選択したフォルダーから一時停止したすべてのジャーニーが一覧表示されます。

### About this task

Paused Journeys リストページで一連の操作を実行できます。

1. 特定のフォルダーからPaused Journeysを表示するには、次を参照してください。 .
2. 一覧ページに列を追加または削除するには、次を参照してください。 .
3. 一時停止を変更するには、 [Journeyの詳細の変更 on page 67](#)を見てください。
4. Paused Journeysをあるフォルダーから別のフォルダーに移動するには、次を参照してください。 .

## 完了したジャーニーの表示します

完了したジャーニーの一覧ページには、選択したフォルダーからすべての完了したジャーニーが一覧表示されます。

### About this task

完了したジャーニー リストページで一連の操作を実行できます。

1. 特定のフォルダーから完了したジャーニーを表示するには、次を参照してください。 .
2. 一覧ページに列を追加または削除するには、次を参照してください。 .
3. 完成品を修正するには、 [Journeyの詳細の変更 on page 67](#)を見てください。
4. 完了したジャーニーをあるフォルダーから別のフォルダーに移動するには、次を参照してください。 .



**Note:** 一部またはすべてのオーディエンスに対してジャーニーが完了または終了すると、そのようなオーディエンスデータがjourneyaudiencesテーブルからendjourneyaudienceテーブルに移動されます。



**Note:** 公開ビュー機能が導入され、公開されたジャーニーと完了したジャーニーの構成を表示できるようになりました。「ジャーニーキャンバス」画面で目的のタッチポイントをダブルクリックして、表示専用モードで構成を表示します（構成は編集できません）。「保存」ボタンは、変更が行われずに無効のままになります。

## レポート

公開されたジャーニーをクリックすると、ジャーニーの概要、パフォーマンス、目標、オーディエンスのアクティビティ/ログ、マイルストーンが表示されます。



**Note:** ユーザーは、ジャーニー分析の「レポート」ページにアクセスできます。

## サマリー

サマリータブをクリックすると、ジャーニーキャンバスが表示されます。画面上部にマイルストーンの詳細が表示されます。サマリータブをクリックすると、ジャーニーキャンバスが表示されます。画面上部にマイルストーンの詳細が表示されます。ジャーニーキャンバスのスタートアイコンにカーソルを合わせると、コンタクトの名前と、受付・拒否の合計数が表示されます。

メールのタッチポイントにカーソルを合わせると、送信数、ソフトバウンス数、ハードバウンス数、開封数、リンククリック数、エラー数を確認することができます。



**Note:** 電子メールのタッチポイントにマウスを置いたときに表示される電子メールリンクのクリック数が、パフォーマンスタブに表示される電子メールリンクのクリック数と異なっている。マウスホバー時に表示されるカウントは Audienceの総カウント数ですが、パフォーマンスタブでは実際のメールリンククリックカウントが表示されます。

SMSのタッチポイントにカーソルを合わせると、SMSの総送信数、配信数、リンククリック数、エラー数を知ることができます。カウントをクリックすると、そのカウントの詳細を表示するポップアップが表示されます。このポップアップは、Adtechタッチポイントでは表示されません。

Rest APIアイコンにカーソルを合わせると、送信回数、成功回数、エラー回数が表示されます。送信回数は、成功回数とエラー回数の合計となります。Sent and Success countハイパーリンクをクリックすると、Sent and Success詳細ページが表示されます。画面には、「日付と時間」「名前」「姓」「Eメールアドレス」「DOC」が表示されます。エラー数のハイパーリンクをクリックすると、エラーの詳細ページが表示されます。画面には、「日付と時刻」「エラーメッセージ」「名前」「姓」「Eメールアドレス」「DOC」が表示されます。

## パフォーマンス

パフォーマンスタブをクリックすると、メールパフォーマンスとSMSパフォーマンスが表示されます。



**Note:** 性能評価のため、データはジャーニー・タイムゾーン (TZ文字列) で記録される

**メールパフォーマンス:** ジャーニーでのメールパフォーマンスを確認します。このセクションは、メールの送信、配信、クリックのパフォーマンス全般に関する情報を提供します。

- 配信- あらゆるタッチポイントで送信されたメールの総数と、配信に成功したメールの数を表示します。
  - 配信タイルをクリックすると、「メールパフォーマンス - 合計配信数」ポップアップが表示されます。ポップアップには、Touchpoint、Template名、Channel、Sent、Deliveredの情報が表示されます。



**Note:** Deliverの場合、テンプレート名はすべてのチャンネルに表示されますが、Linkの場合、テンプレート名はMandrillで送信されるメールにのみ表示されます。

- 開封数- タッチポイントで送信されたメールの総数と、ユニーク開封数を表示します。これは、メールを開封した人の総数を意味しますが、メールを複数回開封した場合でも、1人1回しかカウントされません。
  - 開封数] タイルをクリックすると、「メールパフォーマンス - ユニーク開封数」ポップアップが表示されます。ポップアップには、「Touchpoint」「テンプレート名」「Channel」「Opens」の情報が表示されません。
- クリック数- 各タッチポイントで送信されたメールの総数、およびユニーククリック数を表示します。
  - Clicksタイルをクリックすると、Email performance - Unique Clicksのポップアップが表示されます。ポップアップには、「Touchpoint」「テンプレート名」「Channel」「Link」「Clicks」の情報が表示されます。

それぞれの情報は、メール配信数、ユニークオープン数、ユニーククリック数の割合がピアグラフで表示されません。

- 平均統合時間- メールの開封とクリックの時間を記録することで、平均統合時間を表示します。

**SMSパフォーマンス:** ジャーニーでのSMSのパフォーマンスを確認します。このセクションでは、送信および配信されたSMSの全体的なパフォーマンスに関する情報を提供します。

- 配信- あらゆるタッチポイントで送信されたSMSの総数と、配信に成功したSMSの数を表示します。

**プッシュパフォーマンス:** ジャーニーでのプッシュのパフォーマンスを確認するために、このセクションでは、配信されたプッシュと送信済みプッシュ全体に対する開封済みプッシュの全体的なパフォーマンスに関する情報をユーザーに提供します。

リフレッシュ- 見る [共通機能キー on page 82](#)

エクスポートレポート- 参照 [共通機能キー on page 82](#)

期間- 参照 [共通機能キー on page 82](#)

その他のアクション- ドロップダウンに以下のオプションがあります。

- 詳細の表示 / 編集- 「ジャーニーの表示 / 編集」 (32 ページ) を参照してください。
- 設定- ジャーニーの設定 (43 ページ) をご参照ください。
- ジャーニーを完了としてマークする- 「ジャーニーを完了としてマークする (36 ページ)」 を参照。
- 複製- 「ジャーニーを複製する」 (33 ページ) を参照してください。

終了- これをクリックして、パフォーマンス画面を終了します

目標の追加/編集- 目標を追加または編集するには、「[目標の追加/編集 \(45 ページ\) on page 73](#)」を参照してください。

一時停止と編集ジャーニーを一時停止または編集するには、「[ジャーニーの一時停止と編集 \(35 ページ\) on page 61](#)」を参照してください。

## 目標

Goals タブをクリックすると、Goals の進捗状況レポートが表示されます。目標を追加すると、各目標の進捗状況をグラフで確認することができます。ここでは、目標ターゲット、目標完了、目標完了率 (%) についての情報を提供します。

画面右側にあるドロップダウンで目標を選択すると、それぞれの進捗状況グラフが表示されます。デフォルトでは、一番上のゴールが選択されます。期間と頻度は、以下から選択できます

- 毎日
- 週次
- 月次
- 四半期

選択された頻度に基づいて、目標進捗グラフが表示されます。デフォルトでは、月次が選択されています。



**Note:** 日次、週次、月次、四半期目標のデータは、ジャーニーのタイムゾーン（TZ文字列）で記録されます。

というように、目標の種類に応じてグラフ / チャートが表示されます。

- 日付ベースの目標 - ドーナツチャート
- 頻度ベースの目標 - バーチャート
- 非頻度目標 - 折れ線グラフ



**Note:** このグラフは、ユーザーがジャーニーで目標を作成または定義している場合にのみ表示されます。

## オーディエンス

Audiencesタブをクリックすると、ジャーニーに参加した観客の総数が表示されます。グラフは、各エントリーソースからの総受講者数および受講者数を表示します。Select sourceドロップダウンから入力ソースを選択することができます。デフォルトでは、すべてのエントリーソースが選択されています。画面右上には、最後に生成された日付と時刻が表示されます。また、期間と頻度を選択すると、それに応じてオーディエンスグラフが表示されます。デフォルトでは、月次が選択されています。



**Note:** データはジャーニー・タイムゾーン（TZ文字列）で記録されます。

リフレッシュ- 見る [共通機能キー on page 82](#)

エクスポートレポート- 参照 [共通機能キー on page 82](#)



**Note:** Audiences画面に表示されるY軸の範囲は、Exportレポートに表示される範囲と異なる場合があります。

期間- 参照 [共通機能キー on page 82](#)

その他のアクション- ドロップダウンに以下のオプションがあります。

- 詳細の表示 / 編集- 「ジャーニーの表示 / 編集」 (32 ページ) を参照してください。
- 設定- ジャーニーの設定 (43 ページ) をご参照ください。
- ジャーニーを完了としてマークする- 「ジャーニーを完了としてマークする (36 ページ)」を参照。
- 複製- 「ジャーニーを複製する」 (33 ページ) を参照してください。

終了- これをクリックして、パフォーマンス画面を終了します

目標の追加/編集- 目標を追加または編集するには、「[目標の追加/編集 \(45 ページ\) on page 73](#)」を参照してください。

一時停止と編集ジャーニーを一時停止または編集するには、「[ジャーニーの一時停止と編集 \(35 ページ\) on page 61](#)」を参照してください。

## マイルストーン

V12.1 Fixpack 4以降では、Milestonesの画面にアクセスできるようになりました。マイルストーン」タブをクリックすると、マイルストーン分析レポートが表示されます。このセクションでは、2つのマイルストーン間の視聴者数減少とマイルストーン達成の平均時間に関する詳細を説明します。トグルスイッチにより、進行状況をファネル表示とグラフ表示で確認することができます。グラフ表示を選択すると、その下にドロップグラフが表示されます。グラフにカーソルを置くと、ドロップ率と平均時間（日数）が表示されます（時間形式はDDHHMMです）。

達成したマイルストーンに基づき、ファネルチャートは異なる色で表示されます。

- 100%-フルダークグリーン
- 75%以上 - ライトグリーン
- 50%以上 - 黄
- 25%以上 - オレンジ
- 25%以下 - 赤



**Note:** マイルストーングラフは、ユーザーがジャーニーにマイルストーンを定義している場合のみ利用できます。マイルストーンは、追加された順番に表示されます。

平均時間- バージョン 12.1.0.3 から 12.1.0.4 にアップグレードした場合、平均時間は 0 と表示されます。データ更新後の平均表示時間は、Journeyとリンクしている視聴者とデータ更新の差分となります。

ファネルビュー- マイルストーンのパフォーマンスをファネルビューまたはグラフビューで表示するには、このトグルスイッチをクリックしてください。

リフレッシュ- 見る [共通機能キー on page 82](#)

エクスポートレポート- 参照 [共通機能キー on page 82](#)

その他のアクション- ドロップダウンに以下のオプションがあります。

- 詳細の表示 / 編集- 「ジャーニーの表示 / 編集」 (32 ページ)を参照してください。
- 設定-ジャーニーの設定 (43ページ) をご参照ください。
- ジャーニーを完了としてマークする- 「ジャーニーを完了としてマークする (36ページ) 」を参照。
- 複製- 「ジャーニーを複製する」 (33 ページ) を参照してください。

終了-これをクリックして、パフォーマンス画面を終了します

目標の追加/編集- 目標を追加または編集するには、「[目標の追加/編集 \(45ページ\) on page 73](#)」を参照してください。

一時停止と編集ジャーニーを一時停止または編集するには、「[ジャーニーの一時停止と編集 \(35ページ\) on page 61](#)」を参照してください。

## 共通機能キー

Refresh- Refreshボタンをクリックすると、データが更新されます。

Export Report- これをクリックすると、Journeyのパフォーマンス・レポートがPDF形式でエクスポートされます。Export Reportオプションは、Published JourneyとCompleted Journeyで利用可能です。エクスポートされるレポートには、Journeyメタデータ、パフォーマンスグラフ、選択されたパラメータが含まれます。レポートをエクスポートする前に、グラフが完全にロードされていることを確認してください。

期間-これをクリックして、パフォーマンスレポートを表示する期間を選択します。デフォルトでは「現在/今月」が選択されていますが、以下のオプションから任意の時間枠を選択することができます。

- 過去 7 日間
- 直近 30 日
- 現在・今月
- 先月
- 過去 3 カ月
- 過去 6 か月間
- 去年
- 今年
- すべての時期
- カスタム日付範囲

## Chapter 6. Journey チェーニング

Unica Journey には、ドリップ マーケティングの機能が含まれています。マーケティング担当者は、1つのオーディエンスグループに対してさまざまなジャーニーを実行し、マーケティングの各段階でより良いコミュニケーションで顧客にサービスを提供できます。

ある Journey からのオーディエンスの流れを簡単にトリガーして、新しい Journey に移動できます。Unica Journey はパブリッシュコントロールを使用して、データを別のエントリーソースにプッシュします。Journeys は、このエントリーソースを使用して、オーディエンスの流れをトリガーします。

1台からデータを出力できますパブリッシュタッチポイントを使用してフラットファイルに変換します。このデータは、他のジャーニーの静的入力として使用できます。

## Chapter 7. ジャーニーテンプレート

テンプレート」ページには、保存されているすべてのJourneyテンプレートが表示されます。テンプレート名、テンプレートID、作成日、関連するデータ定義、プレビューなどの詳細を確認することができます。プレビュー」ハイパーリンクをクリックすると、ジャーニーテンプレートのプレビューが表示されます。

必要なジャーニーにカーソルを合わせて > をクリックし、テンプレートを削除します。

必要なジャーニーにカーソルを合わせて > を選択し、テンプレートを使ってジャーニーを作成します。Create Journey from this template?ダイアログが表示されます。ジャーニーに名前を付けて、「作成」をクリックします。ユーザーはJourney canvasページにリダイレクトされます。



**Note:** ジャーニーテンプレートを編集することはできません。テンプレートを変更する場合、ユーザーは新しいJourneyを作成し、更新してテンプレートとして保存する必要があります。Create templateには、ユーザーのロールやパーミッションは添付されません。テンプレートは、ある環境から別の環境へコピーすることはできませんので、ユーザーはJourneyのインポート/エクスポート機能を使用して同じことを行うことができます。ジャーニーゴール、ジャーニーマイルストーンは、テンプレートに関連づけられず、テンプレートに保存されません。



**Note:** ジャーニーテンプレートは、データ定義やエントリースースと同様のフォルダー構造に保存できます。ジャーニーテンプレートは、現在、エントリースース、データ定義、ジャーニーにあるため、グローバル検索バーから検索することもできます。同じ名前のテンプレートでも、異なるテンプレートIDを持つテンプレートが存在する場合があります。テンプレートは、データ定義の詳細とともに保存されます。ジャーニーに関連付けられたエントリースースは、テンプレートと共に保存されないという問題がありました。旅先の設定は、テンプレートに保存されません。

## Chapter 8. オーディエンスの停止の作成

バージョン12.1.5以降、**オーディエンスの停止** という新しい機能が導入されました。この機能を使用して、特定のオーディエンスのためにジャーニーを停止または一時停止することができます。

**オーディエンスの停止** 機能には、ジャーニー キャンバスからアクセスできます。ユーザー停止機能を使用して、ルールに一致する特定のオーディエンスを停止するルールを作成します。

### 「オーディエンス停止」を使用して数人のユーザーの Journey を一時停止する

数人のユーザーの Journey を停止または一時停止するには、以下の手順を実行します。

1. 関連する Journey にアクセスします。
2. 「**オーディエンス停止の作成**」をクリックします。
3. 「**オーディエンス停止**」をクリックします。

#### Result

「**停止ルール**」パネルが表示されます。

4. 「**+停止要求**」をクリックします。

#### Result

「**新規停止要求**」パネルが表示されます。

5. 「**新規停止要求**」パネルで、以下の手順を実行します。
  - a. 以下のフィールドに値を指定します。
    - ・ **名前**
    - ・ **説明**
  - b. 以下のオプションを使用して、ルールまたはルール・グループを作成または削除します。
    - ・ **Add Rule** - 「**ルールの追加**」を選択して、満たす必要があるルールまたは条件を追加します。条件トグル「**OR**」または「**AND**」を使用して、複数のルールを連結したり、ルールをルール・グループと連結します。「**X**」を選択してルールを削除します。
    - ・ **Add Group** - 「**グループの追加**」を選択して、ルール・グループを追加します。ルール・グループには複数のルールが含まれています。条件トグル「**OR**」または「**AND**」を使用して、グループ内のルールを連結したり、ルール・グループを他のルール・グループやルールと連結します。「**グループの削除**」を選択して、ルール・グループを削除します。「**X**」を選択して、ルール・グループ内の個々のルールを削除することもできます。ルール・グループには最低2つのルールが必要です。

6. 「**件数の計算**」をクリックします。

#### Result

ルールが「**停止ルール**」ページに表示され、計算プロセスが開始されます。「**停止ルール**」ページには、以下の詳細が表示されます。

- **Rule Name**
- **Description**
- **Executed On**

- Executed By
- Audience Count
- Audience Affected
- Created By
- Created On

7. 計算後に、ルール of **Audience Count** が入力されます。
8. ルールを実行するには、ルールの前にある **「ルールの実行」** ボタンをクリックします。ルールを実行すると、ルールを元に戻すことができないことを示す警告メッセージが表示されます。

#### Result

ルールの実行が開始されます。ルールの実行中は、**「+停止要求」** をクリックできません。



#### Note:

- オーディエンスはバッチで停止します。そのため、最終結果は完全な成功または部分的な成功になる可能性があります。
- 停止したオーディエンスの実際数は、ルール実行中にオーディエンスが Journey に入った可能性があるため、計算されたオーディエンスの数と異なる場合があります。

9. ルール実行後、ルールの「停止したオーディエンス ( $n$ )」パネルが表示されます。ここで  $n$  は一時停止または停止されるオーディエンスの数です。**「停止したコンタクト先をエクスポート」** をクリックして、オーディエンスのリストを CSV ファイルにエクスポートします。
  - ルールを実行した後は、ルールを削除、再実行、または変更することはできません。
  - ルールの実行中に、**「停止ルール」** で停止したオーディエンス数が更新されています。カウント値をクリックすると、特定のルールで停止したすべてのオーディエンスが表示されます。
  - オーディエンス情報は、別のページに一時停止時間の降順で表示されます。
10. 「ルール」ページが表示され、ルールと停止したオーディエンスのリストが表示されます。**「キャンセル」** をクリックします。

#### Result

「ルール・リスト」ページが開き、**「コンタクト先の停止？」** ダイアログが表示されます。

11. **「はい、確認します」** をクリックすると、オーディエンスが Journey のどこにいるかに関係なく、記載のオーディエンス数の Journey が停止します。**「はい、確認します」** をクリックすると、操作を元に戻すことはできません。

## Chapter 9. ジャーニー オーディエンスのクリーンアップ

V12.1.7以降では、ジャーニー オーディエンスをライブで実行しているジャーニーから削除することができます。cron ジョブがスケジュールされます (顧客は必要に応じて cron 式を構成できます)。このジョブは、ステータスが JOURNEY\_COMPLETED および JOURNEY\_ENDED のすべてのオーディエンスを検索し、それらのオーディエンスとその関連データ (オーディエンス応答、マイルストーン、目標などのデータ) をそれぞれのテーブルから削除します。この削除されたデータは回復できません。これは、ジャーニー エンジンの全体的なパフォーマンスの向上に役立ちます。この機能をサポートするために、エンジンの `application.properties` ファイルにプロパティーが導入されました。これらのプロパティーの詳細は、『ジャーニー管理者ガイド』に追加されています。

## Chapter 10. ジャーニーとの統合を提案

Centralized Offer Management (COM) からのJourneyサポートオファー。COMで作成されたオファーは、Unica Journeyのリンクコネクターで直接メールタッチポイントに関連付けることができます。

Unica Deliverアプリケーションでは、ユーザーはオファーをDeliver Emailコミュニケーションに関連付けることができ、これらのDeliver Emailコミュニケーションは、Email Deliverタッチポイントに設定することができます。メールコミュニケーションに割り当てられたオファーは、Unica Journeyのメールタッチポイントに関連付けられます。

Journeyは、以下のチャンネルを通じて、オファーの統合をサポートしています。

- Deliver・オファー・インテグレーション
- リンク・オファー統合
- インターアクト・ネクスト・ベスト・オファー (NBO)

また、Journeyは、Journey経由で配信されたオファーのコンテンツ履歴とレスポンス履歴 (CH/RH) のトラッキングにも対応しています。

### Deliver・オファー・インテグレーション

ユーザーは、Centralized Offer Management システムでオファーを作成し、それらのオファーをDeliver メールコミュニケーションに関連付けます。

#### 前提条件

- Centralized Offer Management (COM) でオファーを作成する
- Unica DeliverでOfferを使ったメールコミュニケーションを作成します。
- Unica Deliverを使用して設定したメールタッチポイントごとに、オファー付きのメールコミュニケーションを作成します。Unica DeliverのOfferを使用したUnicaメールコミュニケーションの作成についての詳細は、Unica Deliverユーザーガイドを参照してください。

Deliverで電子メールのタッチポイントを設定するには、次の手順を実行します。

1. 「**メール設定**」ダイアログで、「**Deliver**」を選択します。
2. 「次へ」をクリックします。
3. [テンプレートの選択] ダイアログが表示されます。
4. ランディングページ - Journeyキャンバスでは、Deliverを使用して電子メールを構成できます。配信中の電子メールテンプレートにランディングページが関連付けられている場合、ユーザーは、ランディングページフィールドを含むJourneyデータ定義フィールドを構成でき、エンドユーザーが入力を行うと、マッピングフィールドごとにユーザー入力がJourneyで使用できるようになります。ユーザーはこれらを決定の分割で使用できます。
5. オファー設定-必要なメールコミュニケーションを選択します。複数のメールコミュニケーションがある場合は、検索バーを使って必要なメールコミュニケーションを探します。オファーが関連付けられたメールコミュニケーションは、そのメールコミュニケーションに設定されたオファーの数とともに、画面の右側に表示されます。例: 1つのオファーが電子メール通信に関連付けられている場合、1つのオファーが表示されます。ユーザーがオファーに

マウスを合わせると、オファーコードと有効期限の詳細が表示されます。ユーザーがオファーをクリックすると、オファーの詳細画面が表示されます。

6. 「次へ」をクリックします。
7. [マッピング] ダイアログが表示されます。
8. 「**パーソナライズフィールドのマッピング**」 - (Journey作成時にJourneyに関連付けられたデータ定義から得られる) 適切なJourneyフィールドにDeliverフィールドをマッピングします。マッピングによって実行時に値が変更されるため、これは不可欠です。マッピングにより、電子メールのパーソナライズが実現します。Deliverでは、DeliverのFirstNameをJourneyのfnameに、LastNameをlnameにマッピングすると、メール内の敬語がフィールドの値にパーソナライズされます。
9. 「**ランディングページ応答のマッピング**」 - Journeyフィールドを適切なランディングページフィールドにマッピングします。ユーザーが「ランディング」ページを使用して入力を行うと、マッピングフィールドに基づいてユーザー入力はJourneyで使用できるようになります。



**Note:** Journeyは「ランディングページ」フォームのフィールド名を「ラベル名」で認識することはできません。Journeyは、「ランディングページ」フォームのフィールドを「**レポートフィールド名**」属性でのみ認識できます。

10. 「保存」をクリックします。

## 留意点

- メールコミュニケーションで2つのランディングページ属性がマッピングされている場合、いずれかのランディングページの属性はJourneyに入っていません。
- ユーザーが「ランディング」ページを変更した場合、Journeyでこれらの変更を利用できるようにするには、「ランディング」ページとメールコミュニケーションを再公開する必要があります。メールコミュニケーションのコピーを実行し、Journeyを一時停止して、このコピーされたメールコミュニケーションを再構成します。
- 配信コミュニケーションに何らかの変更が加えられた場合、ユーザーはメールタッチポイントを再構成して、変更をJourneyに反映させる必要があります。
- オファーが割り当てられたメールテンプレートがJourneyに関連づけられると、Journeyはそれらのオファーを取得し、メールから受け取ったレスポンスはコンタクトとレスポンス履歴に記録されます。
- ユーザーは、フローチャートの実行日や有効期限ではなく、固定日付で提供されるオファー・テンプレートを使用する必要があります。
- Unica Journeyは、オファーを評価し、コミュニケーションチャンネルに送信する際、有効期限と期限を守りません。ユーザーは、期限切れのオファーを手動で削除し、有効なオファーを割り当てる必要があります。
- 対応するJourneyのパーティション設定が保存されていない場合、関連するオファーに対してコンタクト履歴とレスポンス履歴 (CH/RH) は取得されません。Journeyパーティションを保存しないで進むと、「Journey用のパーティション設定が保存されていません」という警告メッセージが表示されます。応答履歴やコンタクト履歴 (CH/RH) を保存するには、旅先でのパーティション設定を保存することが重要です。設定メニューから設定を保存することができます。
- Journeyでは、可視性ルールを持つオファー属性がDeliverメールテンプレートに割り当てられている場合、Journeyは可視性ルールを持つオファーのCH/RHのトラッキングをサポートしません。

- オファーが割り当てられたメールテンプレートがJourneyに関連付けられると、Journeyはそれらのオファーを取得し、メールから受け取ったレスポンスはUnica Campaignのコンタクトとレスポンス履歴データベーステーブルに取り込まれます。
- JourneyのタッチポイントにDeliver email-communicationを関連付けた後、Deliver側のオファー属性に何らかの変更があった場合、Journeyには反映されません。Deliver-オファーとJourneyの関連付けはRead Onlyです。データ定義フィールド画面では、オファーアトリビュートマッピングはサポートされていません。
- Journeyでは、Deliverでバッチ処理でサポートされているオファー機能のすべてをサポートしていません。Journey-Deliverでサポートするオファーのためのシンプルなバニラもの。
- Journeyは、ユーザーがDeliverメール内でクリックしたリンクのクリック数とLinkurlを追跡します。これらのリンクは、Journeyのエンゲージメント・スプリットで使用することができ、また、目標の進捗を確認するために使用することができます。オファーとは異なり、クリックスルー・リンクは、レスポンス・トラッキングの目的でのみJourneyによって捕捉されます。これらのオファーのクリックスルーURLは、Journeyのエンゲージメント・スプリットやJourneyのゴール計算には使用できません。OfferのDeliverメールで利用できるリンクは、リンククリックイベントのEngagement splitページおよびGoalsページには表示されません。目標の履歴ページで、リンククリックの頻度が低い目標の場合、リンクドロップダウンにオファーリンクのURLが表示されなくなります。非頻度ベースのリンククリック目標の場合、オファーリンクのDeliver「リンククリック」数は、総リンククリック数の一部として加算されます。
- Journey Deliverオファー統合はオファー属性値の変更をサポートしていません。このオファーが使用中の場合、変更されたオファー属性値はJourneyで使用できません。
- Journeyでは、重複した記録を許可しています。視聴者がJourneyのメールタッチポイントに入るたびに、オファーが表示されます。このオファーは、キャンペーンの連絡先履歴テーブルで連絡先として報告されます。同じ視聴者IDが同じメールタッチポイントに再入力すると、その視聴者IDにもう一度同じオファーが提示されます。この重複するコンタクトがキャンペーンに投稿されると、「同じ顧客の同じオファーに対するコンタクトはすでに報告されている」という条件で、重複するコンタクトレコードが破棄されます。Journeyが重複したレコードをJourneyに入力させる場合、初回のみ提示されるオファー（コンタクト）が捕捉されます。同じ視聴者IDの同じオファーに対する後続のコンタクトは破棄されます。同じ視聴者を複数回処理させたくない場合は、Journey設定でDo not allow duplicate contacts radio buttonを選択することをお勧めします。ユーザーが同じJourneyで同じオーディエンスを複数回プッシュした場合、最初のコンタクトのみが記録されます。同じ視聴者IDの同じオファーに対する後続のコンタクトは破棄されます。
- Deliver側でオファー統合のために、Centralized Offer Managementのすべての属性がサポートされているわけではありません。

オファーがDeliverのメールコミュニケーションで割り当てられ、レスポンスがJourneyに記録される場合、以下のオファー属性がサポートされます。

#### ◦ 標準属性

- 平均レスポンス収益
- Channel
- チャネル・タイプ
- オファー当たりのコスト
- クリエイティブ URL
- 有効日および失効期間
- 調達コスト

- インタラクション・ポイント ID
- インタラクション・ポイント名
- オファー固定コスト
- **カスタム属性**
  - テキストフィールド-文字列
  - テキストフィールド-数値
  - テキストフィールド-日付
  - テキストフィールド-通貨
  - セレクトボックス-文字列

Deliver メールコミュニケーションが設定されている場合、以下のオファー属性はサポートされません。

- ブール
- **整数型**
- URL
- リッチ・テキスト
- セレクトボックス-データベース
- Journey-Deliverのオファー統合によってコンタクト/レスポンス履歴がすでに入力されているオファーをユーザーが削除しようとした場合、そのオファーは削除時にCOMで引退させられます。今後、ユーザーが新しいオーディエンスをプッシュした場合、オファーがリタイア状態であっても、そのオーディエンスに対してコンタクト/レスポンス履歴が生成されます。
- ユーザーがオファーを使ってDeliverタッチポイントを構成してもJourneyがまだドラフト状態(未公開)の場合、ユーザーはCOMからこのオファーを削除することができます。以降、ユーザーはJourneyを公開できます。対象者にメールは送信されますが、キャンペーンに回答履歴は生成されません。
- メールおよびSMS配信タッチポイントを構成すると、Journeyからのコミュニケーションのプレビューを確認できます。これには、選択されたコミュニケーションの確認に使用するコミュニケーションリストからアクセスできます。プレビューでは、Journeyを実行する前にエンドコミュニケーションがどのように見えるかを確認できます。



**Note:** Deliver Quick Builderで作成されたコミュニケーションのみが、コミュニケーションリスト画面でサムネイルとしてレンダリングされます。

- Journey Deliverオファー統合は、COMオファーのバリエーションとテンプレートなしのオファーをサポートしていません。
- Journey Deliverオファー統合では、JourneyはOfferUrlとOfferstaticAttributejson情報を取得しないため、これらの列はJourneyデータベースのoffermetadataテーブルにNullとして表示されます。JourneyはCOMの静的属性をサポートしていません。
- ユーザーがオファーコードとオファーの有効期限をツールチップに表示できない場合、プラットフォームでトークンの有効期限を延長する必要があります(有効期限は【Platform】 > 【設定】 > 【構成】 > 【一般】 > 【その他】 > 【トークンの有効期限】で1800に設定します)。トークンの有効期限を延長した後、プラットフォームとOfferアプリケーションを再起動します。

## リンク・オファー統合

ユーザーは、リンクコネクターを通じて送信されるジャーニーのタッチポイントに、オファーやオファーのバリエーションを割り当てることができます。詳しくは、「Centralized Offer Management管理者ガイド」をご覧ください。

集中オファーマネジメントとUnica Journeyの統合のための前提条件。

リンク接続にUnica JourneyのCentralized Offers Management (COM) を使用する場合、以下のようにUnica Marketing Platformのコンフィギュレーションを設定する必要があります。

1. Marketing Platformの設定で、トークンの有効期限を10800秒（3時間）に延長する必要があります。

その他'の設定に移動する (Affinium|Manager|その他)

トークン寿命 = 10800に設定

2. 以下の設定により、1回限りのトークンを使用するためのプラットフォームフラグを無効にすることができます。

API管理」の設定に移動する (Affinium|suite|security|apiSecurity)

セッションベースのAPI認証を有効にする - 有効

1回使用したらセキュリティトークンを削除する - 無効

3. Platformでは、キャンペーン管理、オファー集中管理ともに、上記の設定は無効にしてください。

リンクで電子メールのタッチポイントを設定するには、次の手順を実行します。

1. 電子メール設定ダイアログで、「**リンク**
2. オファーを追加する]-[このタッチポイント（テンプレート）にオファーを関連付ける] チェックボックスをオンにし、電子メールに関連付けられたオファーを表示します。
3. [オファーの選択]をクリックします。



**Note:** 対応するジャーニーのパーティション設定が保存されていない場合、関連するオファーに対してコンタクト履歴とレスポンス履歴 (CH/RH) が取得されず、オプションの [オファーを選択] が無効になります。パーティション設定が保存されると、Select Offer optionsが有効になります。

4. Centralized Offer Management からのオファー画面が表示されます。ユーザーは、表示されたオファーリストから1つまたは複数のオファーを選択するか、オファーをダブルクリックしてオファーバリエーションから選択することができます。
5. [オファーの選択]をクリックします。
6. Offer response mappingページが表示されます。すべてのオファーにリンクURLを関連付ける。URLが提供されない場合、CH/RHの履歴は失われます。この画面で、オファーレスポンスの追跡に必要なURLを入力します（前提条件: 使用するメールテンプレートにリンクがあること）
7. 完了をクリックします。

### 留意点

- バージョン12.1.1より前に作成されたジャーニーでは、既存の電子メールタッチポイントをリンクオファーに関連付けることはできません。
- ユーザーは、フローチャートの実行日や有効期限ではなく、固定日付で提供されるオファー・テンプレートを使用する必要があります。
- Unica Journeyは、オファーを評価し、コミュニケーションチャンネルに送信する際、有効期限と期限を守りません。ユーザーは、期限切れのオファーを手動で削除し、有効なオファーを割り当てる必要があります。
- リンクMailchimpコネクターでオファー統合を行った場合、最初のリンククリックに対して2つのレスポンスが返ってくることがあります。メールクライアントの挙動、リンククリックの処理方法に基づいて、メールチンプはリンククリックイベントを重複して受信する可能性があります。
- ジャーニーでは、視認性ルールを持つオファー属性がリンクタッチポイントに割り当てられると、ジャーニーは視認性ルールを持つオファーのCH/RHのトラッキングをサポートしません。オファーの可視化ルールに関係なく、すべてのオファー属性がリンクフィールドマッピングのドロップダウンに表示されます。
- Link側でオファー統合のためにサポートされているCentralized Offer Management属性のすべてがサポートされているわけではありません。Link側で対応していない属性は、オファー統合後、反映されません。Linkは以下の属性をサポートしています。
  - integer
  - 日付
  - ブール
  - チャンネルタイプ
  - スtring

## インターアクト・ネクスト・ベスト・オファー (NBO)

オーディエンスがジャーニーをナビゲートしている間、ジャーニーは実行時にインターアクトから最適なパーソナライズド・オファーを取得し、リンクチャンネルを通じてオーディエンスにそれらのオファーを送信することができます。

Interact NBOで電子メールのタッチポイントを設定するには、次の手順を実行します。

1. 電子メール設定ダイアログで、**[リンク**
2. **オファーを追加する]** - **[このタッチポイント (テンプレート) にオファーを関連付ける]** チェックボックスをオンにすると、**電子メールにオファーを関連付けることができます。**
3. Next Best Offerをクリックします。



**Note:** パーティション設定がJourneyに保存されていない場合でも、NBOボタンが有効になります。インターアクトがインストールされていない場合、NBOボタンは無効のままです。

4. Next Best Offer ページが表示されます。
5. 以下のフィールドに適切な値を入力してください。

- インタラクティブチャンネル-これは必須項目である。Interact Runtime にデプロイされた Interactive チャンネルを選択します。ユーザーが配置されたインタラクティブチャンネルを選択しない場合、テスト接続は機能しません。



**Note:** 特定の状況において、インタラクティブチャンネル（ジャーニーで選択され、公開状態になっている）がインタラクティブランタイムからアップデプロイされると、ジャーニーはインタラクティブからオーディエンスに対するオファーを受信できず、エラー状態のトランザクションが表示されます。オーディエンスはメールを送信することなく、次のタッチポイントに移動します。

- 視聴者レベル-必須項目
  - インタラクションポイント-必須項目
  - イベント選択-必須項目（コンタクトアクションに関連するイベントのみが選択可能です）。
  - Interact Runtime URL -必須フィールド（一度にマッピングできるランタイムURLは1つだけです）。
  - Interact Profile Fields Mapping -インタラクティブ・フィールドとジャーニー・フィールドをマッピングします。
- 完了をクリックします。



**Note:**

- ユーザーがインタラクティブチャンネルと視聴者レベルを選択すると、ユーザーだけがマッピング用のインタラクティブプロフィールテーブルフィールドを取得します。Interactのプロフィールテーブルのフィールドは、Journeyのオーディエンス（データ定義）フィールドとマッピングできるため、Journeyが公開されると、オーディエンスの情報はstartSession API コールとしてInteractランタイムに渡されます。例えば、データ定義フィールドの文字列データ型は、インタラクティブプロフィールテーブルの数値フィールドにマッピングしてはならず、その逆もまた然りです。
- 現在、インタラクティブ・ネクスト・ベスト・オファー統合は、partition1のみ対応しています。
- Interactで設定したStatic/Strategic SegmentはNBOで動作しません。

## コンタクト履歴/レスポンス履歴のトラッキング

ジャーニーから配信されたオファーのコンタクト履歴とレスポンス履歴（CH/RH）は、Campaignの集中履歴（CH）テーブルで追跡されます。配信メールチャンネル、リンクコネクタ、またはリンク配信チャンネルを使用したインタラクティブによって配信されたオファーが、CH/RHトラッキングに記録されます。このトラッキングは、各Campaignのコンタクト履歴テーブルで行われます。

Journeyでは、ユーザーがDeliverコミュニケーション、リンクコネクター、またはInteractでオファーを割り当てる場合、履歴を追跡するパーティションとオーディエンスレベルを指定する必要があります。選択したパーティションと視聴者レベルに基づいて、履歴テーブルがCampaignスキーマに入力されます。履歴関連情報は、Campaignに活用できます。ユーザー

はこの情報をCampaignからJourneyに送信することで、顧客とのコンタクトやレスポンスがどのように機能しているかを検証することができます。

ユーザーがCampaign設定で新しい視聴者レベルを追加した場合、必ずCampaign webアプリケーションを再起動してください。この操作を行うことで、新たに追加された視聴者レベルのコンタクトとレスポンスの履歴を同期させることができます。

ジャーニーのコンタクトとレスポンスは、Kafkaトピック-UNICA\_CH\_RHを介して、Campaignのコンタクトとレスポンスの履歴テーブルと同期されます。このトピックに関するすべての連絡と応答は、Campaign・アプリケーションによって消費され、履歴テーブルに同期されます。Campaignがkafkaから履歴レコードを消費しても、これらのメッセージはkafkaトピックで利用できる期間を示すkafka設定に基づいて、UNICA\_CH\_RHトピックに表示され続けます。

Campaignグループに複数のkafkaコンシューマーが存在する場合、入力されるコンタクト履歴と応答履歴の動作が不一致になることがありました。kafkaインスタンスのコンシューマーを確認するには、次のコマンドを使用します。

```
kafka-consumer-groups.sh -bootstrap-server <kafka_host>:<port> --describe -group Campaign
```

## Chapter 11. 設定

設定メニューを使用して、Eメール コネクタ、SMS コネクタ、CRM 接続、REST 統合などの統合。

### デフォルトの電子メール接続の設定する

複数のコネクタがある場合電子メールを送信する場合、[設定] メニューでデフォルトの電子メール接続を**設定**できます。

#### About this task

デフォルトの電子メール接続を設定するには、次の手順を実行します。

1. > Link > **「電子メール」** を選択します。

#### Result

[電子メール]ページが表示されます。

2. [使用可能な接続]リストから、接続を選択します。

利用可能な接続には、Mandrill、Mailchimp などが含まれます。

3. **「保存」** をクリックします。

既存の接続を選択解除して、[保存] をクリックすることもできます。これにより、デフォルトの接続が設定されていないことが保証されます。

### デフォルトの SMS 接続の設定

複数のコネクタがある場合SMS を送信する場合は、[設定] メニューでデフォルトの SMS 接続を**設定**できます。

#### About this task

デフォルトの SMS 接続を設定するには、次の手順を実行します。

1. > Link > **「SMS」** を選択します。

#### Result

SMSページが表示されます。

2. [使用可能な接続]リストから、接続を選択します。



#### Note:

電話番号の形式は、配信チャネルの仕様に従って記述する必要があります。Journey は、同じ形式で電話番号を配信チャネルに送信します。たとえば、参照でサポートされている Twilio 接続の電話番号形式以下のとおりであります：

- *<plus sign><country-code><10-digit phone number>* - +15403241212。
- *<plus sign> <country-code> <(area-code)> <three-digit number><four-digit number>* - +1 (540) 324 1212。



- `<plus sign>-<country-code>-<area-code>-<three-digit number>-<four-digit number>-`  
+1-540-324-1212。
- `<plus sign> <country-code>-<area-code>-<three-digit number>-<four-digit number> - +1`  
540-324-1212。

入力した電話番号の形式に関係なく、Unica Journey は以下の形式で番号を保存します。からインストールします。たとえば、電話番号を+1 540-324-1212として指定すると、電話番号を+15403241212として保存します。

デフォルトの SMS 接続として Twilio を選択すると、以下の形式の電話番号のみが受け入れられます。 `<plus sign><country-code><10-digit phone number>`。たとえば、 +15403241212です。

3. **【保存】** をクリックします。

## デフォルトの CRM 接続の設定

複数の CRM 接続がある場合は、[設定] メニューで既定の CRM 接続を設定できます。

### About this task

デフォルトの CRM 接続を設定するには、次の手順を実行します。

1. **> Link > 【CRM】** を選択します。

#### Result

CRMページが表示されます。

2. [使用可能な接続]リストから、接続を選択します。
3. **【保存】** をクリックします。

## デフォルトの ADTECH 接続の設定

複数の ADTECH コネクタがある場合は、[設定] メニューで既定の電子メール接続を設定できます。

### About this task

デフォルトの電子メール接続を設定するには、次の手順を実行します。

1. **> Link > 【ADTECH】** を選択します。

#### Result

ADTECHページが表示されます。

2. [使用可能な接続]リストから、接続を選択します。  
利用可能な接続には、Mailchimp、Twilio、および Salesforce が含まれます。
3. **【保存】** をクリックします。

既存の接続を選択解除して、[保存] をクリックすることもできます。これにより、デフォルトの接続が設定されていないことが保証されます。

## LinkedInのデフォルト接続を設定する

LinkedInをデフォルトの接続先として設定することができます

### About this task

LinkedInのデフォルト接続を設定するには、次の手順を実行します。

1. > Link > **「接続の管理」**を選択し、**「新しい接続」** ボタンをクリックします。
2. 新しい接続の作成で、任意の名前を追加して、**「次へ」** ボタンをクリックします。
3. 接続タイプの種類をLinkedIn Adsに選択し、**「次へ」**ボタンをクリックします。
4. 接続のプロパティ」 ページで、**「コードを取得」** ボタンをクリックすると、LinkedInのログインページに移動し、LinkedInのA/CユーザーIDとパスワードを追加します。
5. ログインに成功したら、LinkedInブラウザのURLをコピーして、新規接続の作成ページのテキストフィールド Redirect Url responseに貼り付けてください。
6. Get Tokenボタンをクリックし、**Test**をクリックし、Test接続が成功したら、**Save**ボタンをクリックします。



**Note:** LinkedInの回答が変更され、設定されたLinkedInのタッチポイントで次の回答が利用できるようになります。オーディエンスサイズ、**マッチング数**、**オーディエンスステータス**。ユニカリンクはこれらのレスポンスをジャーニーに送信し、リンクのレスポンスに応じて、オーディエンスサイズ、マッチング数、オーディエンスステータスをLinkedInタッチポイントで確認することができます。

## デフォルトのデータベース接続の設定

複数のデータベース コネクタがある場合は、[設定] メニューで既定の電子メール接続を設定できます。

### About this task

デフォルトの電子メール接続を設定するには、次の手順を実行します。

1. > Link > **「データベース」**を選択します。

#### Result

データベースページが表示されます。

2. [使用可能な接続]リストから、接続を選択します。
3. **「保存」** をクリックします。

既存の接続を選択解除して、[保存] をクリックすることもできます。これにより、デフォルトの接続が設定されていないことが保証されます。

## デフォルトの PUSH 接続の設定

Unica Link への複数のコネクタで PUSH 送信をする場合、**「設定」** メニューでデフォルトの電子メール接続を設定できません。

### About this task

デフォルトの PUSH 接続を設定するには、次の手順を実行します。

1. > Link > 「プッシュ」を選択します。

**Result**

「プッシュ」ページが表示されます。

2. [使用可能な接続]リストから、接続を選択します。

使用可能な接続には、Batch\_Android と Batch\_iOS があります。詳しくは、「[接続を管理する on page 100](#)」を参照してください。

3. 「保存」をクリックします。

既存の接続を選択解除して、[保存] をクリックすることもできます。これにより、デフォルトの接続が設定されていないことが保証されます。

## 接続を管理する

このメニューから接続を管理できます。

### About this task

Mailchimp、Mandrill、Salesforce、Twilio などのコネクタを接続を作成できます。すべての既存の接続を「既存の接続 (n)」パネルで表示できます。n は接続の数です。

1. Mailchimp 接続を作成するには、次の手順を実行します。

- a. > Link > 「接続の管理」 > 「新規作成」を選択します。

**Result**

[新しい接続の作成]ページが表示されます。

- b. 以下のフィールドに値を指定します。

- 名前-必須
- 説明-オプション

- c. 「次へ」をクリックします。

- d. [接続の選択] パネルから、[ Mailchimp ] を選択します。

- e. [接続プロパティ] パネルで、次の必須フィールドに値を指定します。



**Note:** 入力するフィールドと値については、Mailchimp ユーザー ガイドを参照してください。 .

- ベース URL
- ユーザー ID
- API キー
- アクティビティ・フェッチ頻度
- アクティビティ・フェッチ単位

f. [テスト]をクリックして、接続をテストします。指定された値が正しい場合は、成功メッセージが表示されます。指定した値が正しくない場合は、エラーメッセージが表示されます。

g. 接続を保存するには、[保存]をクリックします。

**Result**

新しい接続が正常に保存され、[既存の接続]パネルに表示されます。

2. Mandril 接続を作成するには、次の手順を実行します。

a. > Link > **「接続の管理」** > **「新規作成」** を選択します。

**Result**

[新しい接続の作成]ページが表示されます。

b. 以下のフィールドに値を指定します。

- 名前-必須
- 説明-オプション

c. **「次へ」** をクリックします。

d. [接続の選択]パネルから、**Mandril**を選択します。

e. [接続プロパティ]パネルで、次の必須フィールドに値を指定します。



**Note:** 入力するフィールドと値については、マンドリルユーザーガイドを参照してください。.

- API キー
- アクティビティ・フェッチ頻度
- アクティビティ・フェッチ単位

f. [テスト]をクリックして、接続をテストします。指定された値が正しい場合は、成功メッセージが表示されます。指定した値が正しくない場合は、エラーメッセージが表示されます。

g. 接続を保存するには、[保存]をクリックします。

**Result**

新しい接続が正常に保存され、[既存の接続]パネルに表示されます。

3. Salesforce 接続を作成するには、次の手順を実行します。

a. > Link > **「接続の管理」** > **「新規作成」** を選択します。

**Result**

[新しい接続の作成]ページが表示されます。

b. 以下のフィールドに値を指定します。

- 名前-必須
- 説明-オプション

- c. **「次へ」** をクリックします。
- d. **[接続の選択]** パネルから、Salesforceを**選択**します。
- e. **[接続プロパティ]** パネルで、次の必須フィールドに値を指定します。



**Note:** 入力するフィールドと値については、Salesforce ユーザー ガイドを参照してください。

- ・ **インスタンス URL**
- ・ **アクセストークン**
- ・ **バージョン**

- f. **[テスト]** をクリックして、接続をテストします。指定された値が正しい場合は、成功メッセージが表示されます。指定した値が正しくない場合は、エラー メッセージが表示されます。
- g. 接続を保存するには、**[保存]** をクリックします。

**Result**

新しい接続が正常に保存され、**[既存の接続]** パネルに表示されます。

4. Twilio 接続を作成するには、次の手順を実行します。

- a. **> Link > 「接続の管理」 > 「新規作成」** を選択します。

**Result**

**[新しい接続の作成]** ページが表示されます。

- b. 以下のフィールドに値を指定します。
  - ・ **名前-必須**
  - ・ **説明-オプション**
- c. **「次へ」** をクリックします。
- d. **[接続の選択]** パネルから、**[ Twilio ]** を選択します。
- e. **[接続プロパティ]** パネルで、次の必須フィールドに値を指定します。



**Note:** 入力するフィールドと値については、Twilio ユーザー ガイドを参照してください。

- ・ **ベース URL**
- ・ **アカウント SID**
- ・ **認証トークン**
- ・ **番号から**
- ・ **再試行間隔**
- ・ **再試行回数**

- f. [テスト]をクリックして、接続をテストします。指定された値が正しい場合は、成功メッセージが表示されます。指定した値が正しくない場合は、エラーメッセージが表示されます。
- g. 接続を保存するには、[保存] をクリックします。

**Result**

新しい接続が正常に保存され、[既存の接続] パネルに表示されます。

5. Android または iOS 用のバッチ接続を作成するには、以下の手順を実行します。

- a. > Link > **「接続の管理」** > **「新規作成」** を選択します。

**Result**

[新しい接続の作成] ページが表示されます。

- b. 以下のフィールドに値を指定します。

- 名前- 必須。例えば、Batch\_Android / Batch\_iOS
- 説明- オプション

- c. **「次へ」** をクリックします。

- d. **「接続の選択」** パネルから、**「バッチ」** を選択します。

- e. [接続プロパティ] パネルで、次の必須フィールドに値を指定します。

- ベース URL
- ライブ・キー
- REST キー
- アクティビティ・フェッチ頻度
- アクティビティ・フェッチ単位

- f. [テスト]をクリックして、接続をテストします。指定された値が正しい場合は、成功メッセージが表示されます。指定した値が正しくない場合は、エラーメッセージが表示されます。
- g. 接続を保存するには、[保存] をクリックします。

**Result**

新しい接続が正常に保存され、[既存の接続] パネルに表示されます。



**Note:** Android と iOS の両方にバッチ接続を使用する場合は、それぞれにバッチ接続を作成する必要があります。

## REST 統合

REST キーは、アプリケーションへのサードパーティ ログインに使用されます。キーと値のペアを生成し、キーと値のペアを使用してログインできますサードパーティ製アプリケーションの使用。

## 新しい REST 統合の作成

新しい REST 統合キー ペアを作成するには、次の手順を実行します。

1. **> REST** を選択します。

### Result

REST ページが表示されます。

2. + REST 統合をクリックします。

### Result

新しい REST 統合ページが表示されます。

3. 以下のフィールドに値を指定します。

- アプリ名- 必須。
- 説明- オプション。

4. [キーの生成] をクリックします。

### Result

システムは ClientID と **ClientSecret** を生成します。

5. トグル バーを使用して、[ステータス] を [Active] または [非アクティブ] に変更します。デフォルトでは、ステータスは Active です。

6. REST 統合を保存するには、[保存] をクリックします。

オーディエンス データを送信するには、REST エンドポイントの構成に使用される REST エントリ ソースに記載されている詳細に従います。手順 (4) を実行したときに受け取った ClientID と **ClientSecret** を使用して、エントリ ソースで REST エンドポイントを構成します。詳しくは、「[エントリソースを作成する on page 10](#)」を参照してください。

7. 次の URL 例を使用して認証トークンを生成します。「<http://comp-4946-nonprod.hclpnp.com:80/journey/api/thirdpartylogin>」。この認証トークンとエントリ ソース コードを使用して、データを送信します。



**Note:** エントリー・ソース・コードは REST エントリー・ソースでデータを送るには必須です。

8. REST API エンドポイント (REST エントリ ソース作成ページで使用可能) 例 - <http://comp-4946-1.nonprod.hclpnp.com:80/journey/api/entrysources/rest/data>

9. /journey/api/entrysources/rest/data が入力として使用される JSON のサンプル形式は次のとおりです。

```
{
  "entrySourceCode": "ES-00000125",
  "data": [
    { "Email": "pooja_roy@abc.com", "FirstName": "Pooja", "LastName": "Roy", "Age": 30, "Address": 125, "CreatedDate": "15
    09 22", "PHONE_NUMBER": "+91*****", "DeviceID": "ac79649c-ca1b-4c3f-99ce-56d5ad69fbba" }
  ]
}
```



**Note:** json フィールドは、ジャーニーに関連付けられているデータ定義に従って変更する必要があります。

10. REST エントリーソースのデータをプッシュする前に、ジャーニーを公開状態にする必要があります。

## REST 統合リストを表示します

Unica Journey は、作成された REST 統合のリストを維持します。

### About this task

REST 統合のリストを表示するには、次の手順を実行します。

1. > **「REST」** を選択します。

#### Result

REST ページが表示されます。

2. 次の操作のいずれかを実行します。

- a. [名前] フィールドで REST 統合のリストを昇順または降順で表示するには、[名前] をクリックします。
- b. [説明] フィールドで REST 統合のリストを昇順または降順で表示するには、[Description] をクリックします。

## 既存の REST 統合の変更

既存の REST 統合を説明とステータスのみを変更できます。

### About this task

既存の REST 統合を変更するには、次の手順を実行します。

1. > **「REST」** を選択します。

#### Result

REST ページが表示されます。

2. 残りの統合を変更するには、次のいずれかを実行できます。

#### Choose from:

- リストから必要な REST 統合を選択します
- 選択 >

#### Result

REST 統合の更新ページが表示されます。

3. 次のフィールドのみを更新できます。

#### Choose from:

- 説明
- 状況

4. 変更を保存するには、[保存] をクリックします。

## REST 統合の削除

使用されなくなった、または不要になった非アクティブな REST 統合のみを削除できます。

### Before you begin

REST 統合エントリのステータスを変更するには、を参照してください。 .

### About this task

既存の非アクティブな REST 統合を削除するには、次の手順を実行します。

1. > **「REST」** を選択します。

#### Result

REST ページが表示されます。

2. 次のいずれかの手順を実行します。

#### Choose from:

- REST 統合を削除するには、 > を選択して、リスト内の REST 統合を成功させます。
- 複数の REST 統合を削除するには、リストで削除する REST 統合の前にあるチェックボックスを選択し、[削除] をクリックします。

3. 確認のダイアログ・ボックスが表示されます。削除を続行するには、[OK] をクリックします。

## Developer Tools

デベロッパーツールの一覧を表示します。

## API 文書

Swagger の UI で Journey の API 一覧を見ることができます。Swagger v3 UI は、IE 11 をサポートしていません。

AWS ELB (Elastic Load Balancing) が HTTPS で Journey 製品が HTTP の場合、Journey Swagger API ページがロードされないか Swagger API が実行されない場合、ユーザーは server.xml に以下のパラメータコネクタタグを追加して Tomcat に SSL オフロードの設定をする必要があります。

例: /opt/Tomcat/Journey\_instance/conf/server.xml

```
<コネクタ ポート="7010" プロトコル="HTTP/1.1"
```

```
connectionTimeout="20000"
```

```
scheme="https" secure="true"
```

```
redirectPort="9010" />
```

## Chapter 12. 基本的な機能

基本機能は、いつでもアクセスできる機能です。

基本的な機能のリストは次のとおりです：

- 検索
- ヘルプ
- プロフィールの情報

### 検索

検索機能を使用して、ジャーニー、エントリーソース、データ定義、フォルダーなどのアーティファクトを見つけます。検索はヘッダーバーに配置され、使用しているメニューに関係なくいつでもアクセスできます。

検索機能には次のオプションがあります。

Table 7. 検索オプション

| 検索オプション     | 説明                                                                                                                                                       |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| フォルダ内を検索    | アクティブなメニューの現在のフォルダーで、エントリーソースパターンを検索します。<br><br>例えば、ユーザーが <b>エントリーソース</b> メニューを使用していて、現在のフォルダーが Files である場合、オプションは Files フォルダー内のパターンに一致するエントリーソースを検索します。 |
| ジャーニーで検索    | エントリーソースパターンに一致するジャーニーを検索します。                                                                                                                            |
| エントリーソースで検索 | エントリーソースパターンに一致するエントリーソースを検索します。                                                                                                                         |
| データ定義で検索    | エントリーソースパターンに一致するデータ定義を検索します。                                                                                                                            |
| すべてで検索      | エントリーソースパターンに一致するジャーニー、エントリーソース、およびデータ定義を検索します。<br><br>検索結果は異なるタブに表示されます。ジャーニー、データ定義、およびエントリーソース。                                                        |



**Note:** 検索オプションの順序は、アクティブなメニューによって異なります。

例

パターン **Mailer** を検索したい場合で、現在のフォルダーが **HolidayMailers** の場合、以下のオプションが表示されます。

```
Search in Folder 'HolidayMailers'
Search in Data Definitions
Search in Journeys
Search in Entry Sources
Search in All
```

## ヘルプ

ヘルプ機能を使って、いつでもドキュメンテーションにアクセスすることができます。

[ヘルプ]をクリックして、ユーザー ガイドをクリックしてください。doc.unica.comから追加のドキュメントにアクセスすることもできます。

## プロフィールの情報

現在ログインしているプロファイル名を表示します。ログインしたプロファイルのユーザー名が表示されます。

からログアウトするにはプロファイル名をクリックして **[サインアウト]** を選択します。

# Chapter 13. 共通機能

## フォルダー

フォルダーには、作成するすべての成果物が含まれます。アーティファクトには、ジャーニー、エントリソース、およびデータ定義が含まれます。

アクティブなメニューに関連するフォルダのみにアクセスできます。たとえば、[ジャーニー]メニューを表示しているときにフォルダー機能にアクセスすると、ジャーニーを含むフォルダーのみを表示できます。エントリソースまたはデータ定義を含むフォルダーを表示することはできません。

フォルダにアクセスするには、次の手順を実行します。

1. 次のいずれかのメニューを選択します。
  - Journeys
  - エントリー・ソース
  - データ定義
2. [フォルダ]をクリックします。フォルダパネルが表示されます。

フォルダに対して次の操作を実行できます。

Table 8. フォルダ操作

| フォルダ操作                     | 参照                                                                    |
|----------------------------|-----------------------------------------------------------------------|
| フォルダーの作成                   | 詳しくは、「 <a href="#">フォルダーの作成 on page 109</a> 」を参照してください。               |
| フォルダを検索する                  | 詳しくは、「 <a href="#">フォルダーの検索 on page 110</a> 」を参照してください。               |
| フォルダを編集する                  | 詳しくは、「 <a href="#">フォルダーの編集 on page 110</a> 」を参照してください。               |
| フォルダーの表示                   | 詳しくは、「 <a href="#">フォルダを表示する on page 110</a> 」を参照してください。              |
| フォルダー内のアーティファクトを表示する       | 詳しくは、「 <a href="#">フォルダー内のアーティファクトが表示されます on page 111</a> 」を参照してください。 |
| 1つまたは複数のフォルダーを別のフォルダーに移動する | 詳しくは、「 <a href="#">1つまたは複数のフォルダーの移動します on page 112</a> 」を参照してください。    |
| 1つまたは複数のフォルダーを削除する         | 詳しくは、「 <a href="#">1つまたは複数のフォルダーを削除する on page 113</a> 」を参照してください。     |

## フォルダーの作成

ジャーニー、エントリソース、データ定義などのアーティファクトを保存する新しいフォルダーを作成します。

### About this task

フォルダを使用してアーティファクトを整理できます。新しいフォルダーを作成するには、次の手順を実行します。

1. フォルダをクリックします。

**Result**

フォルダパネルが表示されます。

2. **[すべてのフォルダ]を選択します。**
3. [+フォルダー]をクリックします。

**Result**

新しいフォルダが表示されます。

4. フォルダに関連する名前を入力し、をクリックします。

## フォルダーの検索

検索機能を使用してフォルダを見つけます。フォルダがたくさんある場合、検索機能は非常に便利です。

### About this task

フォルダの長いリストをスクロールしないようにするには、検索機能を使用してフォルダを見つけます。フォルダーを検索するには、次の手順を実行します。

1. [フォルダ]をクリックします。

**Result**

フォルダパネルが表示されます。

2. [検索のフォルダーテキスト ボックス] に検索するフォルダーの名前を入力し、。

**Result**

入力したフォルダ名に一致するフォルダが表示されます。部分文字列を使用してフォルダーを検索することもできます。

## フォルダーの編集

フォルダを編集する場合、フォルダ名のみを変更できます。

### About this task

フォルダーを編集するには、次の手順を実行します。

1. [フォルダ]をクリックします。

**Result**

フォルダパネルが表示されます。

2. 必要なフォルダを検索するか、**[すべてのフォルダ]を選択できます。**必要なフォルダを検索するには、を参照してください。
3. 必要なフォルダにカーソルを合わせて選択します。
4. フォルダ名を変更して選択します。

## フォルダを表示する

フォルダは、ルートフォルダまたは別のフォルダ内にあります。フォルダにアクセスするには、複数の方法があります。

### About this task

作成するすべてのフォルダは、ルートフォルダにあります。文字「/」はルートフォルダを表します。フォルダを表示するには、または複数のフォルダを表示するには、次の手順を実行します。

1. [フォルダ]をクリックします。

#### Result

**フォルダパネルが表示されます。**

2. フォルダを表示するには、次のいずれかの手順を実行します。
  - a. 特定のフォルダを表示するには、フォルダの検索機能を使用します。詳しくは、「[フォルダの検索 on page 110](#)」を参照してください。
  - b. すべてのフォルダを表示するには、[すべてのフォルダ]を選択します。
  - c. 頻繁にアクセスするフォルダを表示するには、[よく使用する]を選択します。

### フォルダ内のアーティファクトが表示されます

フォルダには、他のフォルダまたは以下のいずれかのアーティファクトを含めることができます。アーティファクトには、ジャーニー、エントリーソース、およびデータ定義が含まれます。

#### Before you begin

[フォルダ on page 109](#) を参照してください。

### About this task

フォルダの内容を表示するには、複数の方法があります。フォルダの内容を表示するには、次の手順を実行します。

1. [フォルダ]をクリックします。

#### Result

フォルダパネルが表示されます。

2. フォルダの詳細をすばやく表示するには、次の手順を実行します。
  - a. フォルダが頻繁にアクセスされるフォルダである場合は、[よく使用する]を選択します。[すべてのフォルダ]を選択することもできます。
  - b. 必要なフォルダにカーソルを合わせます。フォルダの数と、そのフォルダ内の成果物の数を表示できます。
3. フォルダの詳細を表示するには、次の手順を実行します。
  - a. フォルダが頻繁にアクセスされるフォルダである場合は、[よく使用する]を選択します。[すべてのフォルダ]を選択することもできます。
  - b. 選択して、必要なフォルダを開きます。

#### Result

次の2つのタブが表示されます。「**フォルダ(n)**」と**<アーティファクト>(n)**です。<アーティファクト>は、アクセスしているメニューに応じて、ジャーニー、エントリーソース、またはデータ定義のいずれかであり、(n)はフォルダ内のアーティファクトの数を示す番号です。

**例:** Example1 という名前のフォルダには、以下の2つのサブフォルダがあります。 および、Example1 フォルダには3つのジャーニーがあり、Example1.1 と Example1.2 の両フォルダにはそれぞれ2つのジャーニーがあります。

フォルダ Example1 を開くと、以下の2つのタブが表示されます。「**フォルダ(2)**」と「**ジャーニー(3)**」です。

フォルダ Example1.1 を開くと、以下の2つのタブが表示されます。「**フォルダ(0)**」と「**ジャーニー(2)**」です。

フォルダ Example1.2 を開くと、以下の2つのタブが表示されます。「**フォルダ(0)**」と「**ジャーニー(2)**」です。

4. アーティファクトのレポートを表示するには、次の手順を実行します。
  - a. フォルダが頻繁にアクセスされるフォルダである場合は、[よく使用する] を選択します。[すべてのフォルダ]を選択することもできます。
  - b. 選択して、必要なフォルダーを開きます。
  - c. ビュー<アーティファクト名>をクリックします。アーティファクト名は、ジャーニー、エントリーソース、またはデータ定義です。

**Result**

リストは、それぞれのメニュー ページに表示されます。

## 1 つまたは複数のフォルダーの移動します

すべてのフォルダーがルート (/) レベルにある必要はありません。整理しやすくするために、一部のフォルダーを他のフォルダー内に移動できます。

### About this task

1 つのフォルダーを別のフォルダーに移動するか、複数のフォルダーを別のフォルダーに移動するには、次の手順を実行します。

1. [フォルダ]をクリックします。

**Result**  
フォルダパネルが表示されます。
2. [すべてのフォルダ]を選択します。
3. 次のいずれかの方法でフォルダを移動できます。
  - a. 単一のフォルダーを移動するには、必要なフォルダーの上にカーソルを置いて、をクリックするか、必要なフォルダの前にあるチェックボックスを選択して [フォルダに**移動**] をクリックします。
  - b. 複数のフォルダを移動するには、必要なフォルダの前にあるチェックボックスを選択し、[フォルダに**移動**] をクリックします。
4. 必要な宛先フォルダーを選択し、[ここに**移動**] をクリックします。

## 1 つまたは複数のフォルダーを削除する

削除操作を使用して、不要なフォルダーを削除します。一度に1つのフォルダーを削除することも、複数のフォルダーを削除することもできます。

### About this task

フォルダーにアーティファクトまたはサブフォルダーが含まれていない場合、削除操作はフォルダーのみを削除します。フォルダーにアーティファクトまたはサブフォルダーが含まれている場合は、削除機能を使用する前に、まずアーティファクトとサブフォルダーを削除してください。

フォルダーまたは複数のサブフォルダーを削除するには、次の手順を実行します。

1. [フォルダ]をクリックします。

#### Result

フォルダパネルが表示されます。

2. [すべてのフォルダ]を選択します。

3. 次のいずれかの方法でフォルダを削除できます。

- a. 単一のフォルダーを削除するには、必要なフォルダーの上にカーソルを置いて、をクリックするか、必要なフォルダの前にあるチェックボックスを選択して、**[削除]**をクリックします。
- b. 複数のフォルダを削除するには、必要なフォルダの前にあるチェックボックスを選択し、**[削除]**をクリックします。